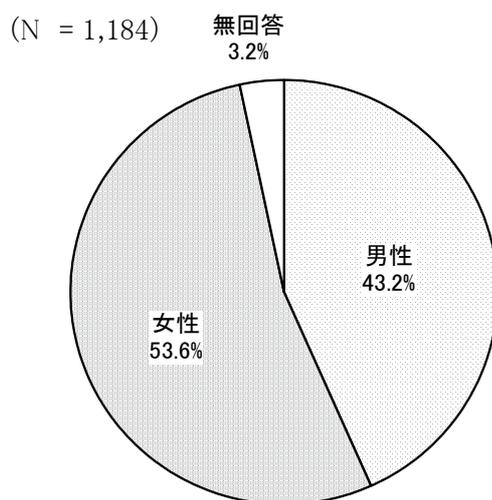


Ⅱ 調査結果

1 回答者属性

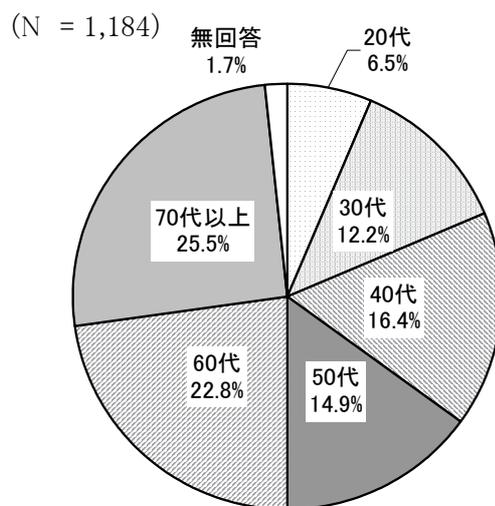
F 1 性別

「男性」の割合が43.2%、「女性」の割合が53.6%となっています。



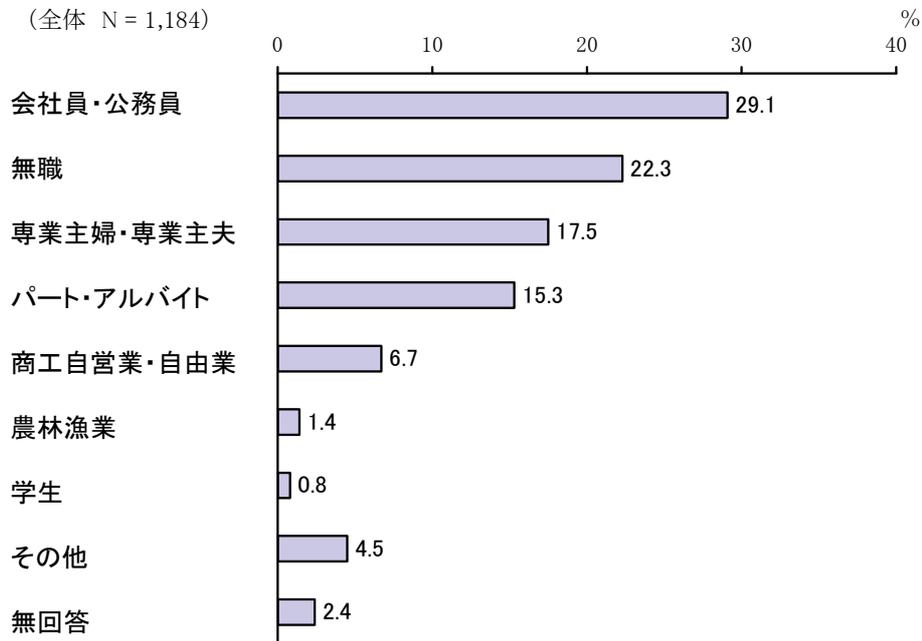
F 2 年齢

「70代以上」の割合が25.5%と最も高く、次いで「60代」の割合が22.8%、「40代」の割合が16.4%となっています。



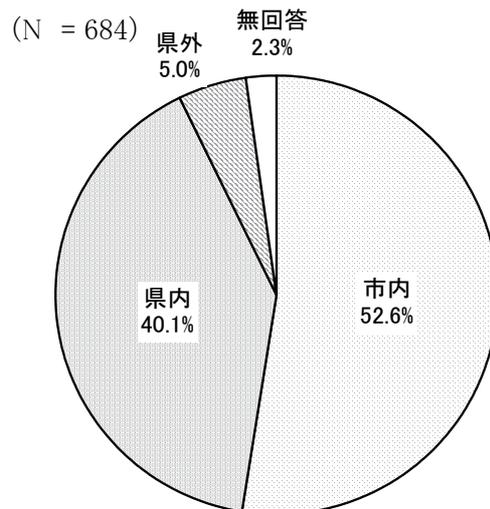
F 3 職業

「会社員・公務員」の割合が29.1%と最も高く、次いで「無職」の割合が22.3%、「専業主婦・専業主夫」の割合が17.5%となっています。



F 4 職場(通学地)の所在地 (無職、専業主婦・専業主夫を除く)

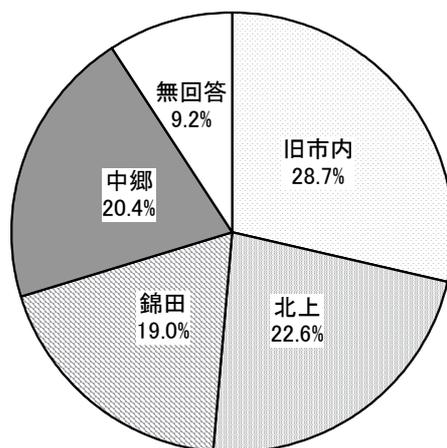
「市内」の割合が52.6%と最も高く、次いで「県内」の割合が40.1%となっています。



F 5 お住まいの町名（居住地区）

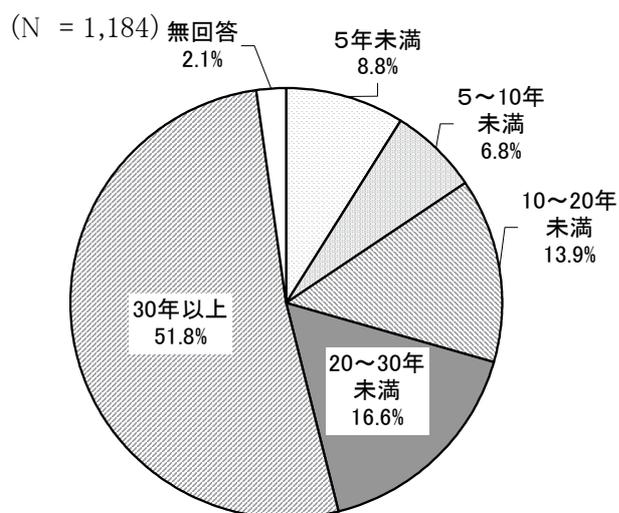
「旧市内」の割合が 28.7%と最も高く、次いで「北上」の割合が 22.6%、「中郷」の割合が 20.4%となっています。

(N = 1,184)



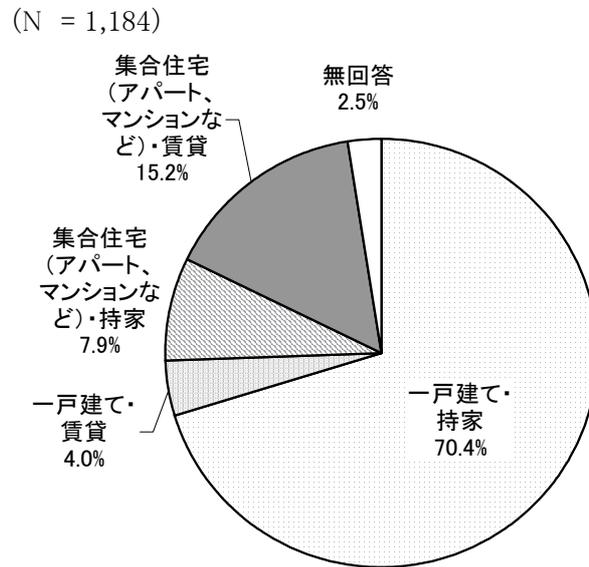
F 6 三島市在住歴

「30年以上」の割合が 51.8%と最も高く、次いで「20～30年未満」の割合が 16.6%、「10～20年未満」の割合が 13.9%となっています。



F 7 お住まいの住宅

「一戸建て・持家」の割合が70.4%と最も高く、次いで「集合住宅（アパート、マンションなど）・賃貸」の割合が15.2%となっています。

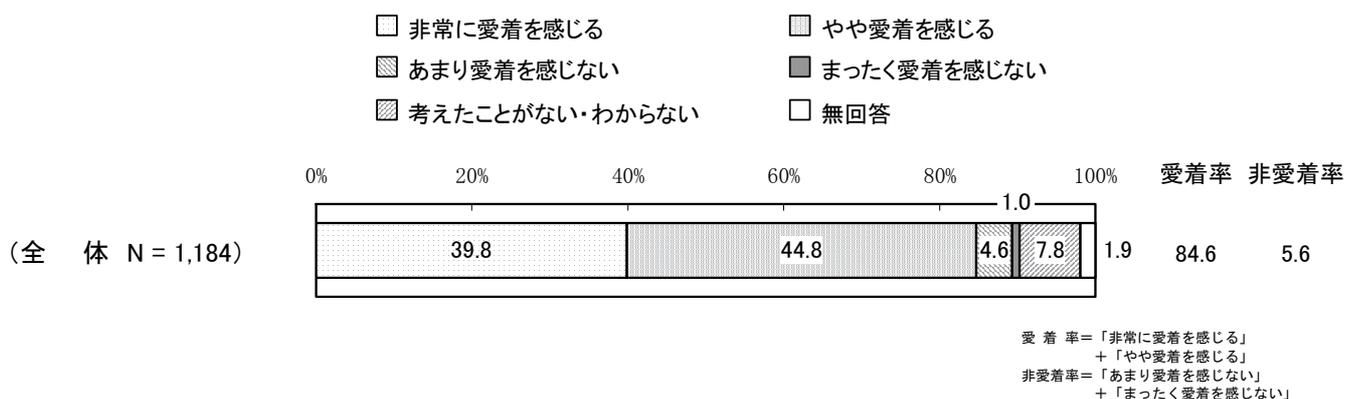


2 『居住環境』について

問1 あなたは、三島市に愛着を感じますか。(〇は一つ)

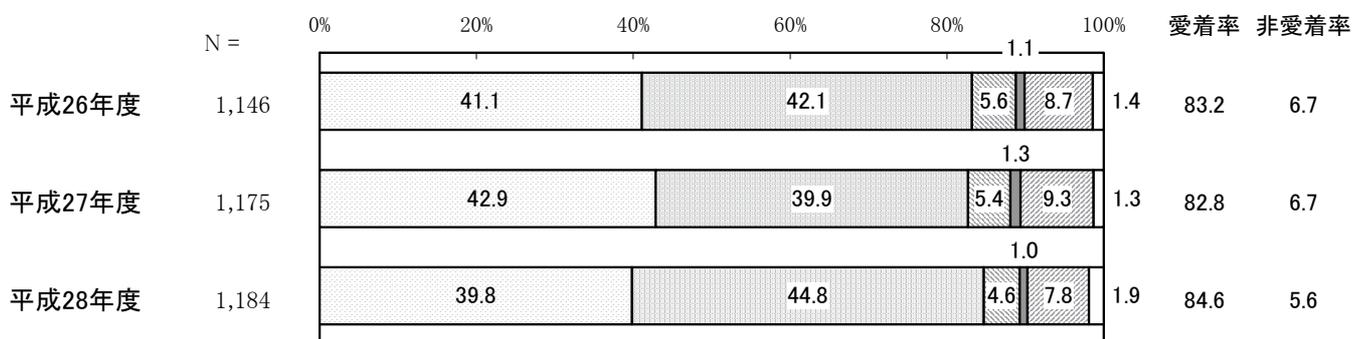
—三島市への“愛着率”は84.6%—

「非常に愛着を感じる」と「やや愛着を感じる」を合わせた“愛着率”は84.6%でした。
「あまり愛着を感じない」と「まったく愛着を感じない」を合わせた“非愛着率”は5.6%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“愛着率”は8割台半ばとなっています。

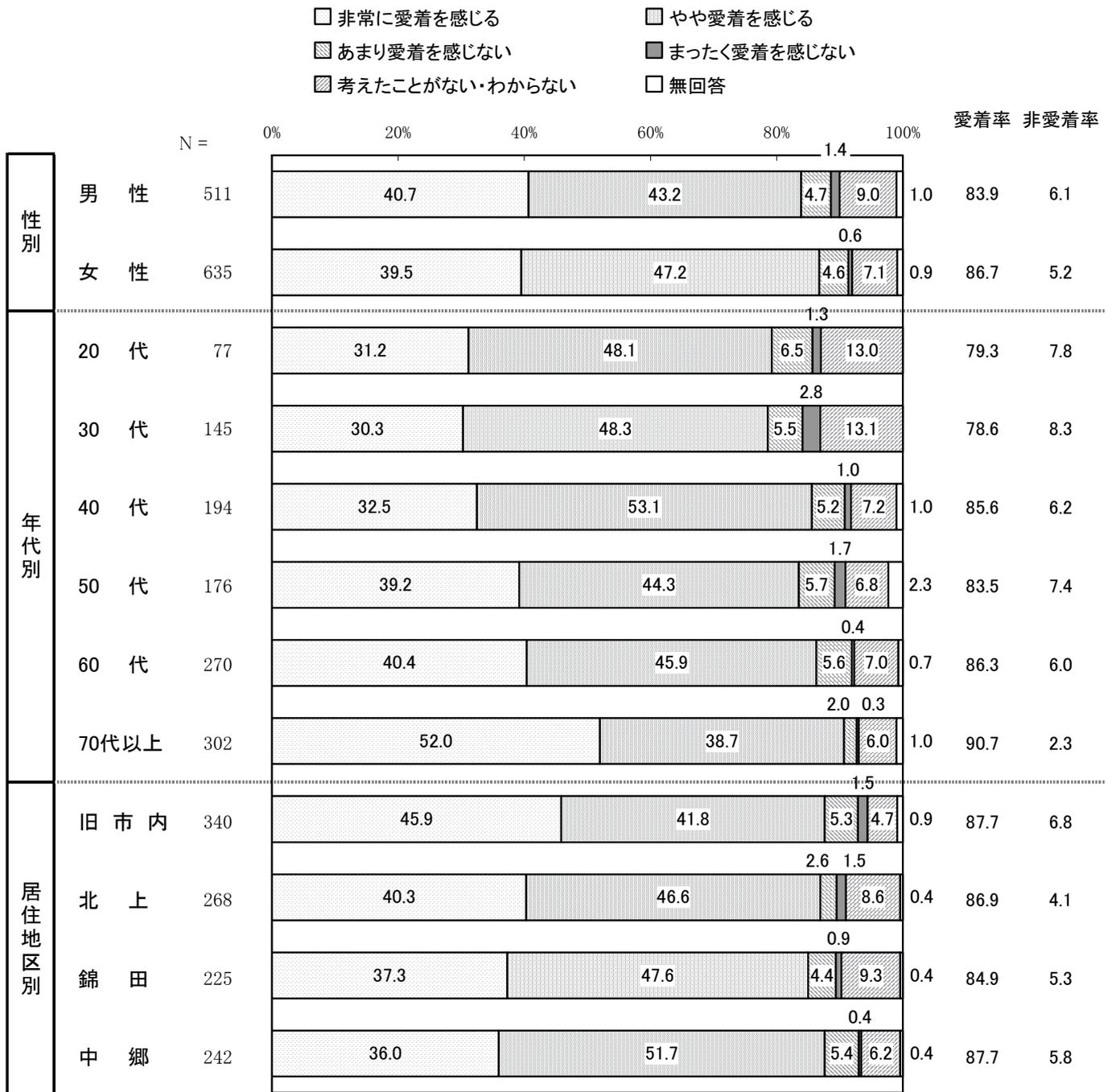


【属性別比較】

性別でみると、“愛着率”（男性 83.9%、女性 86.7%）では、大きな差はみられず、男性、女性とも8割を超えています。

年代別でみると、“愛着率”は70代以上（90.7%）が高く、60代（86.3%）、40代（85.6%）、50代（83.5%）では8割を超えています。また、年代が高くなるにつれ「非常に愛着を感じる」の割合が高くなる傾向がみられ、特に70代以上では約5割を超えています。

居住地区別でみると、“愛着率”では、居住地区による大きな差はみられず、いずれの居住地区でも8割を超えています。

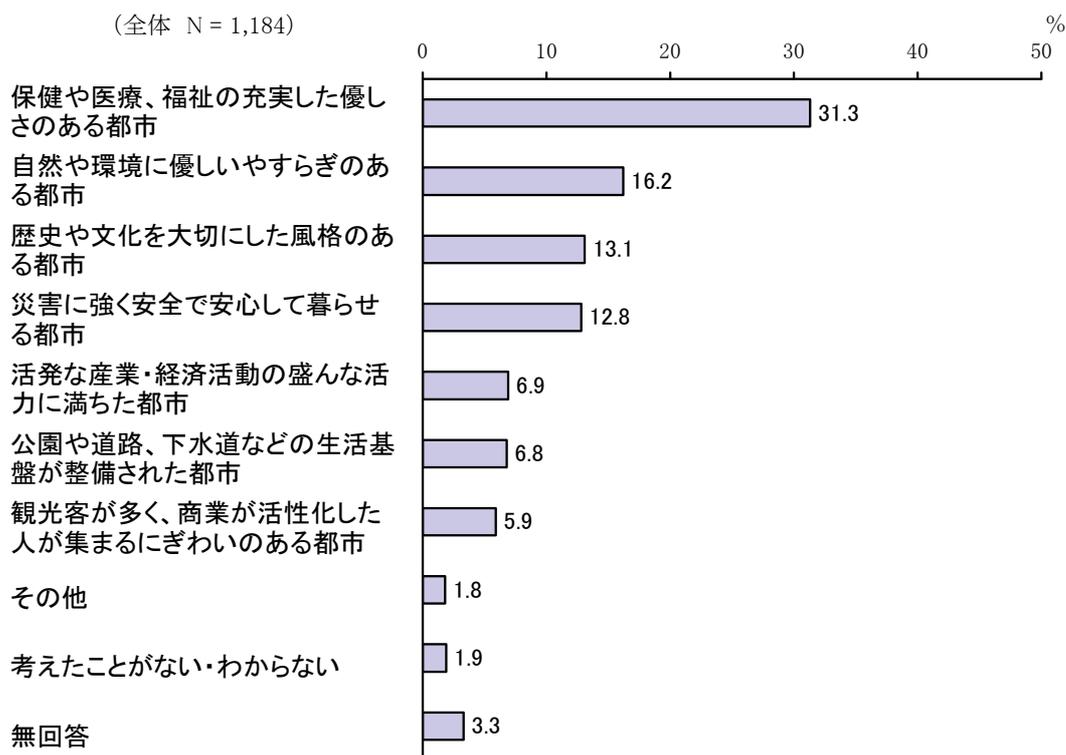


愛着率 = 「非常に愛着を感じる」 + 「やや愛着を感じる」
 非愛着率 = 「あまり愛着を感じない」 + 「まったく愛着を感じない」

問2 あなたは、三島市が将来どのような町になったらよいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。(〇は一つ)

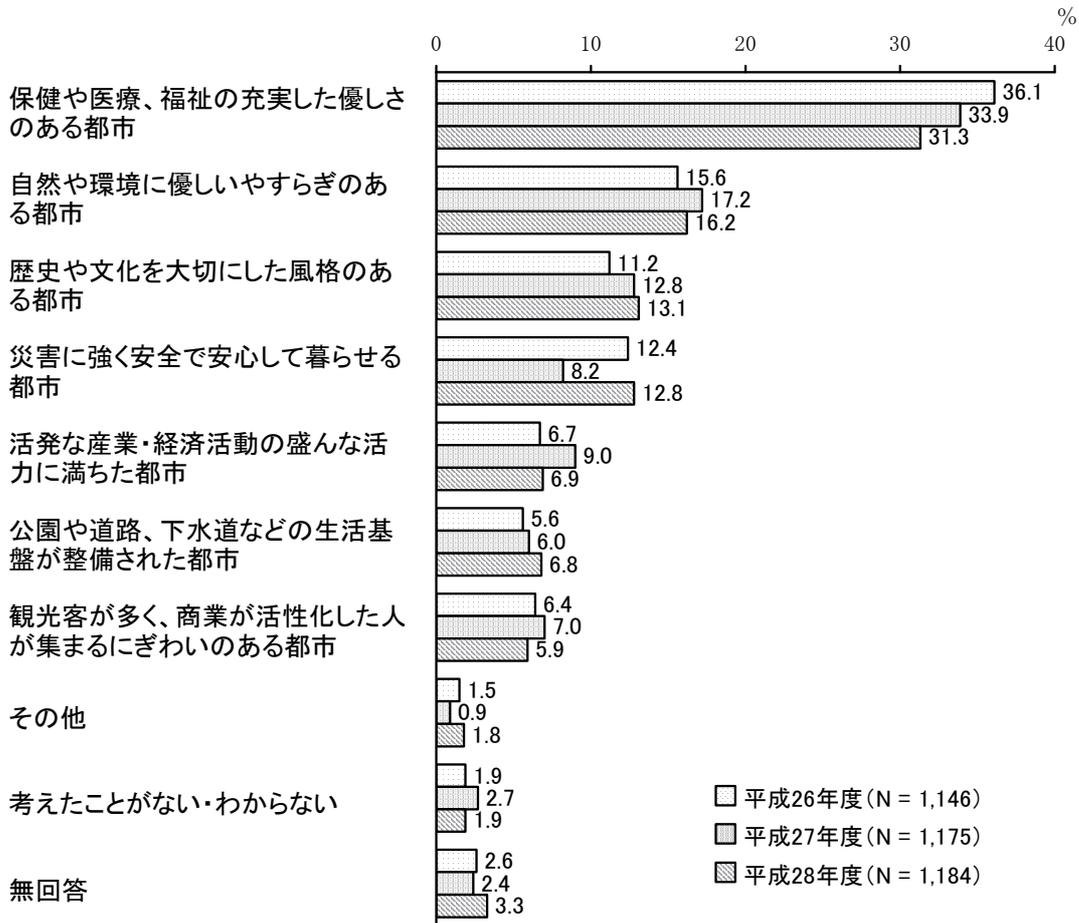
—将来の都市像は「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が31.3%—

「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」の割合が31.3%と最も高く、次いで「自然や環境に優しいやすらぎのある都市」の割合が16.2%、「歴史や文化を大切にされた風格のある都市」の割合が13.1%となっています。



【時系列比較】

時系列でみると、「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」(31.3%)が減少する傾向がみられます。



【属性別比較】

性別でみると、「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」（男性 26.6%、女性 36.1%）が最も高くなっています。また、男性では「歴史や文化を大切にした風格のある都市」（13.5%）が3位であるのに対し、女性は「災害に強く安全で安心して暮らせる都市」（14.3%）が3位となっています。

年代別でみると、いずれの年代でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が最も高くなっています。また、「活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市」は、20代（11.7%）で約1割となっています。

居住地区別でみると、いずれの居住地区でも「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」が最も高くなっているものの、旧市内（26.8%）で3割未満となっています。

単位：%

区分		有効回答数（件）	活発な産業・経済活動の盛んな活力に満ちた都市	歴史や文化を大切にした風格のある都市	保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市	観光客が多く、商業が活性化した人が集まるにぎわいのある都市	公園や道路、下水道などの生活基盤が整備された都市	自然や環境に優しいやすらぎのある都市	災害に強く安全で安心して暮らせる都市	その他	考えたことがない・わからない	無回答
性別	男性	511	8.0	13.5	26.6	8.8	8.4	17.8	10.8	1.4	2.3	2.3
	女性	635	6.1	12.3	36.1	3.8	5.7	15.3	14.3	2.2	1.7	2.5
年齢別	20代	77	11.7	6.5	26.0	10.4	10.4	16.9	10.4	2.6	3.9	1.3
	30代	145	7.6	9.7	29.7	6.2	9.7	17.2	13.1	3.4	2.1	1.4
	40代	194	5.7	11.3	34.0	6.7	9.3	12.4	11.3	3.1	2.1	4.1
	50代	176	3.4	15.3	31.8	6.3	7.4	20.5	10.8	1.7	0.6	2.3
	60代	270	5.9	14.1	29.6	6.7	5.6	19.3	13.0	1.1	3.0	1.9
	70代以上	302	8.3	15.9	34.4	3.6	3.6	13.6	15.9	0.7	1.3	2.6
居住地区別	旧市内	340	6.5	15.0	26.8	7.9	6.8	20.9	11.2	1.8	1.5	1.8
	北上	268	5.6	14.2	36.6	3.7	5.6	16.4	11.9	1.1	1.5	3.4
	錦田	225	8.4	17.3	32.0	5.3	7.1	14.2	9.3	2.7	3.1	0.4
	中郷	242	6.2	7.9	34.7	7.0	8.7	14.5	16.5	1.7	0.4	2.5

1位

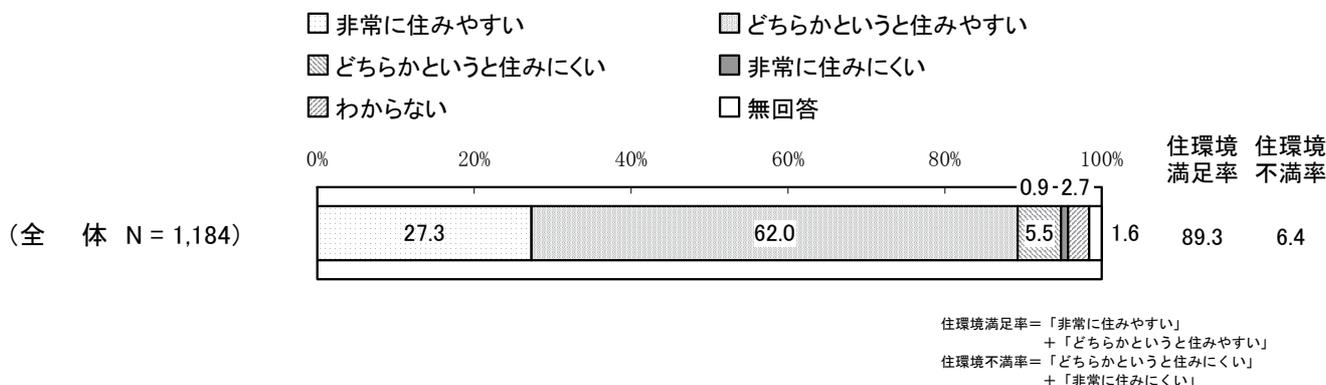
2位

3位

問3 あなたは、三島市が住みやすいところだと思いますか。(○は一つ)

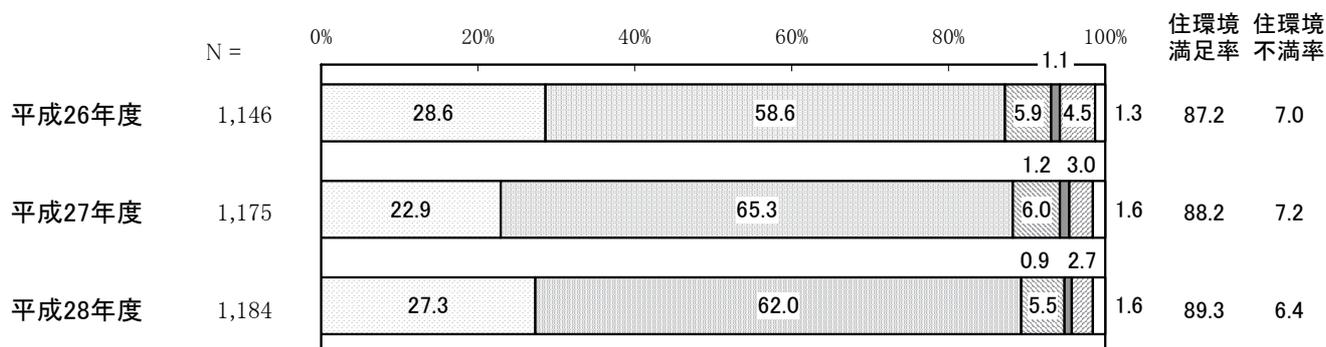
—三島市が“住みやすい”と感じる人は89.3%—

「非常に住みやすい」(27.3%)、「どちらかというに住みやすい」(62.0%)を合わせた“住環境満足率”は89.3%となっています。一方、「どちらかというに住みにくい」(5.5%)、「非常に住みにくい」(0.9%)を合わせた“住環境不満率”は6.4%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“住環境満足率”は約9割を占めています。

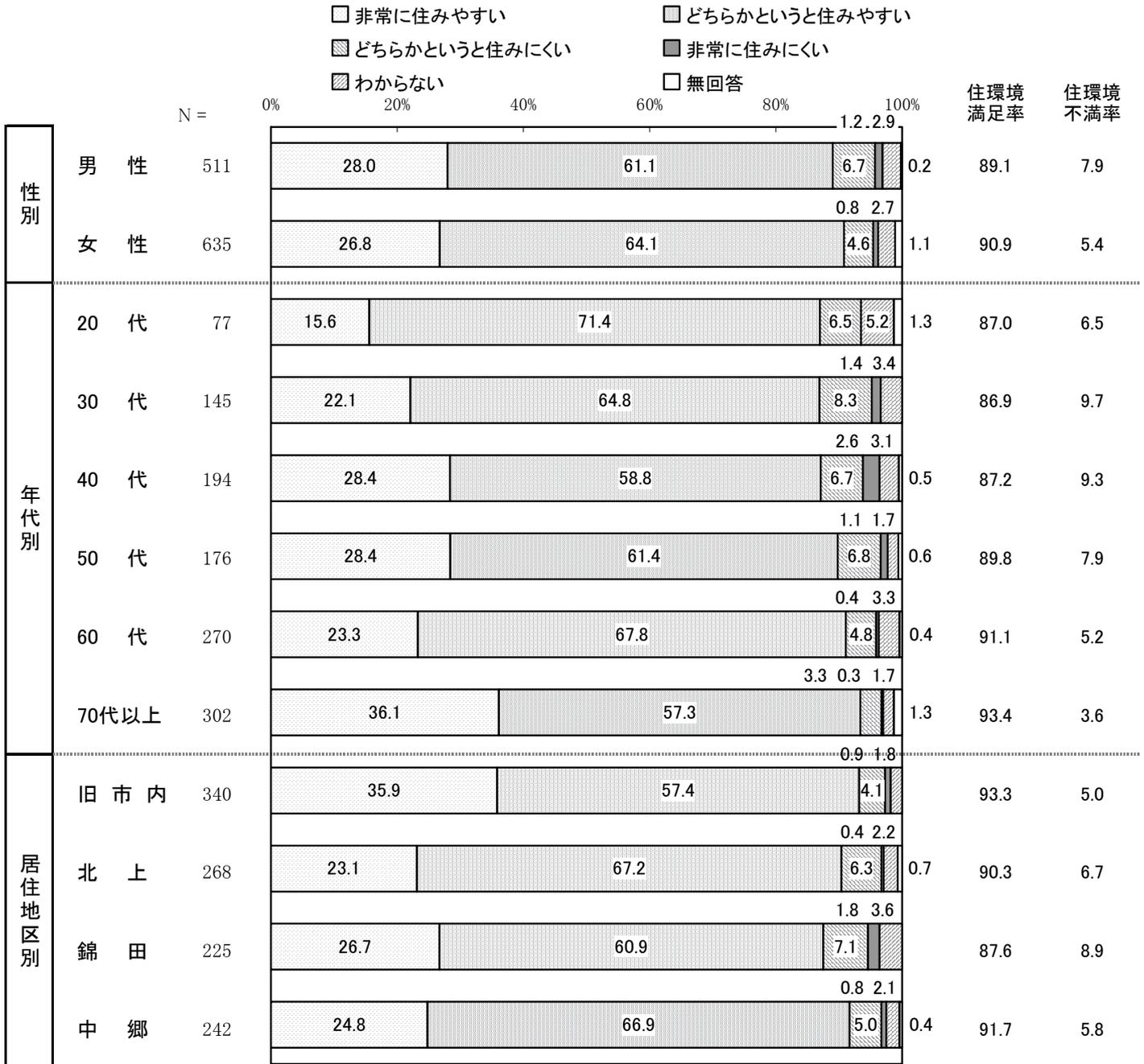


【属性別比較】

性別でみると、“住環境満足率”（男性 89.1%、女性 90.9%）で、大きな差はみられず、男性・女性とも約9割となっています。

年代別でみると、“住環境満足率”は、いずれの年代でも約9割を占めています。また、「非常に住みやすい」は、70代以上（36.1%）が高く、20代（15.6%）が低くなっています。

居住地区別でみると、“住環境満足率”は、いずれの居住地区でも約9割を占めています。

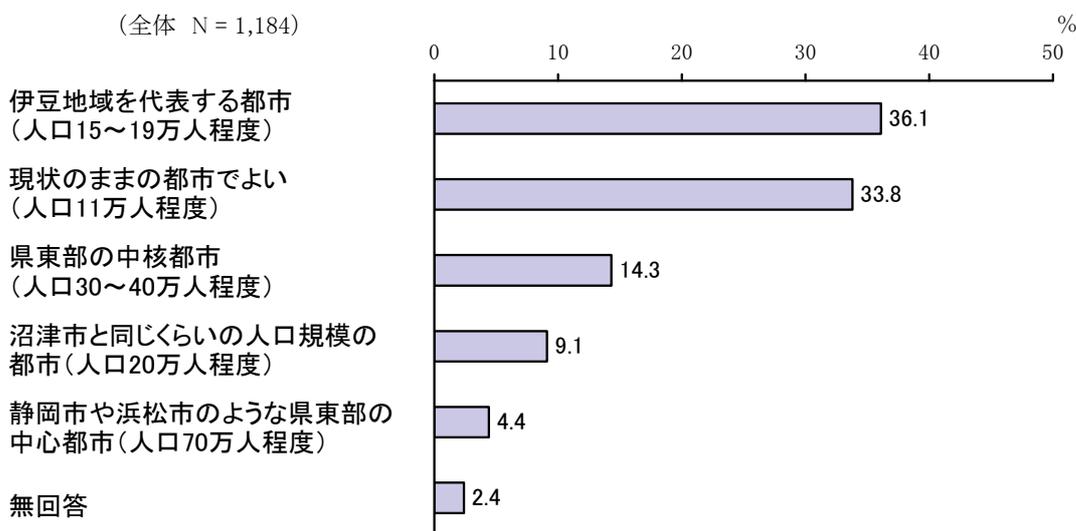


住環境満足率 = 「非常に住みやすい」
+ 「どちらかという住みやすい」
住環境不満率 = 「どちらかという住みにくい」
+ 「非常に住みにくい」

問4 あなたは、三島市を含むこの地域が将来どのような都市になることが望ましいとお考えですか。(〇は一つ)

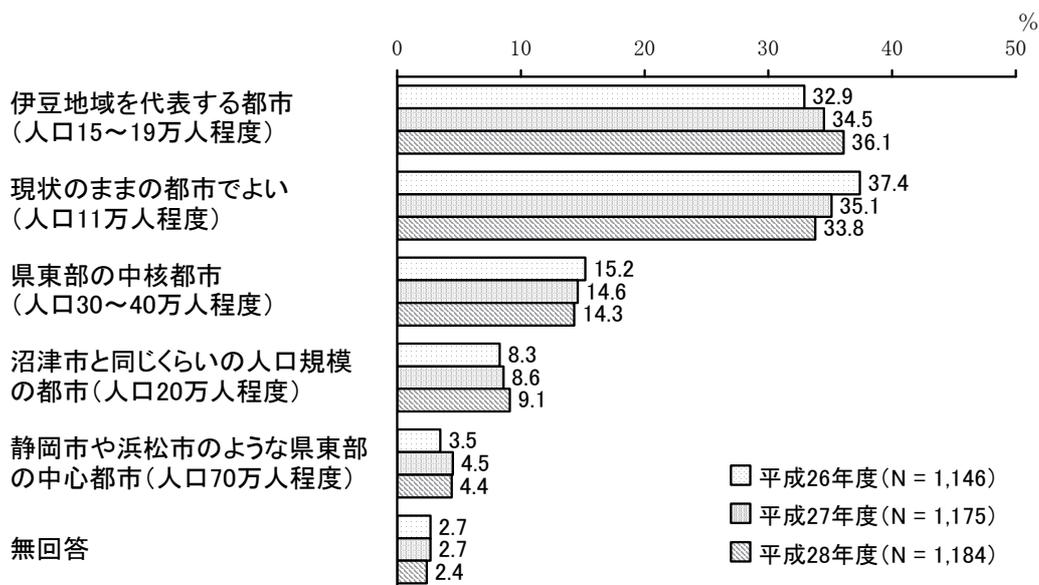
—将来の都市規模は「伊豆地域を代表する都市（人口15～19万人程度）」が36.1%—

「伊豆地域を代表する都市（人口15～19万人程度）」の割合が36.1%と最も高く、次いで「現状のままの都市でよい（人口11万人程度）」の割合が33.8%、「県東部の中核都市（人口30～40万人程度）」の割合が14.3%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられませんが、「伊豆地域を代表する都市（人口15～19万人程度）」(36.1%)が増加傾向にある一方、「現状のままの都市でよい（人口11万人程度）」(33.8%)は減少傾向となっています。



【属性別比較】

性別でみると、男性は「伊豆地域を代表する都市（人口 15～19 万人程度）」（37.6%）が最も高く、女性は「現状のままの都市でよい（人口 11 万人程度）」（38.4%）が最も高くなっています。

年代別でみると、50 代、60 代、70 代以上で「伊豆地域を代表する都市（人口 15～19 万人程度）」の割合が高く、特に 50 代（46.6%）で 4 割台半ばとなっています。

居住地区別でみると、「現状のままの都市でよい（人口 11 万人程度）」は、中郷（37.6%）が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数（件）	静岡市や浜松市のような県東部の中心都市（人口 70 万人程度）	県東部の中核都市（人口 30 ～ 40 万人程度）	沼津市と同じくらいの人口規模の都市（人口 20 万人程度）	伊豆地域を代表する都市（人口 15 ～ 19 万人程度）	現状のままの都市でよい（人口 11 万人程度）	無回答
性別	男性	511	4.9	17.4	9.6	37.6	29.4	1.2
	女性	635	3.9	12.0	8.7	35.4	38.4	1.6
年齢別	20 代	77	5.2	26.0	13.0	27.3	28.6	—
	30 代	145	8.3	16.6	10.3	25.5	37.9	1.4
	40 代	194	4.6	14.9	8.8	29.9	41.8	—
	50 代	176	5.1	13.6	10.8	46.6	23.3	0.6
	60 代	270	3.3	10.4	8.9	40.7	34.4	2.2
	70 代以上	302	2.0	14.2	6.6	39.1	35.8	2.3
居住地区別	旧市内	340	3.8	12.9	9.4	38.8	34.4	0.6
	北上	268	4.1	18.3	7.8	35.1	33.6	1.1
	錦田	225	3.6	14.7	12.0	38.2	30.7	0.9
	中郷	242	5.0	12.8	6.6	37.2	37.6	0.8

1 位

2 位

3 位

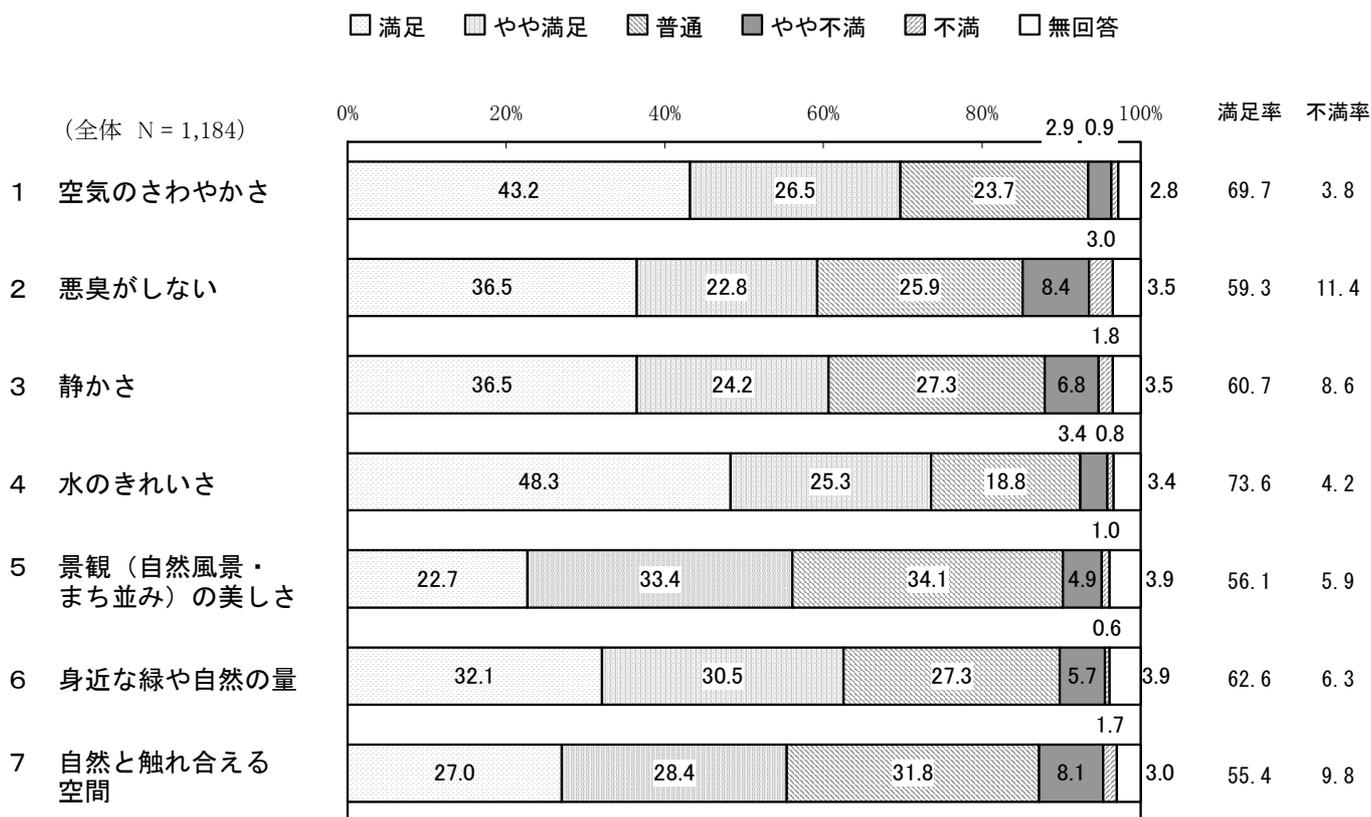
問5 あなたが住む地域の生活環境の満足度についてお答えください。
1～7の項目ごとに該当する番号を選んでください。

—生活環境の満足率は『空気のさわやかさ』『水のきれいさ』で約7割—

生活環境の満足度について聞いたところ、いずれの項目でも「満足」と「やや満足」を合わせた“満足率”が「やや不満」と「不満」を合わせた“不満率”を上回っています。

“満足率”は、『1 空気のさわやかさ』(69.7%)、『4 水のきれいさ』(73.6%)で約7割となっています。また、「満足」は、『1 空気のさわやかさ』(43.2%)、『4 水のきれいさ』(48.3%)が高く、『5 景観(自然風景・まち並み)の美しさ』(22.7%)では約2割となっています。

一方、“不満率”は『2 悪臭がしない』(11.4%)、『7 自然と触れ合える空間』(9.8%)、『3 静かさ』(8.6%)で約1割となっています。

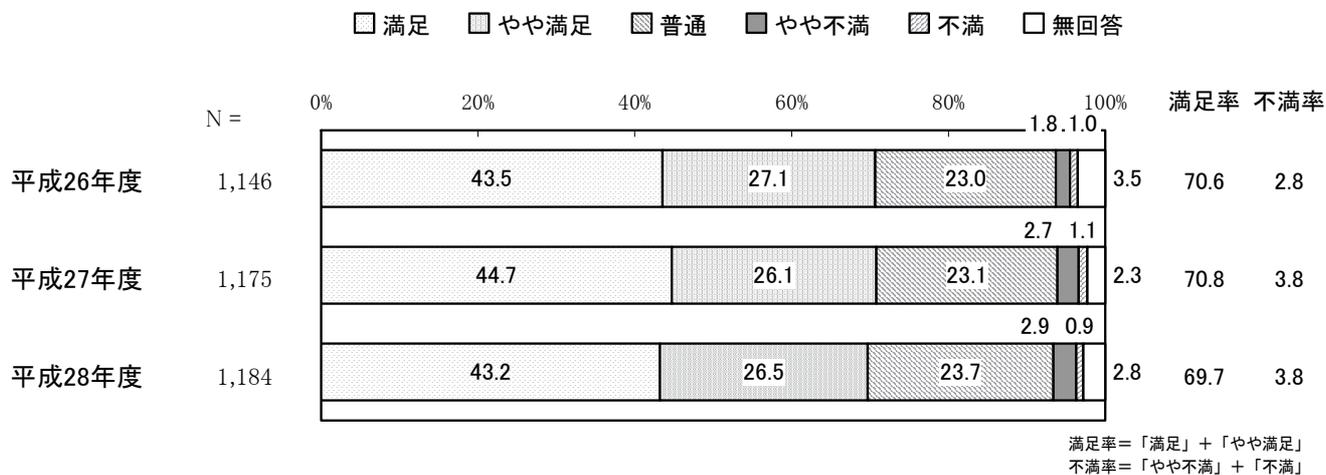


満足率=「満足」+「やや満足」
不満率=「やや不満」+「不満」

①空気のさわやかさ

【時系列比較】

平成 26 年度調査、平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“満足率”は約 7 割を占めています。

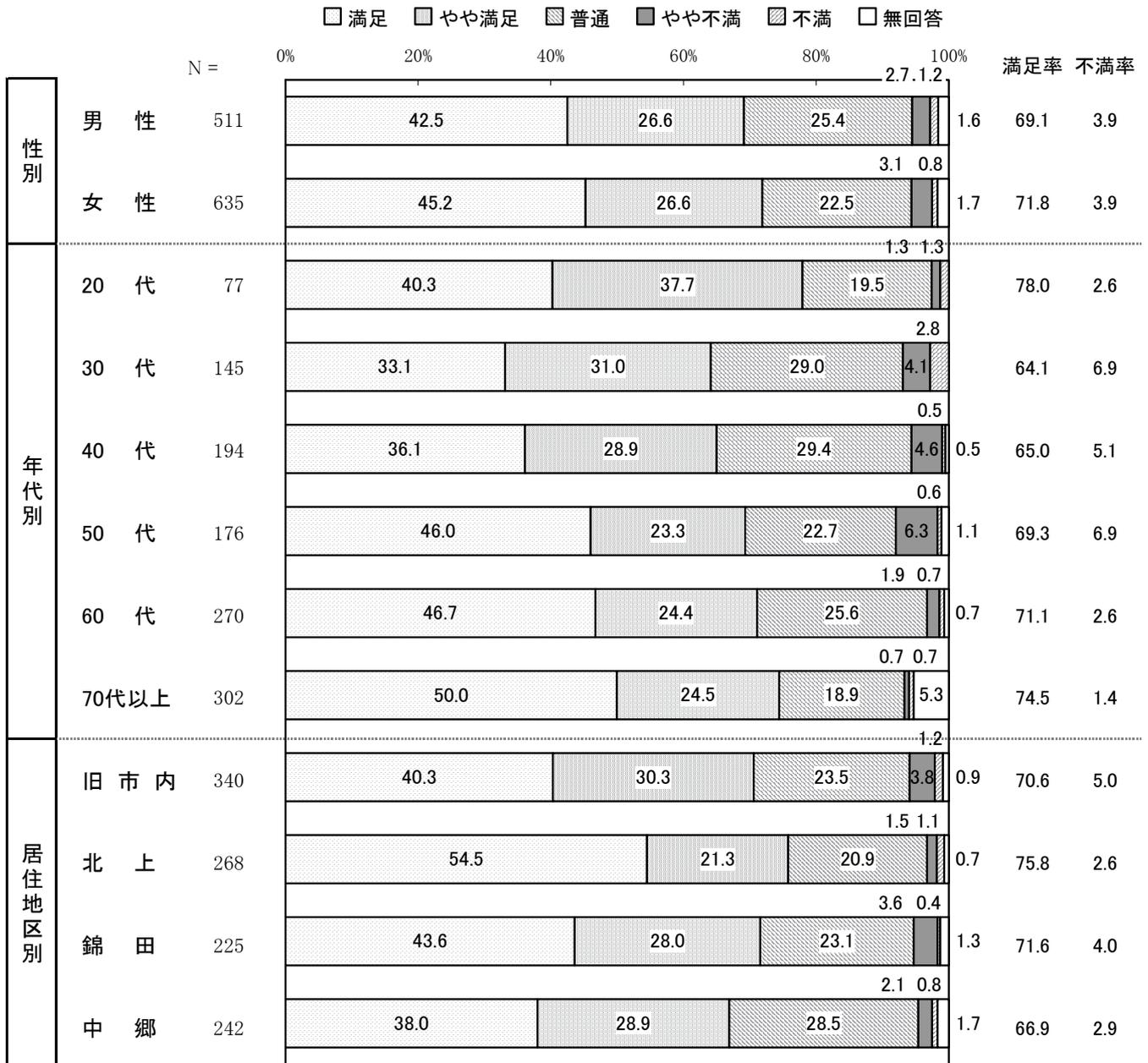


【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 69.1%、女性 71.8%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約7割となっています。

年代別でみると、“満足率”は20代、60代、70代以上で7割を超えています。一方、「満足」は、70代以上（50.0%）が最も高く、次いで60代（46.7%）、50代（46.0%）と上の年代ほど高くなっています。

居住地区別でみると、“満足率”は北上（75.8%）で最も高く、「満足」も北上（54.5%）で半数を超えています。

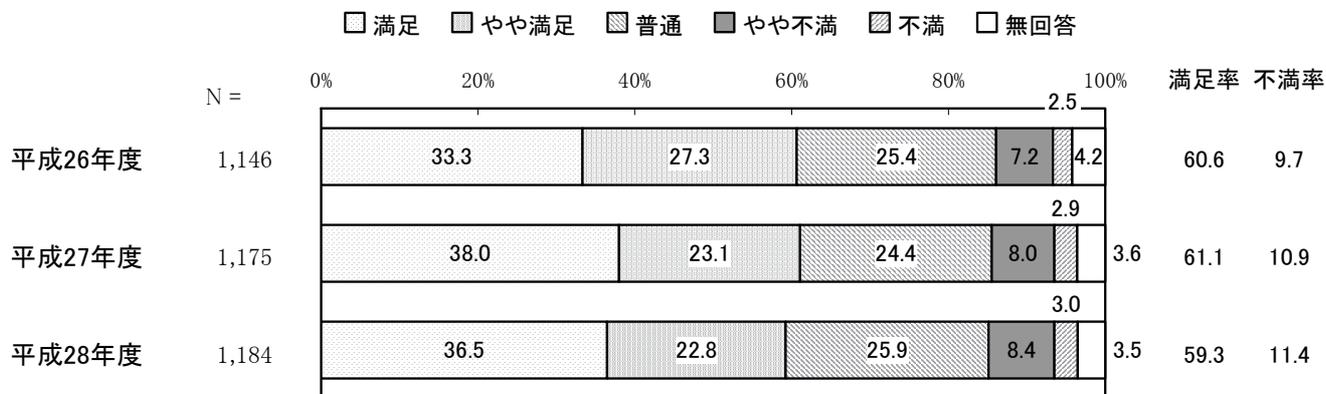


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

②悪臭がしない

【時系列比較】

平成 26 年度調査、平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“満足率”は約 6 割を占めています。



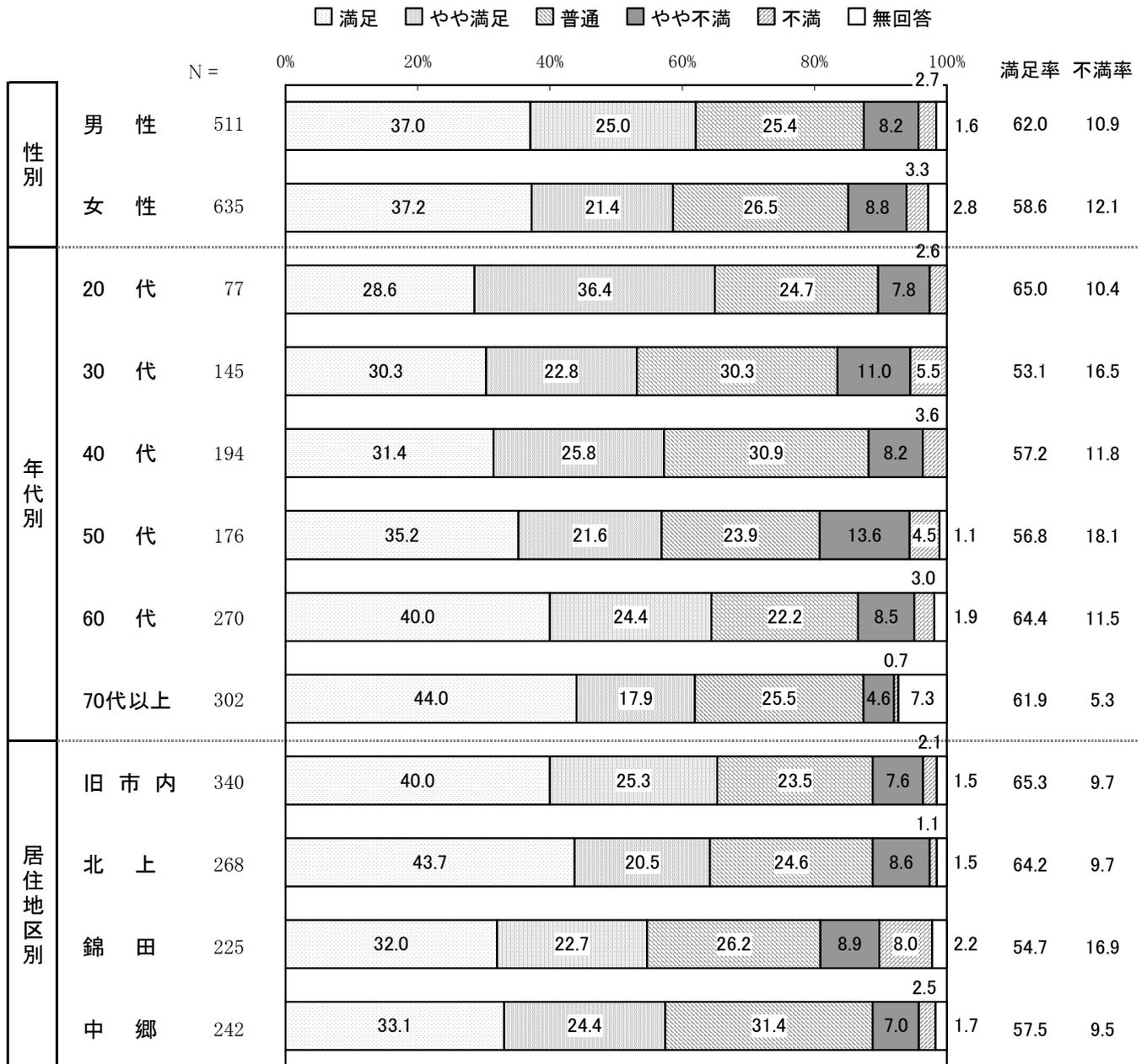
満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 62.0%、女性 58.6%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約6割となっています。

年代別でみると、“満足率”は20代（65.0%）が最も高く、次いで60代（64.4%）、70代以上（61.9%）となっていますが、30代（53.1%）は約5割と低くなっています。

居住地区別でみると、“満足率”は旧市内（65.3%）で最も高く、次いで北上（64.2%）と、6割を超えています。

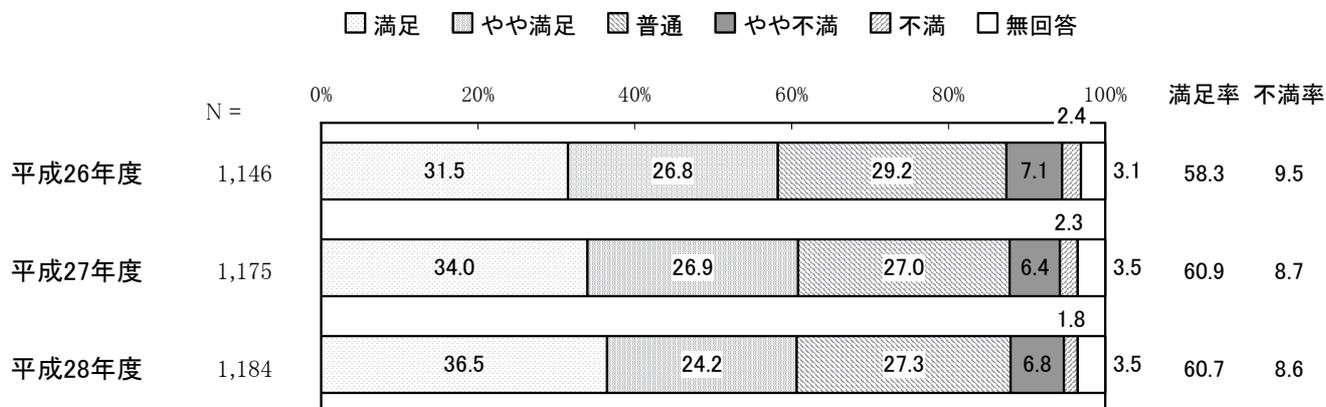


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

③静かさ

【時系列比較】

平成 26 年度調査、平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“満足率”は約 6 割を占めています。



満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

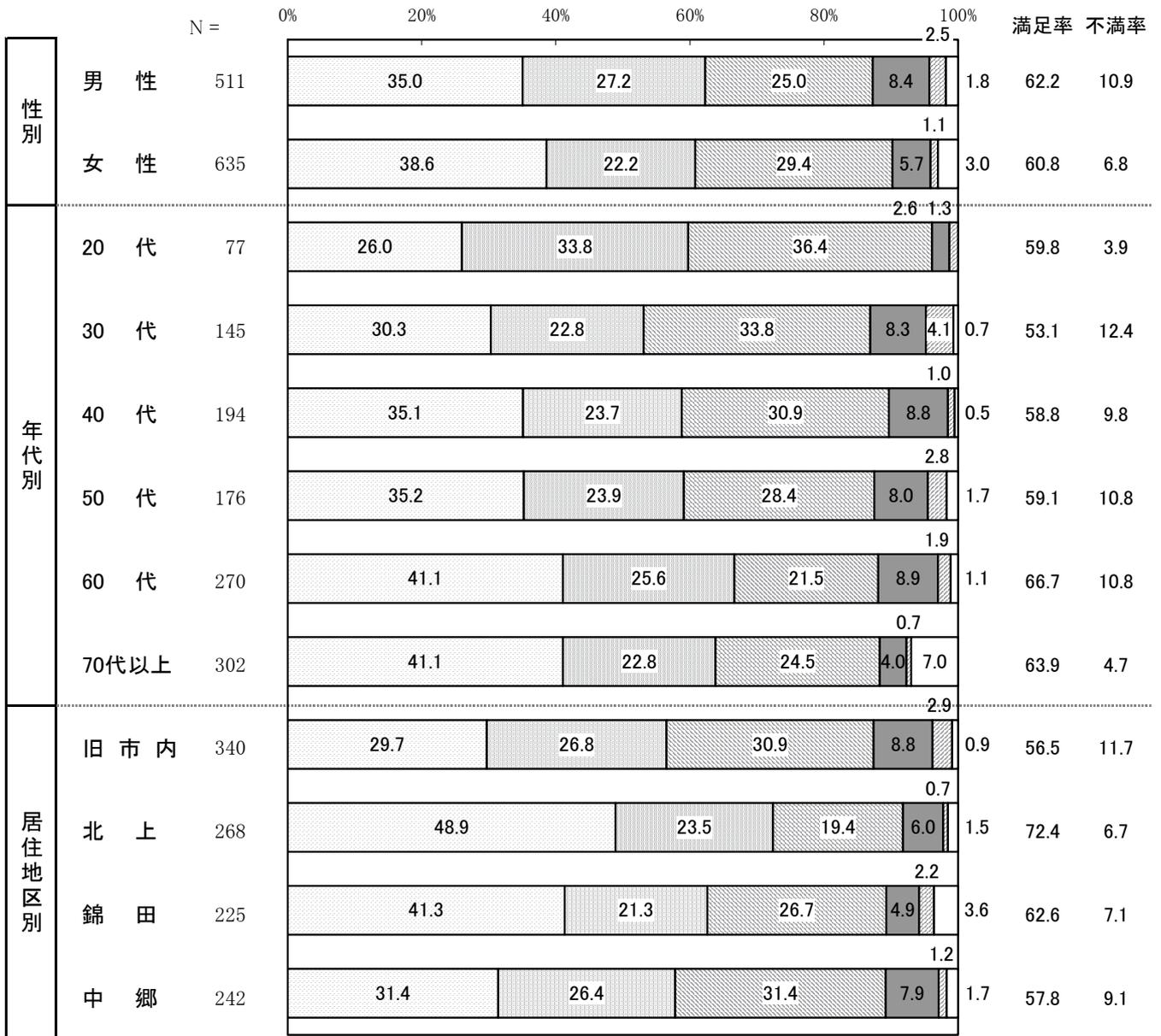
【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 62.2%、女性 60.8%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約6割となっています。

年代別でみると、“満足率”は60代、70代以上で高く、6割を超えています。

居住地区別でみると、“満足率”は北上（72.4%）で最も高く、約7割となっています。一方、“不満率”は旧市内（11.7%）、中郷（9.1%）で高くなっています。

□ 満足 □ やや満足 □ 普通 □ やや不満 □ 不満 □ 無回答

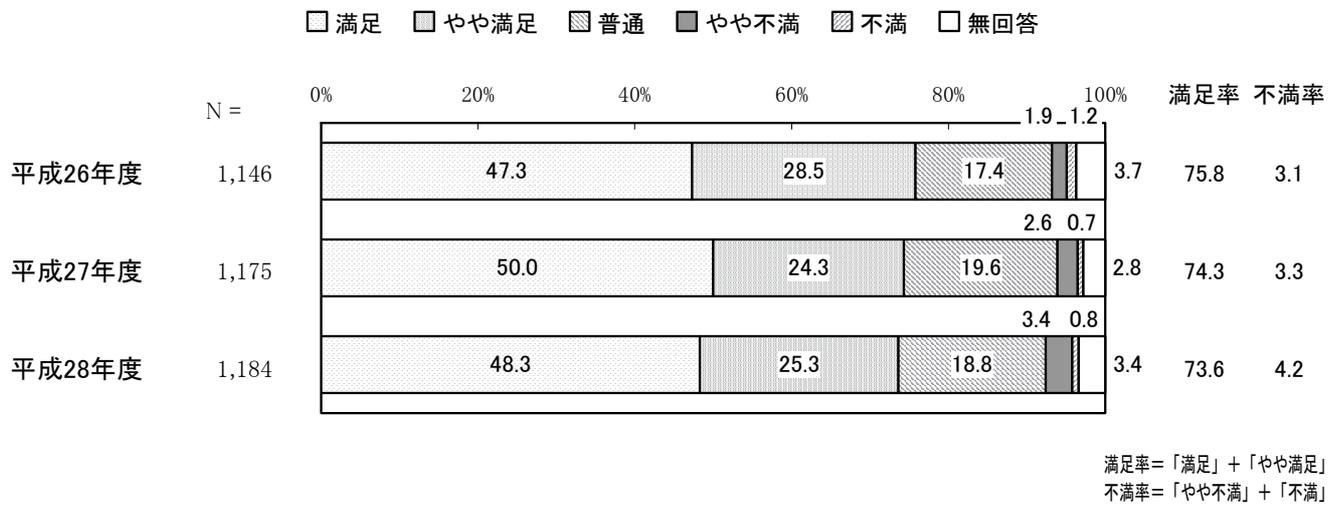


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

④水のきれいさ

【時系列比較】

平成 26 年度調査、平成 27 年度調査と比較すると、“不満率”が上昇し 4.2%となっています。

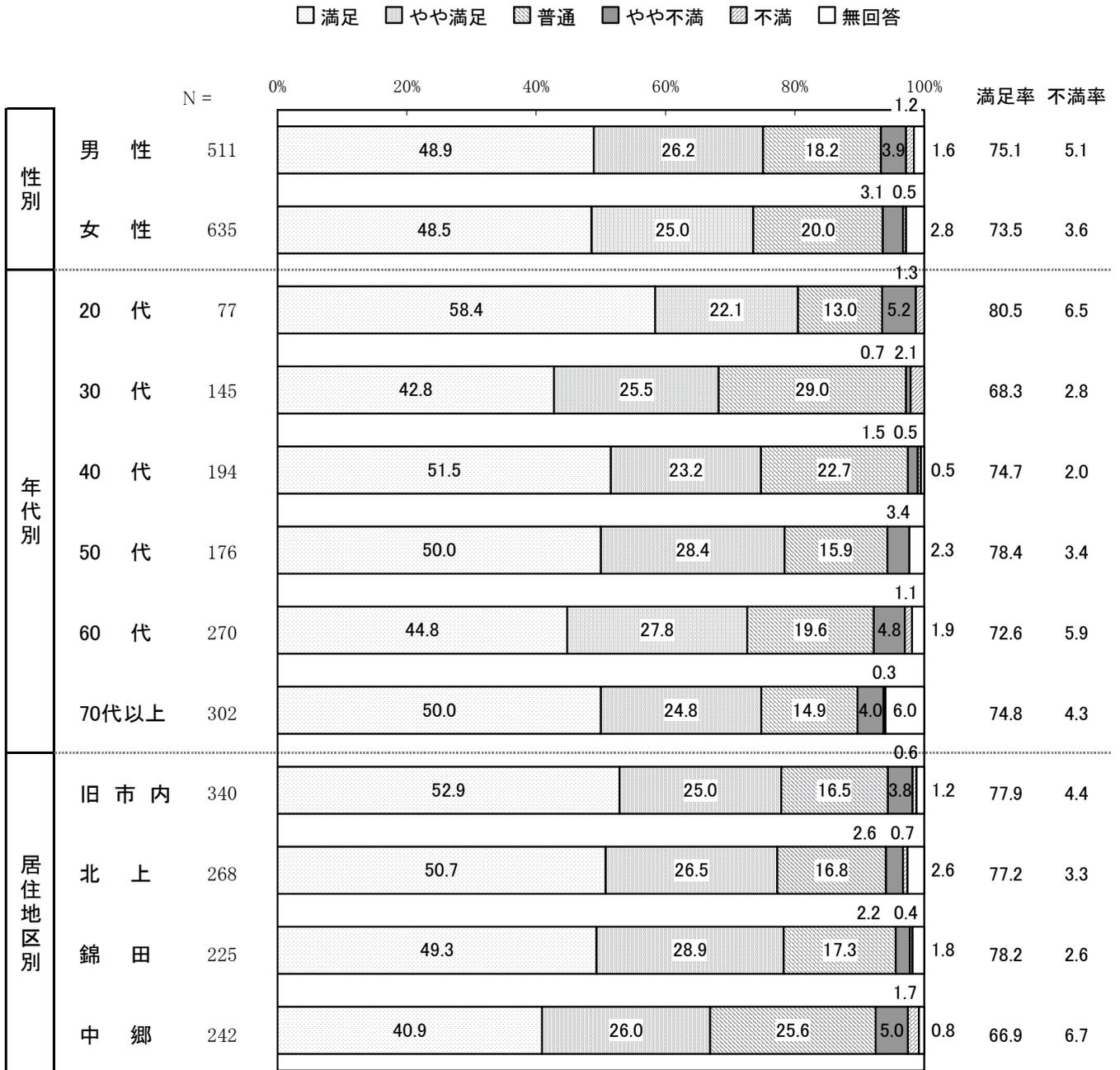


【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 75.1%、女性 73.5%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも7割を超えています。

年代別でみると、“満足率”は20代（80.5%）で最も高く、次いで50代（78.4%）で、約8割となっています。

居住地区別でみると、“満足率”は錦田（78.2%）で最も高く、次いで旧市内（77.9%）、北上（77.2%）で約8割となっている一方、中郷（66.9%）で7割未満と低くなっています。

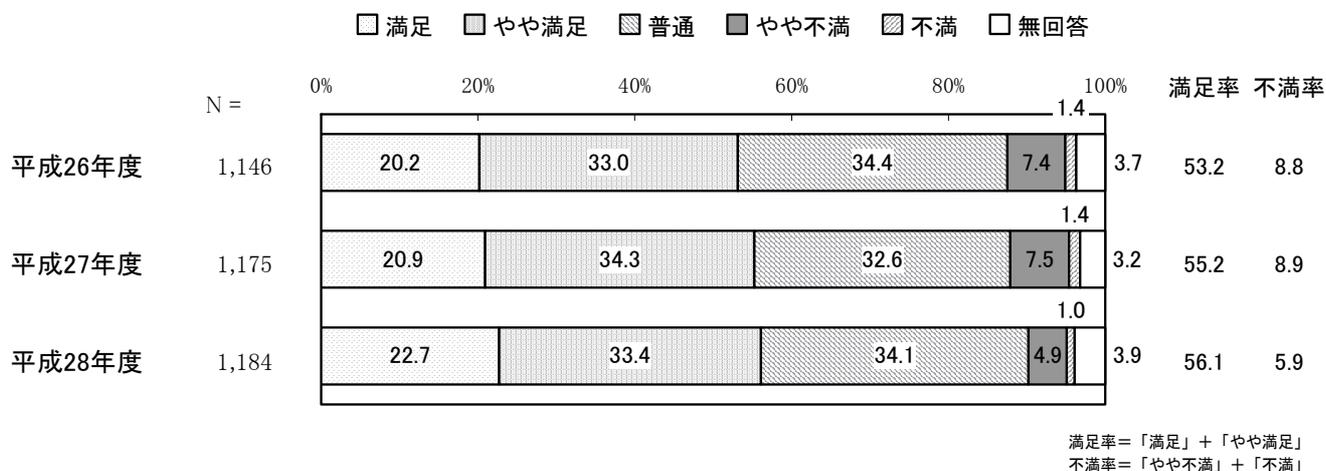


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

⑤景観（自然風景・まち並み）の美しさ

【時系列比較】

平成 26 年度調査、平成 27 年度調査と比較すると、“不満率”が減少し 5.9%となっています。

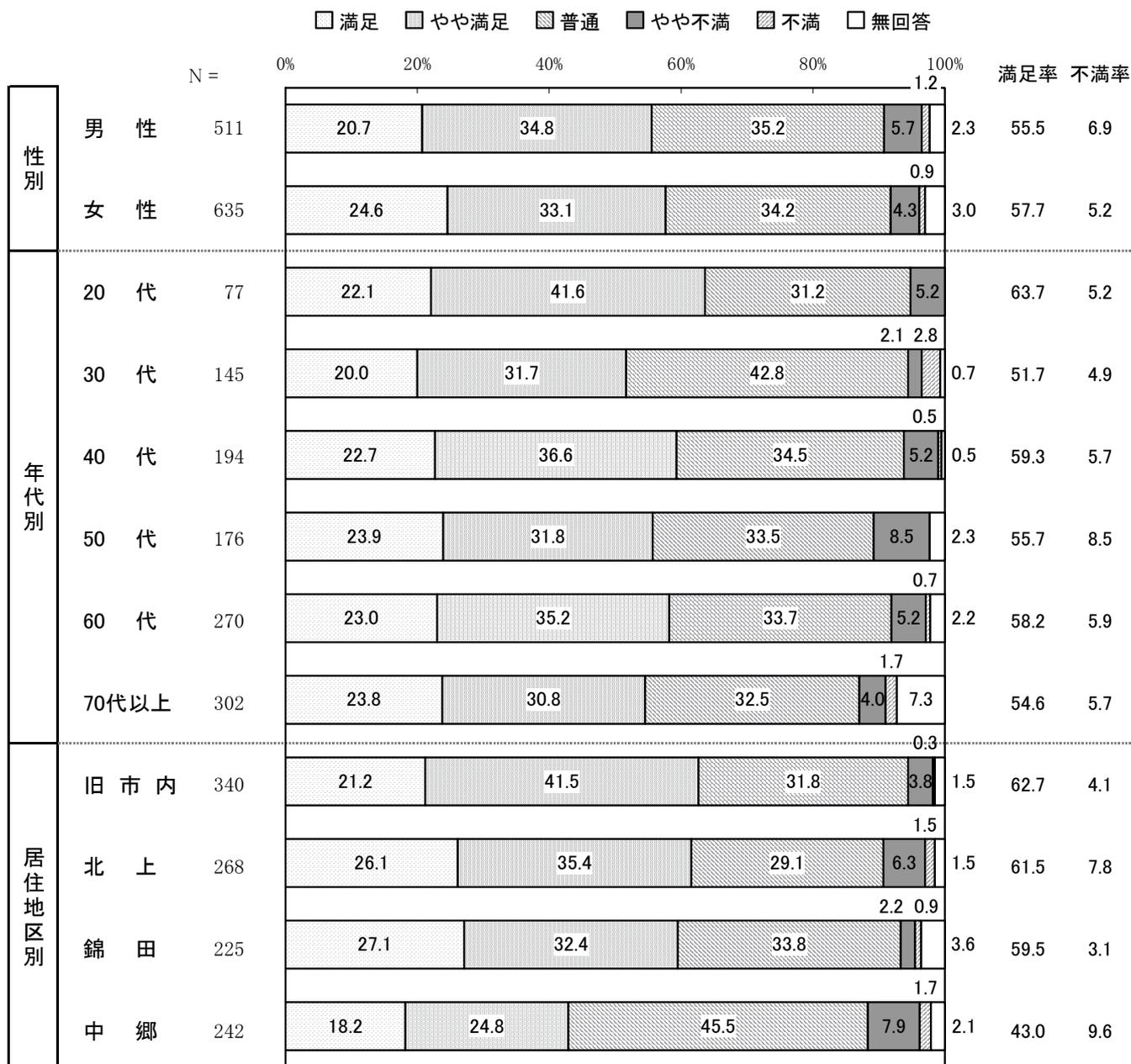


【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 55.5%、女性 57.7%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも5割を超えています。

年代別でみると、“満足率”は20代（63.7%）が最も高く、次いで40代（59.3%）、60代（58.2%）と、約6割となっています。

居住地区別でみると、“満足率”は旧市内（62.7%）で最も高くなっています。一方で、中郷（43.0%）では約4割と低くなっています。

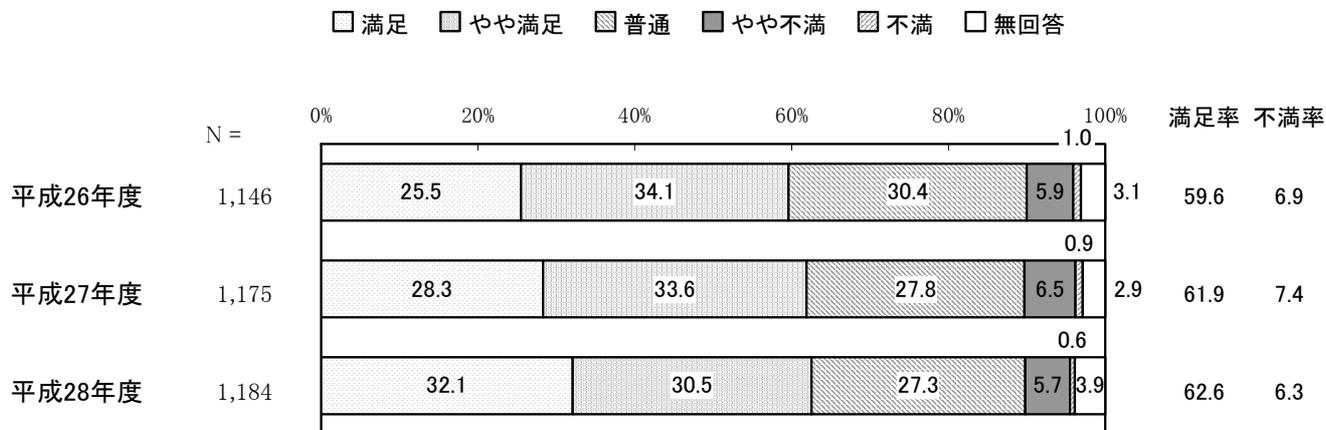


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

⑥身近な緑や自然の量

【時系列比較】

平成 26 年度調査、平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“満足率”は約 6 割となっています。



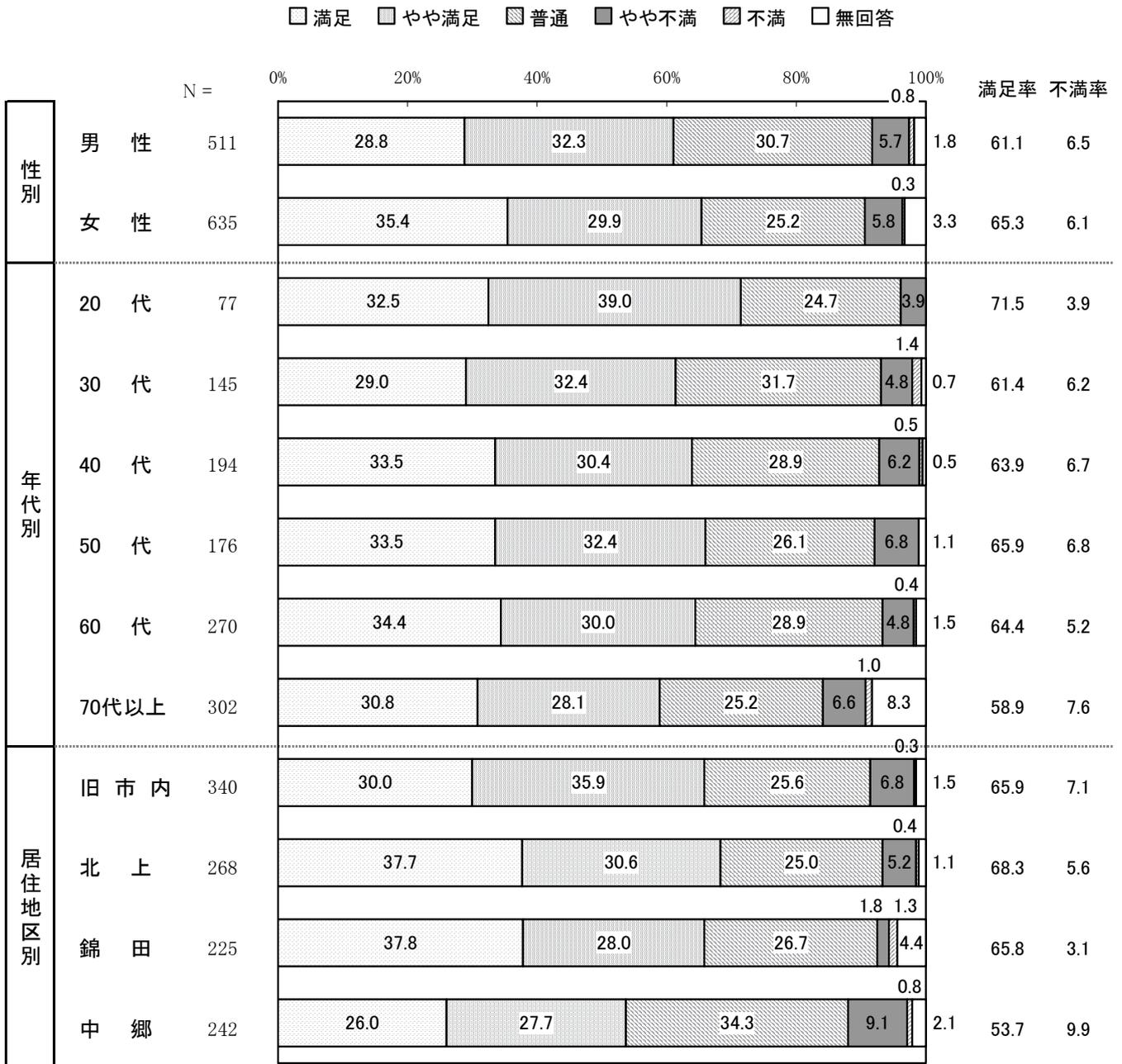
満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

【属性別比較】

性別でみると、“満足率”（男性 61.1%、女性 65.3%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも6割を超えています。

年代別でみると、“満足率”は20代（71.5%）で高く、次いで50代（65.9%）となっています。

居住地区別でみると、“満足率”は北上（68.3%）で最も高く、約7割となっています。一方、中郷（53.7%）では約5割と低くなっています。

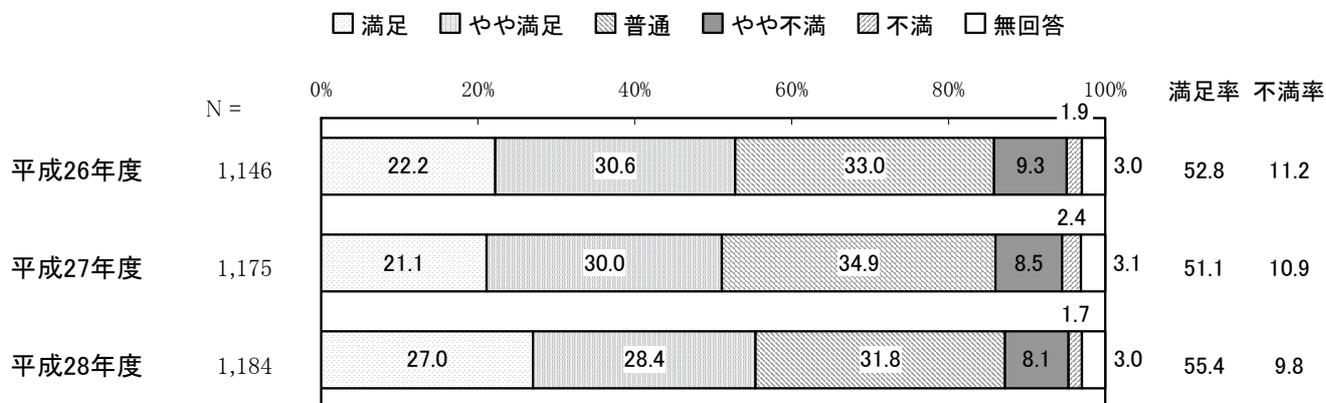


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

⑦自然と触れ合える空間

【時系列比較】

平成 26 年度調査、平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“満足率”は5割を超えています。“不満率”は減少傾向がみられ、1割未満となっています。



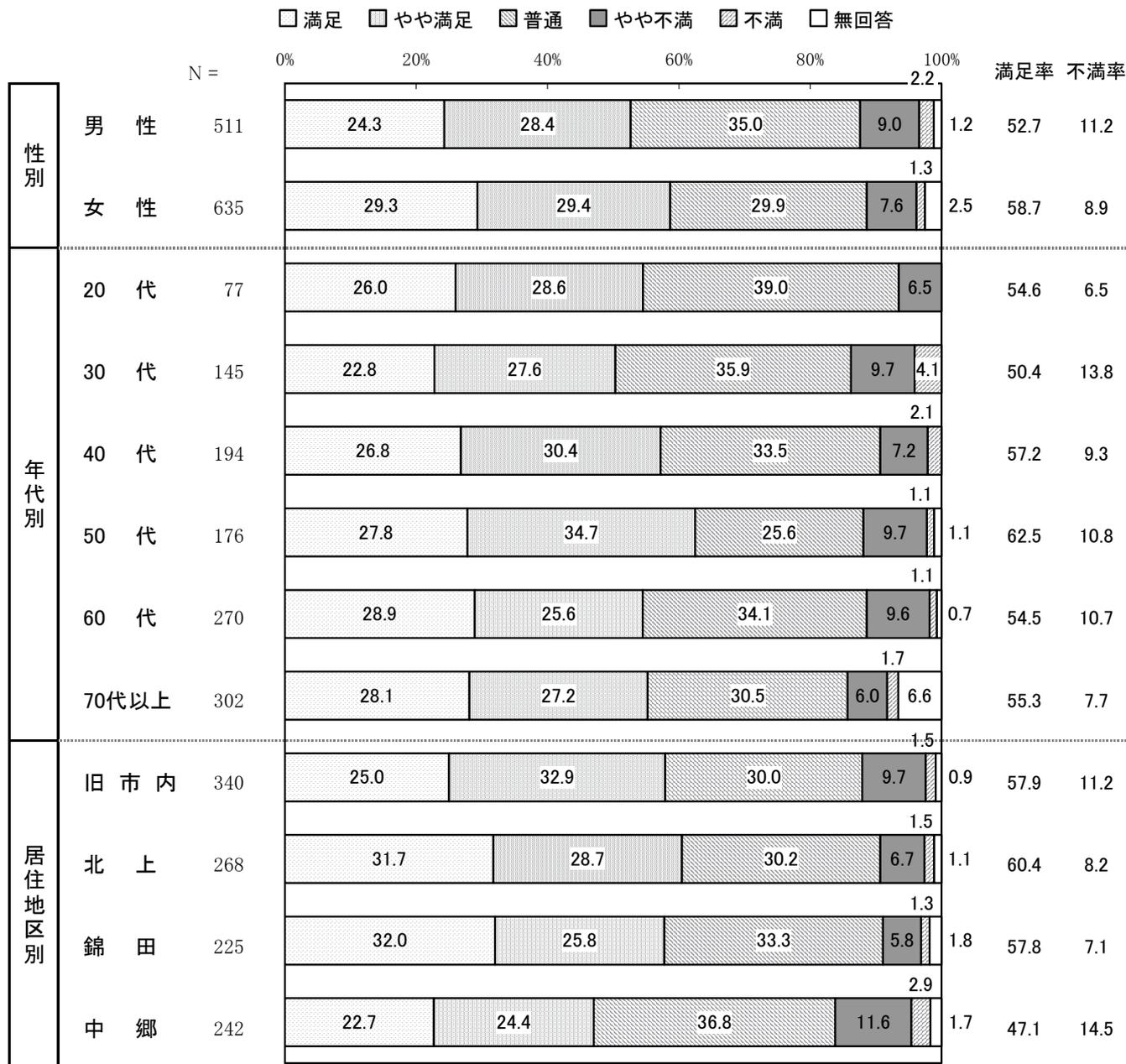
満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

【属性別比較】

性別でみると、“満足率”は女性（58.7%）が男性（52.7%）よりも高くなっています。

年代別でみると、“満足率”は50代（62.5%）で最も高く、一方、30代（50.4%）で低くなっています。

居住地区別でみると、“満足率”は北上（60.4%）で最も高く、一方、中郷（47.1%）では5割未満と低くなっています。「満足」は錦田（32.0%）、北上（31.7%）で高く、中郷（22.7%）で低くなっています。



満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

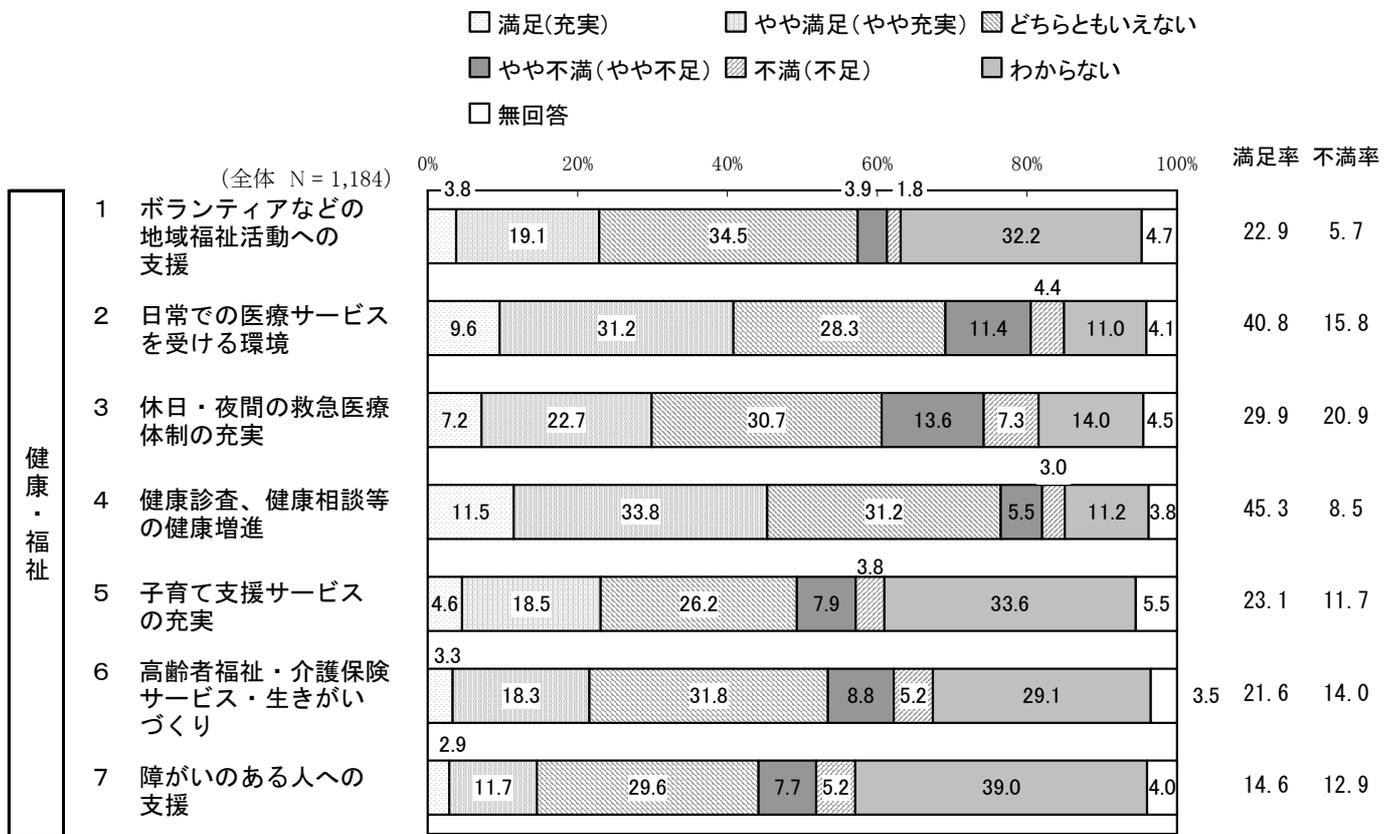
3 『市の取り組みの満足度』について

問6 毎日の暮らしを通じて、市が行なっている施策に対する満足（充実）度についてお答えください。1～42の項目ごとに該当する番号を選んでください。（それぞれ○は一つ）

—三島市の施策の満足率は『せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』が69.4% 不満率は『歩道の整備』で38.4%—

三島市の施策に対する満足（充実）度について聞いたところ、“満足率”は、健康福祉に関する項目では『4 健康診査、健康相談等の健康増進』（45.3%）、市民生活に関する項目では『9 消防・救急体制の確保』（33.9%）、産業振興に関する項目では『14 観光・イベントの振興』（42.1%）、都市基盤に関する項目では『25 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』（69.4%）、環境保全に関する項目では『29 公園・水辺空間の整備』（49.2%）、教育文化に関する項目では『33 生涯学習の振興』（27.7%）、協働行財政に関する項目では『42 「広報みしま」による市政情報の提供』（59.6%）が最も高くなっています。

“不満率”は、健康福祉に関する項目では『3 休日・夜間の救急医療体制の充実』（20.9%）、市民生活に関する項目では『10 交通安全の対策』（17.2%）、産業振興に関する項目では『13 にぎわいある商業・商店街づくり』（27.1%）、都市基盤に関する項目では『20 歩道の整備』（38.4%）、環境保全に関する項目では『27 ごみ・リサイクル対策』（18.4%）、教育文化に関する項目では『31 幼児・学校教育の充実』（11.3%）、協働行財政に関する項目では『41 市民意見の市政への反映』（13.8%）がそれぞれ最も高くなっています。

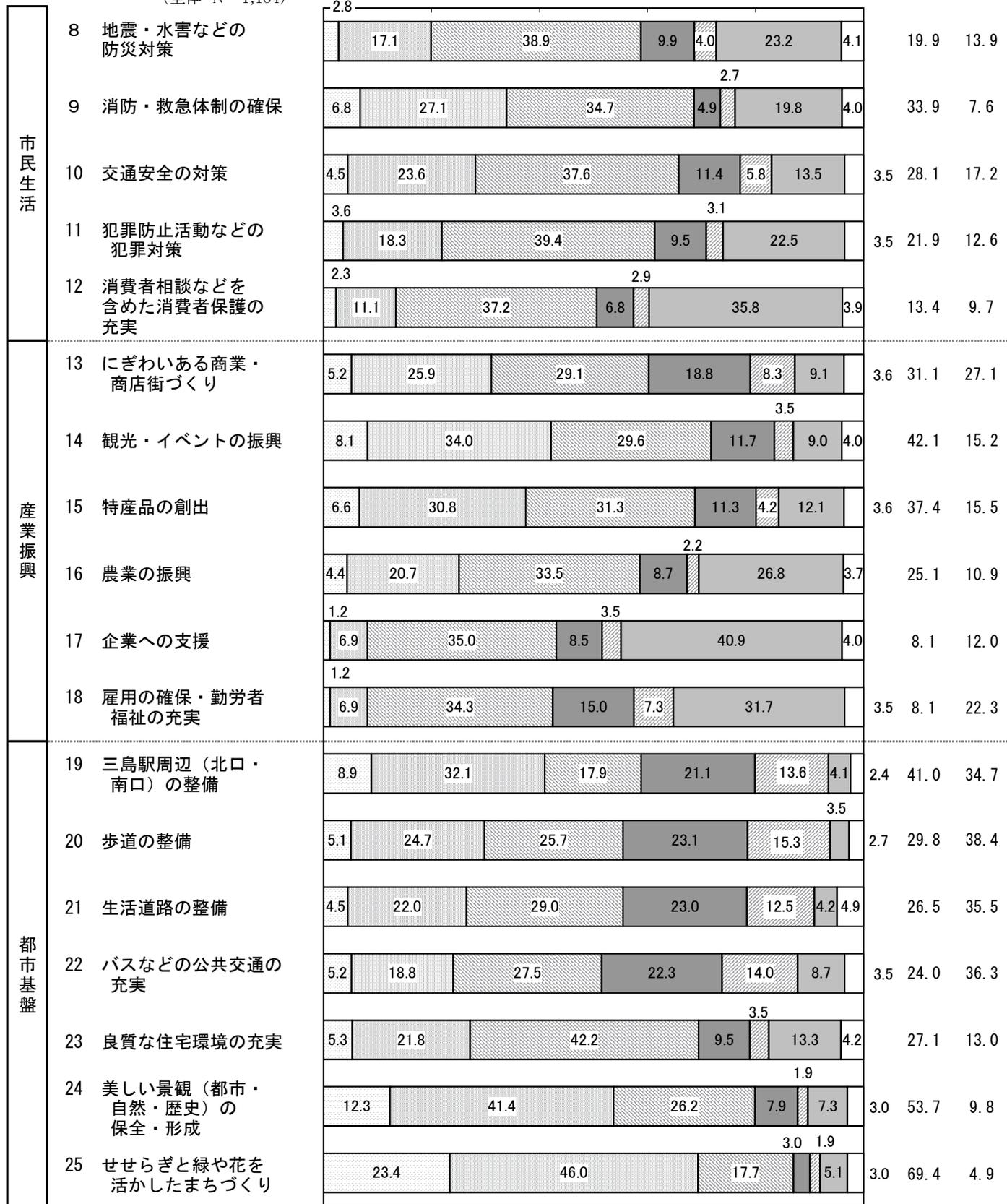


満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

満足(充実) やや満足(やや充実) どちらともいえない
 やや不満(やや不足) 不満(不足) わからない
 無回答

(全体 N = 1,184)

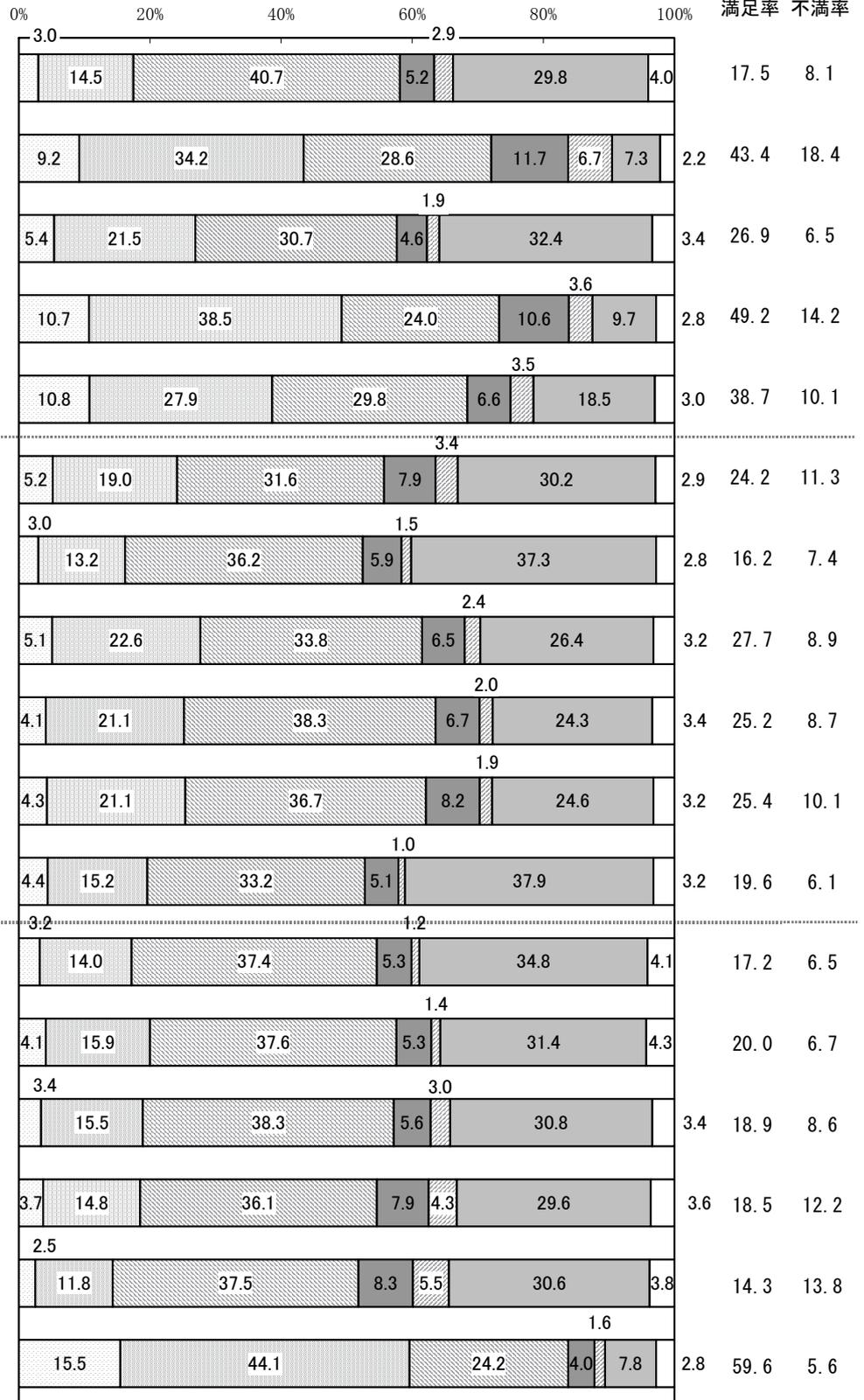
0% 20% 40% 60% 80% 100% 満足率 不満率



満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

満足(充実) やや満足(やや充実) どちらともいえない
 やや不満(やや不足) 不満(不足) わからない
 無回答

(全体 N = 1,184)



満足率 = 「満足」 + 「やや満足」
 不満率 = 「やや不満」 + 「不満」

満足率上位5項目

順位	項目	分類	満足率
1	25 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり	都市基盤	69.4%
2	42 「広報みしま」による市政情報の提供	協働行財政	59.6%
3	24 美しい景観(都市・自然・歴史)の保全・形成	都市基盤	53.7%
4	29 公園・水辺空間の整備	環境保全	49.2%
5	4 健康診査、健康相談等の健康増進	健康・福祉	45.3%

不満率上位5項目

順位	項目	分類	不満率
1	20 歩道の整備	都市基盤	38.4%
2	22 バスなどの公共交通の充実	都市基盤	36.3%
3	21 生活道路の整備	都市基盤	35.5%
4	19 三島駅周辺(北口・南口)の整備	都市基盤	34.7%
5	13 にぎわいある商業・商店街づくり	産業振興	27.1%

“満足率”が多い上位5項目は『25 せせらぎと緑や花を活かしたまちづくり』(69.4%)、『42 「広報みしま」による市政情報の提供』(59.6%)、『24 美しい景観(都市・自然・歴史)の保全・形成』(53.7%)、『29 公園・水辺空間の整備』(49.2%)、『4 健康診査、健康相談等の健康増進』(45.3%)であり、都市基盤に関する項目が2つ含まれています。

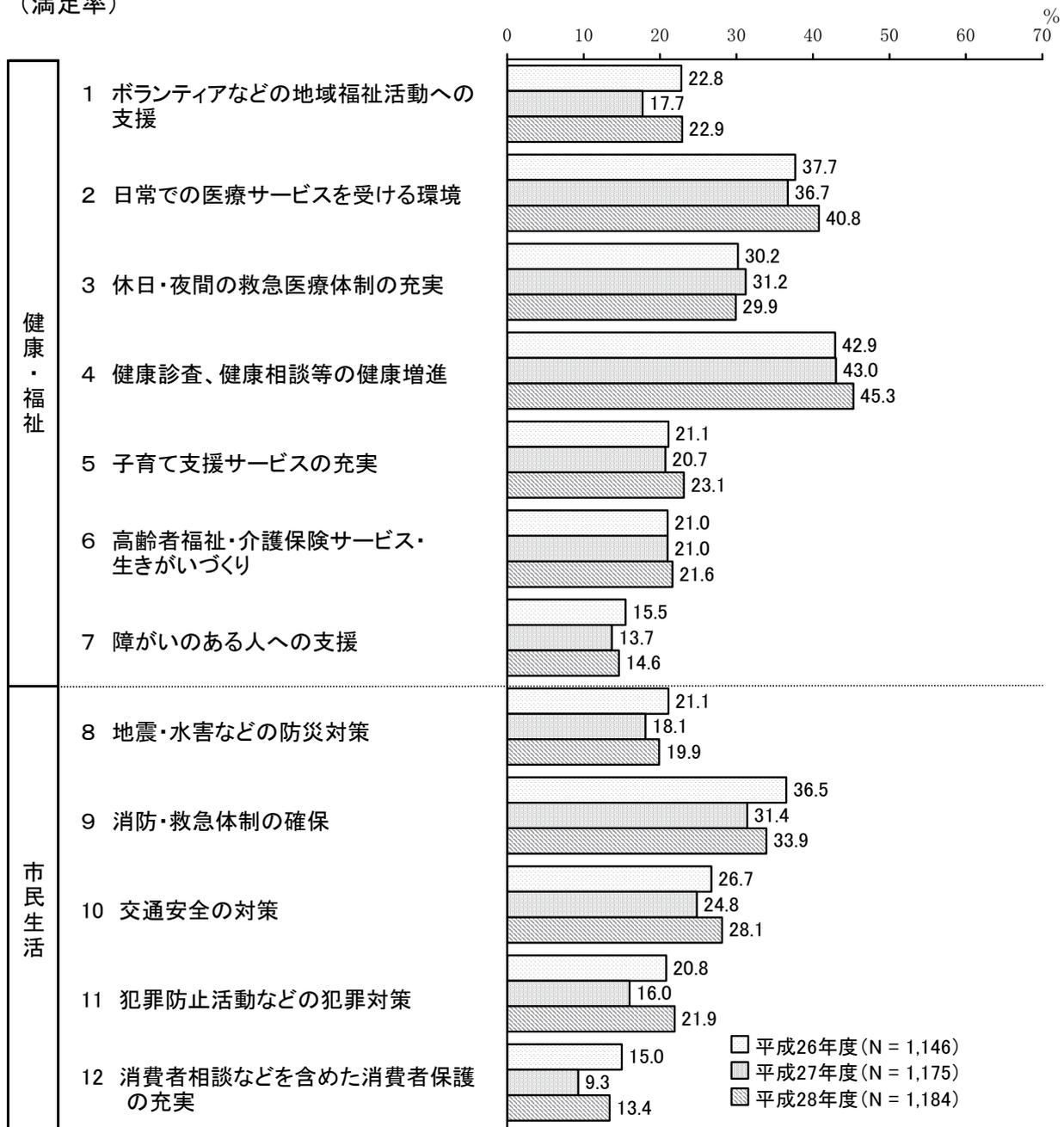
“不満率”が多い上位5項目は『20 歩道の整備』(38.4%)、『22 バスなどの公共交通の充実』(36.3%)、『21 生活道路の整備』(35.5%)、『19 三島駅周辺(北口・南口)の整備』(34.7%)、『13 にぎわいある商業・商店街づくり』(27.1%)であり、都市基盤に関する項目が4つ含まれています。

【時系列比較】

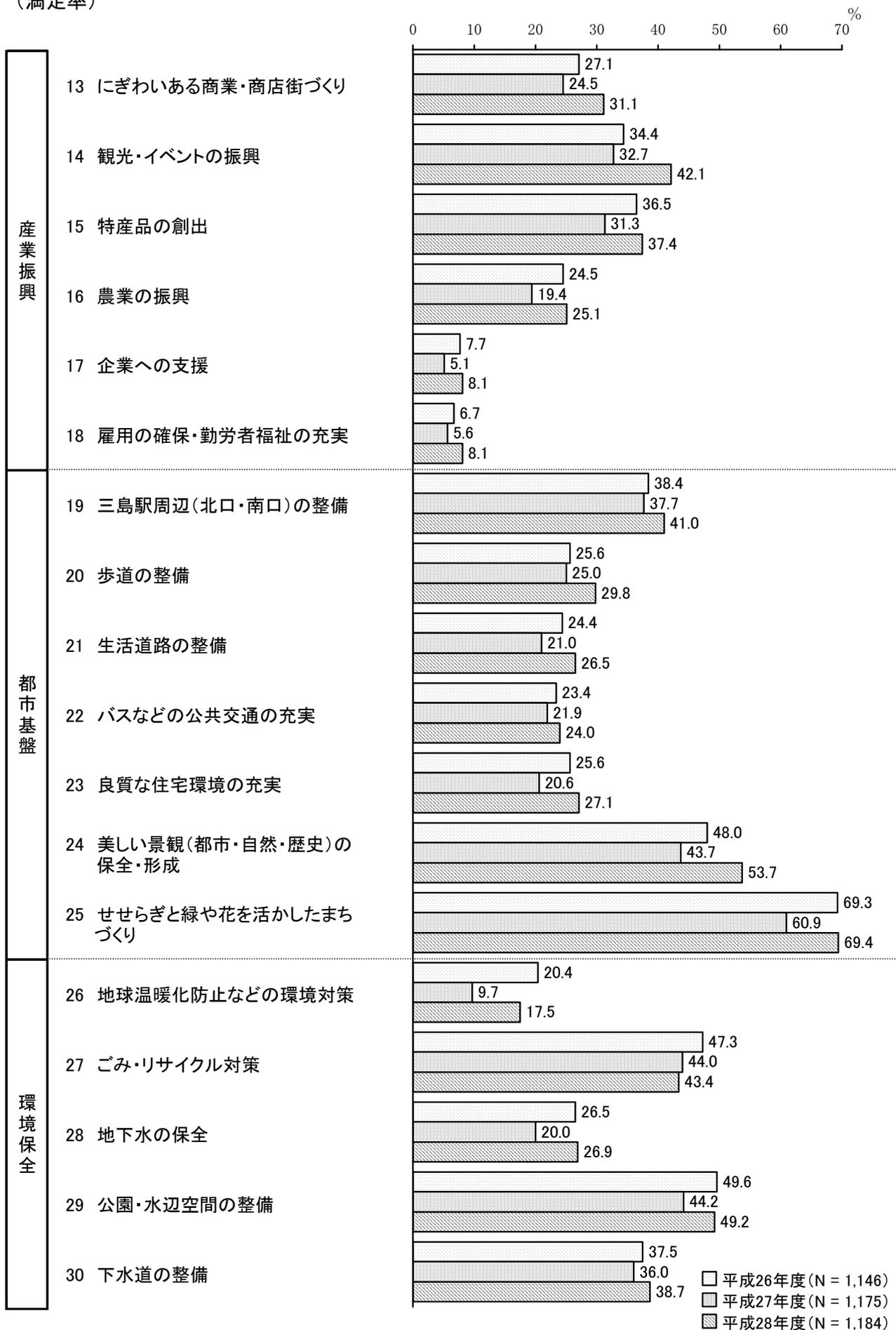
平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、“満足率”は、42項目中20項目で平成27年度調査に比べ5ポイント以上高くなっており、特に『24 美しい景観（都市・自然・歴史）の保全・形成』（53.7%）が10.0ポイント、『14 観光・イベントの振興』（42.1%）は9.4ポイント上昇しています。また、42項目中22項目では平成27年度調査と変わらないほか、5ポイント以上減少した項目はありませんでした。

“不満率”は、42項目中1項目では平成27年度調査に比べ5ポイント以上上昇しており、『27 ゴミ・リサイクル対策』（18.4%）で約2割を占めています。

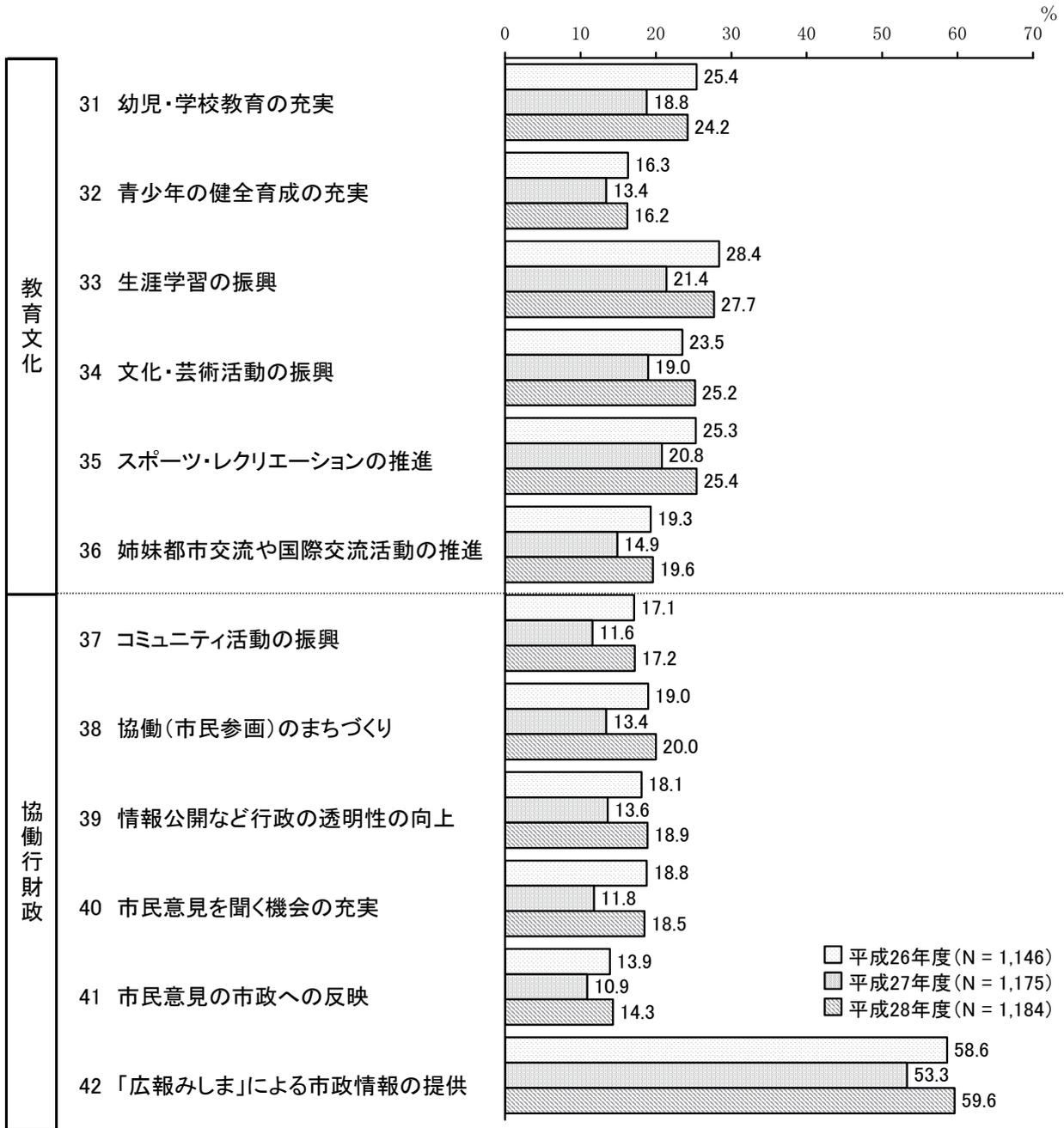
（満足率）



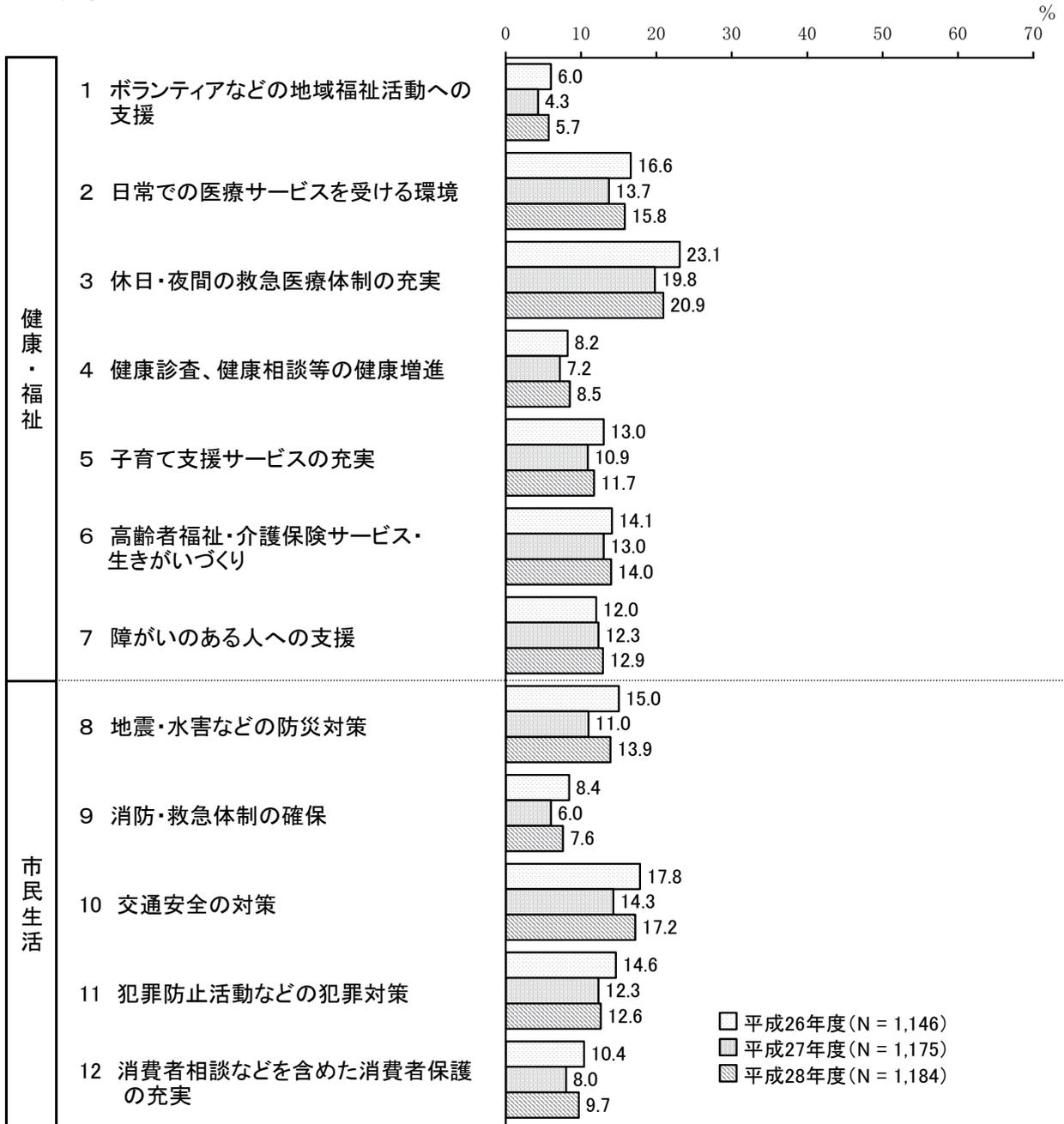
(満足率)



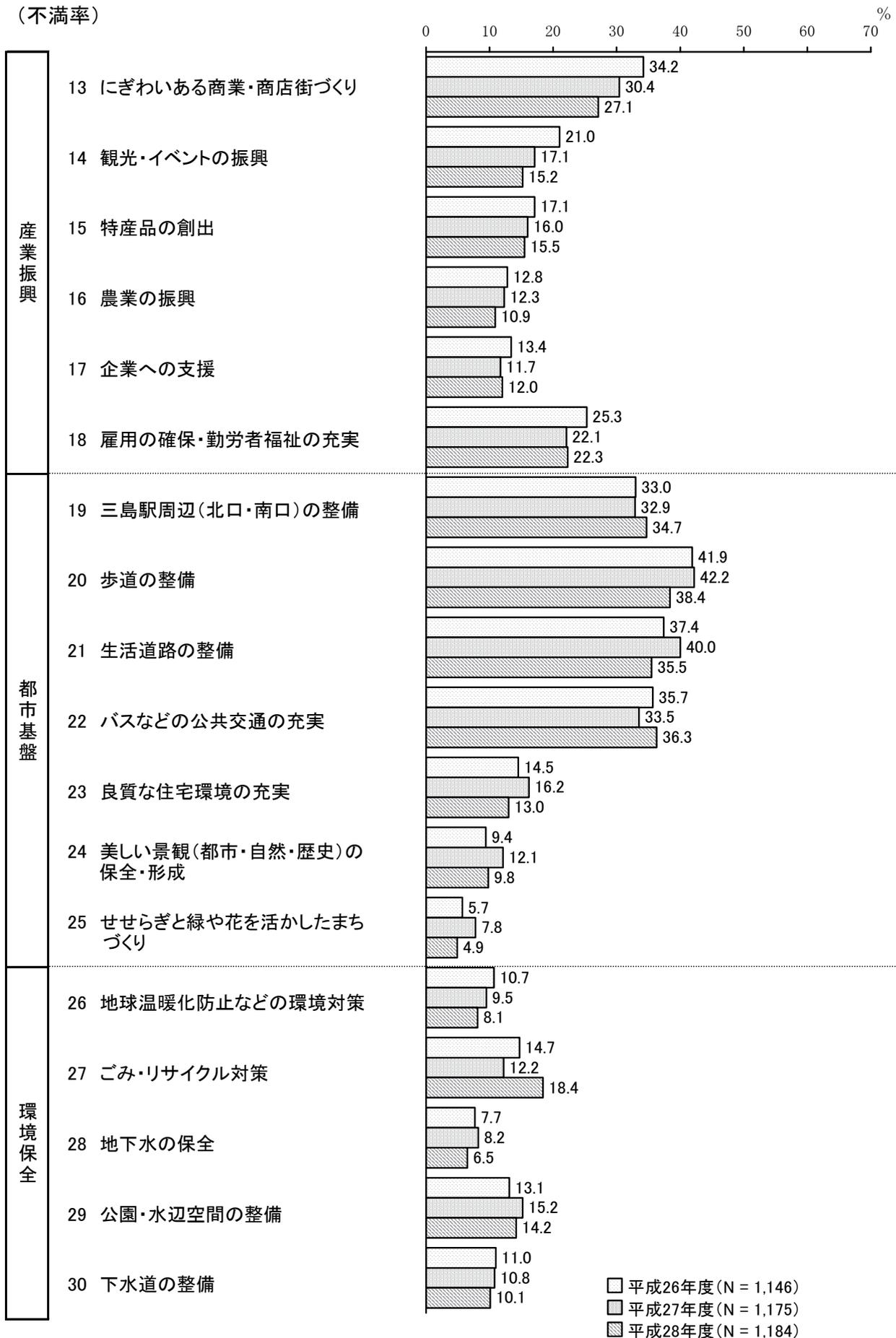
(満足率)



(不満率)

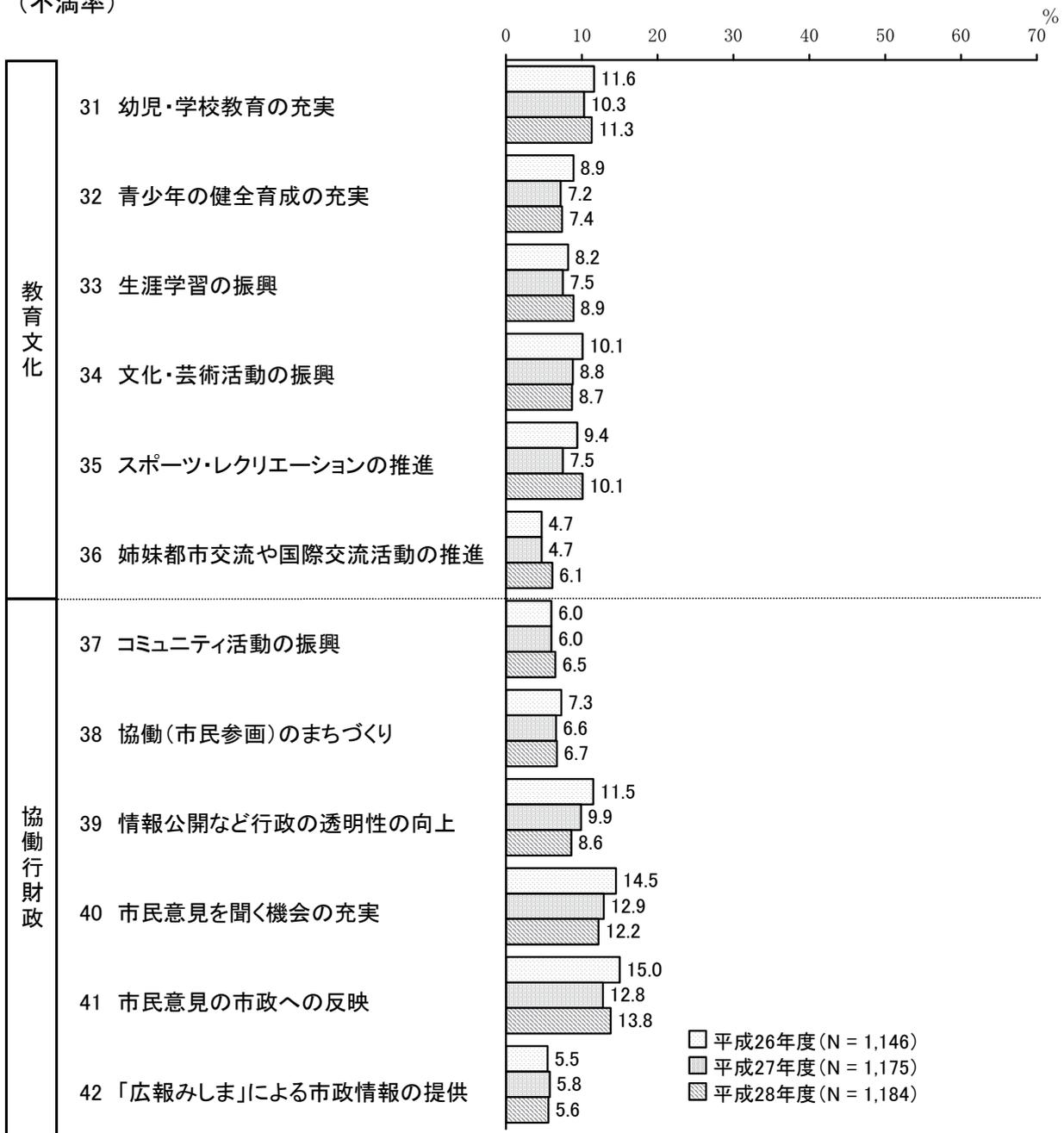


(不満率)



□ 平成26年度(N = 1,146)
■ 平成27年度(N = 1,175)
▨ 平成28年度(N = 1,184)

(不満率)

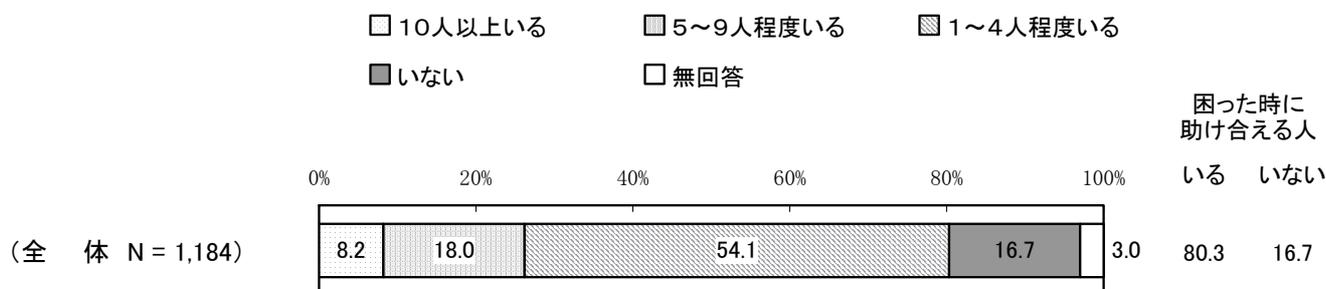


4 『総合計画の指標に関する項目』について

問7 困ったときに助け合うことができる人が近所にいますか。(〇は一つ)

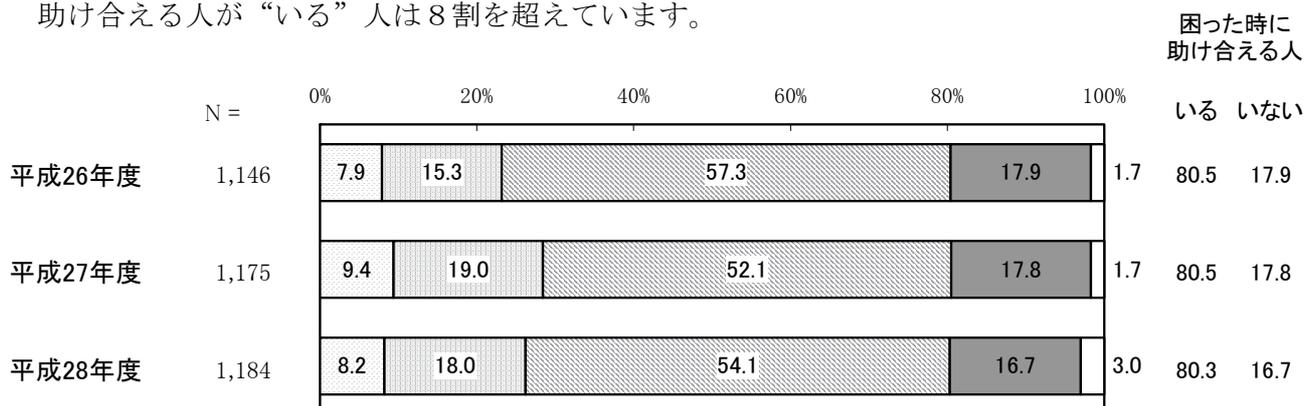
—困った時に助け合える人が“いる”人は80.3%—

「10人以上いる」(8.2%)、「5～9人程度いる」(18.0%)、「1～4人程度いる」(54.1%)を合わせた“いる”は80.3%、“いない”の割合が16.7%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられませんが、困った時に助け合える人が“いる”人は8割を超えています。

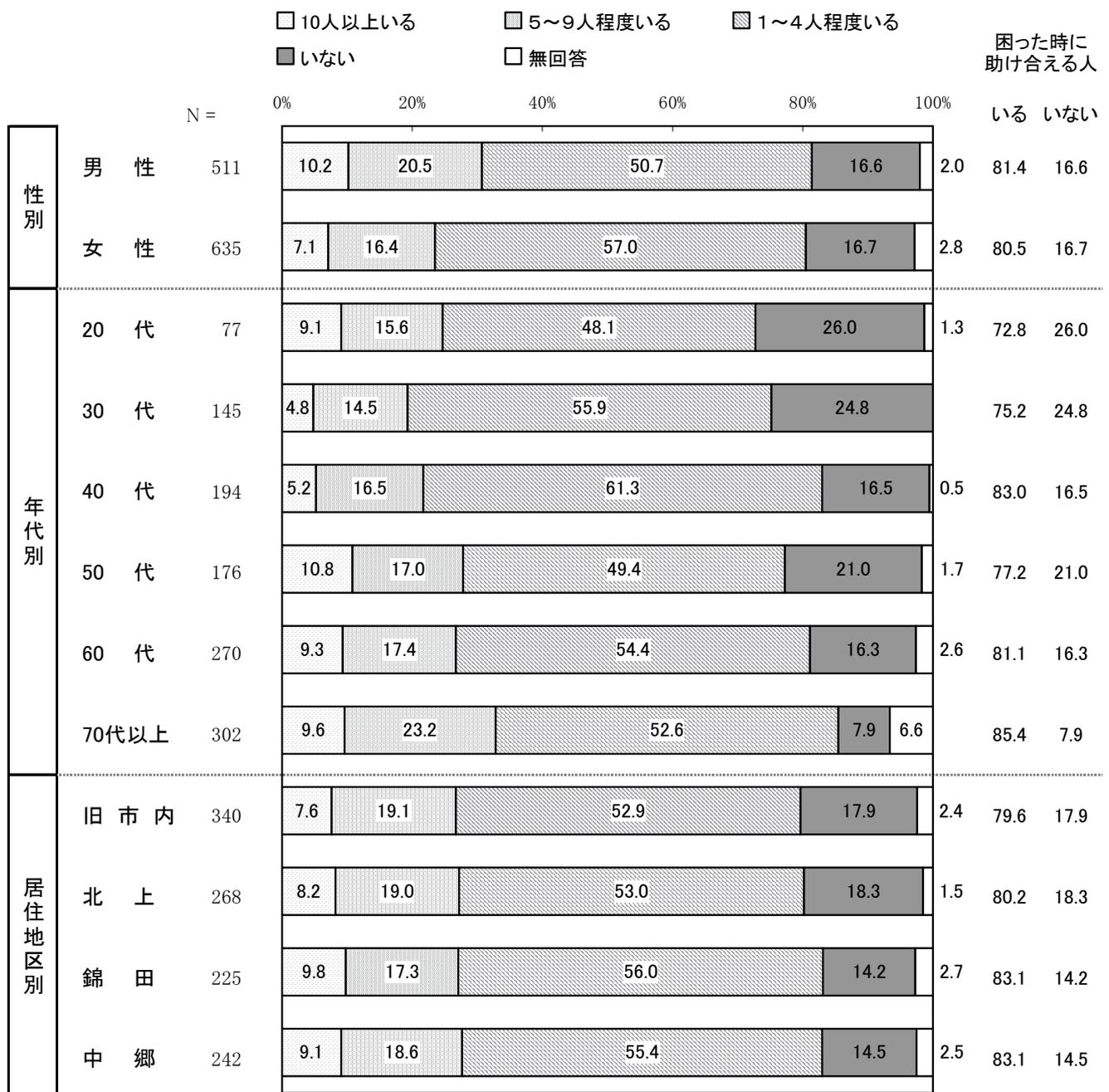


【属性別比較】

性別でみると、困った時に助け合える人が“いる”（男性 81.4%、女性 80.5%）で、男性・女性とも約8割となっています。「1～4人程度いる」は、女性（57.0%）が、男性（50.7%）より高くなっています。

年代別でみると、困った時に助け合える人が“いる”は、70代以上（85.4%）が最も高くなっています。一方、困った時に助け合える人が“いない”は、20代（26.0%）が高くなっています。また、「1～4人程度いる」は、40代（61.3%）で約6割と高くなっています。

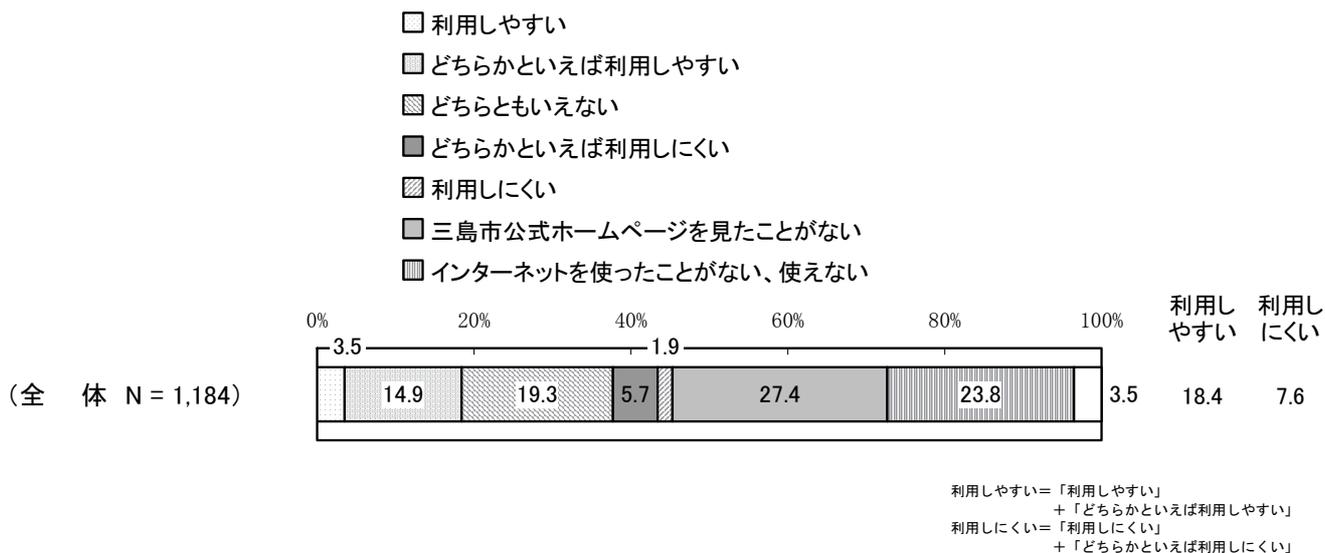
居住地区別でみると、困った時に助け合える人が“いる”は、錦田（83.1%）、中郷（83.1%）が最も高く、次いで北上（80.2%）となっています。



問 8 三島市公式ホームページは利用しやすいですか。(○は一つ)

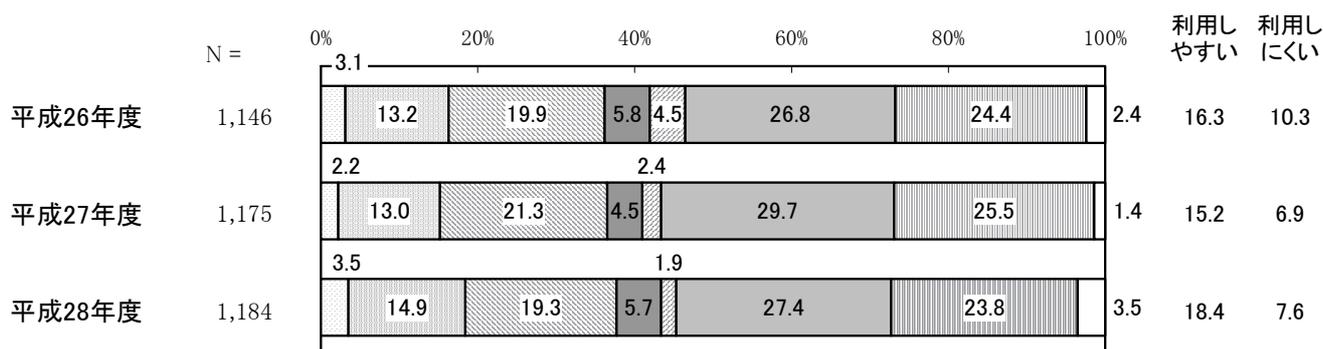
—三島市の公式ホームページの“利用者”は45.3%、“利用しやすい”は18.4%—

「三島市公式ホームページを見たことがない」の割合が27.4%と最も高く、次いで「インターネットを使ったことがない、使えない」の割合が23.8%、「どちらともいえない」の割合が19.3%となっています。「利用しやすい」(3.5%)、「どちらかといえば利用しやすい」(14.9%)を合わせた“利用しやすい”は18.4%となっています。「どちらかといえば利用しにくい」(5.7%)、「利用しにくい」(1.9%)と合わせた“利用しにくい”は7.6%となっています。これらを合わせた“利用者”は45.3%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、“利用しやすい”(18.4%)はやや上昇しています。

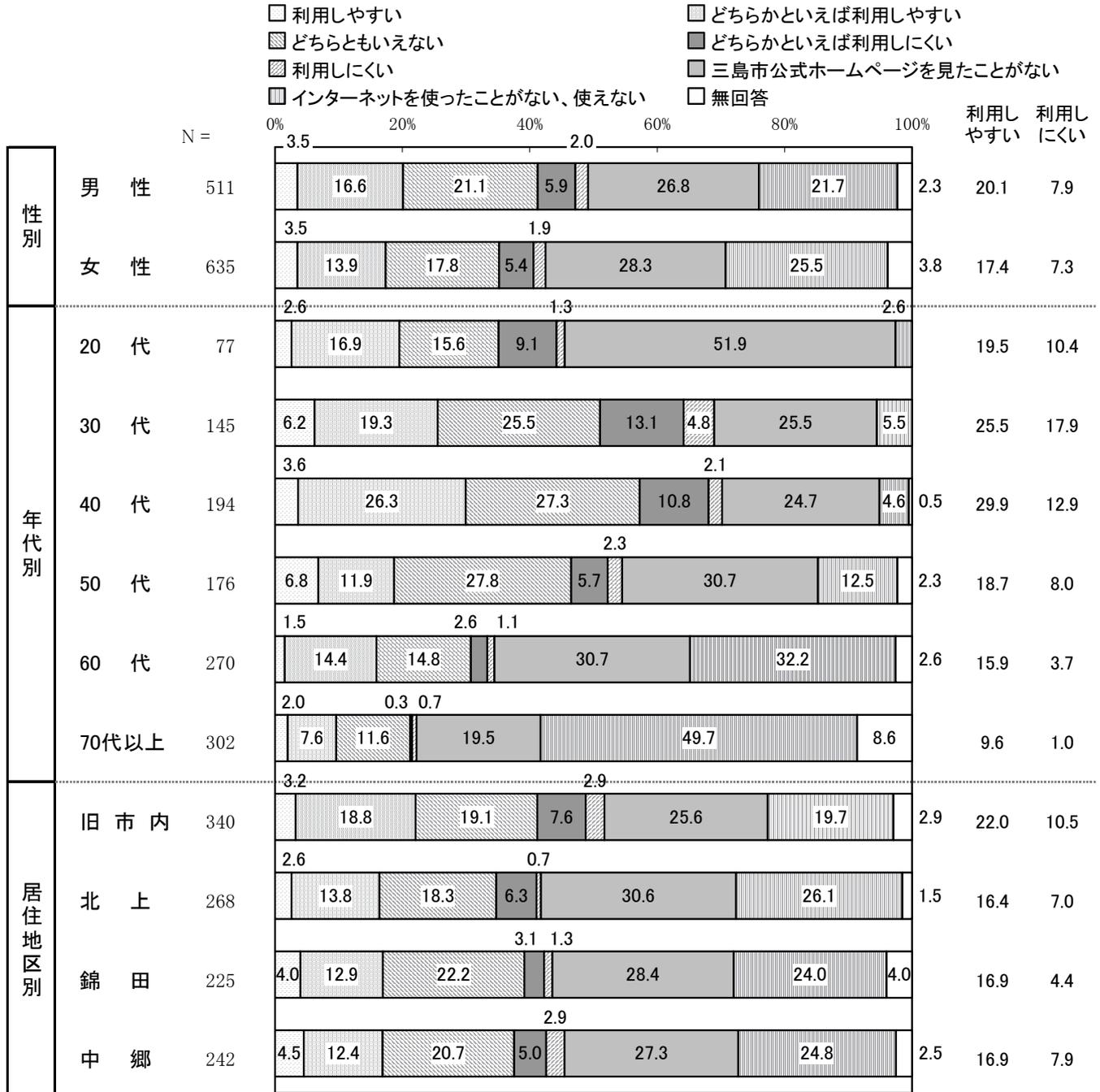


【属性別比較】

性別でみると、“利用しやすい”（男性 20.1%、女性 17.4%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約2割となっています。

年代別でみると、“利用しやすい”は、40代（29.9%）で最も高く、次いで30代（25.5%）となっています。一方、70代以上（9.6%）では1割未満となっています。「三島市公式ホームページを見たことがない」は、20代（51.9%）で約5割となっています。また、「インターネットを使ったことがない、使えない」は、年代が上がるにつれて高くなる傾向にあり、70代以上（49.7%）では約5割となっています。

居住地区別でみると、“利用しやすい”は、旧市内（22.0%）で高くなっています。

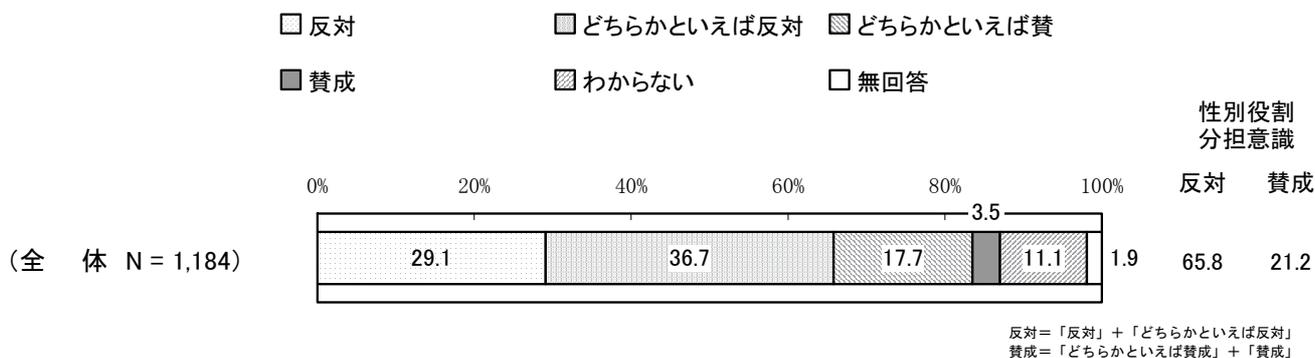


利用しやすい=「利用しやすい」
+「どちらかといえば利用しやすい」
利用しにくい=「利用しにくい」
+「どちらかといえば利用しにくい」

問9 「男性は仕事、女性は家庭」というような男女の役割を固定的に考えることについてどう思いますか。(〇は一つ)

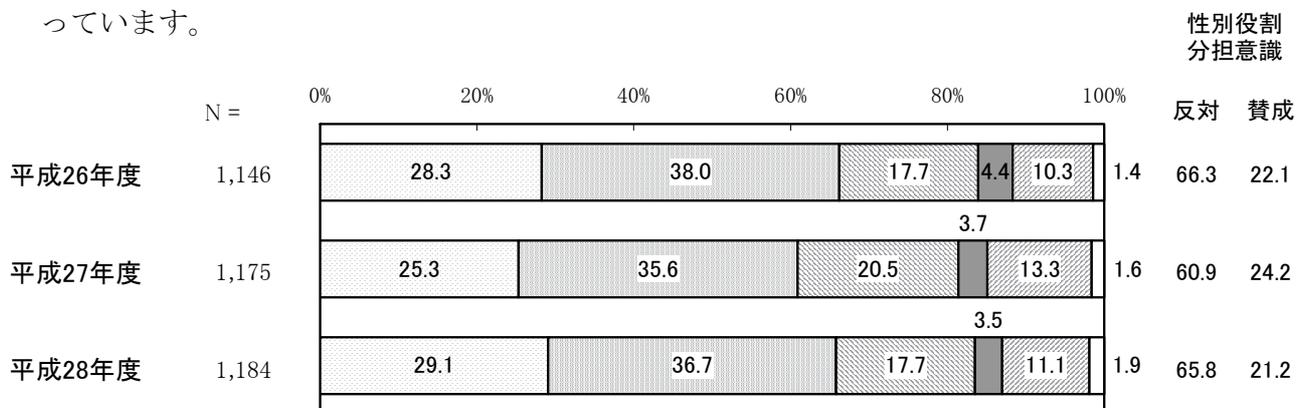
—性別役割分担意識に、反対は65.8%—

「反対」(29.1%)と「どちらかといえば反対」(36.7%)を合わせた“反対”は65.8%、「どちらかといえば賛成」(17.7%)と「賛成」(3.5%)を合わせた“賛成”は21.2%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、“反対”が上昇しており、6割台半ばとなっています。

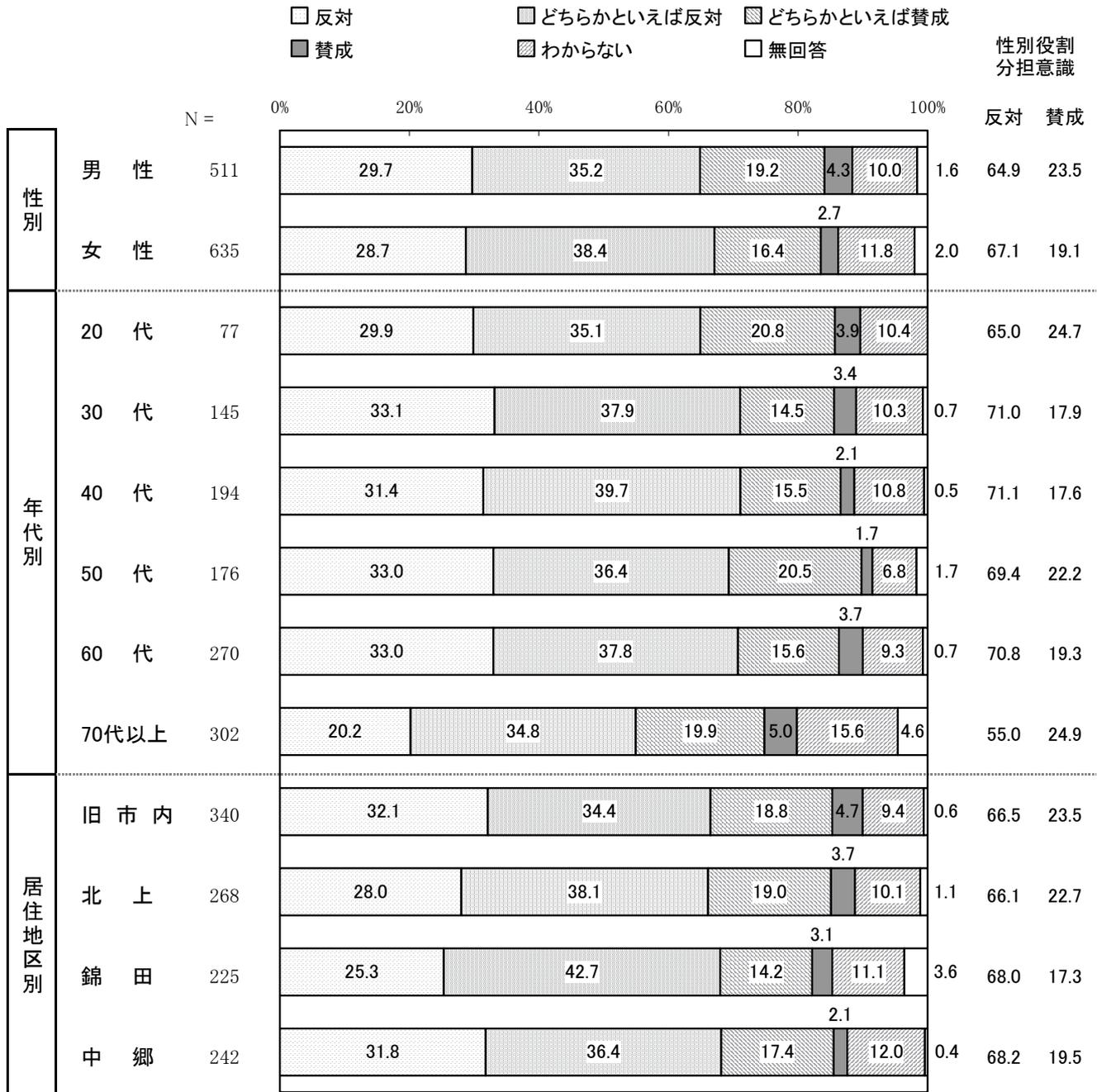


【属性別比較】

性別でみると、“反対”（男性 64.9%、女性 67.1%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも6割を超えています。

年代別でみると、“反対”は40代（71.1%）、30代（71.0%）、60代（70.8%）で約7割と高くなっています。一方、70代以上（55.0%）では6割未満と低くなっています。

居住地区別でみると、“反対”は、居住地区による大きな差はみられず、いずれの居住地区でも約7割となっています。



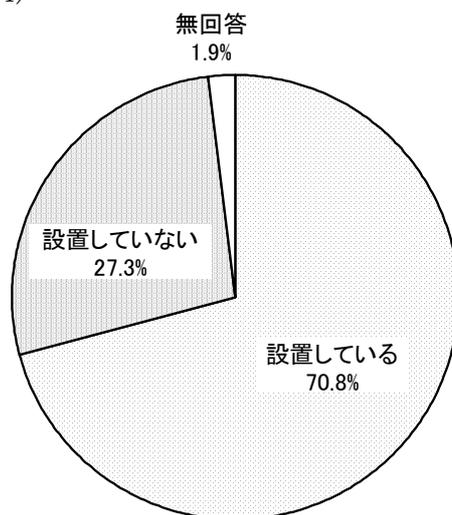
反対 = 「反対」 + 「どちらかといえば反対」
 賛成 = 「どちらかといえば賛成」 + 「賛成」

問 10 住宅用火災警報器を設置していますか。(〇は一つ)

—住宅用火災警報器を「設置している」のは70.8%—

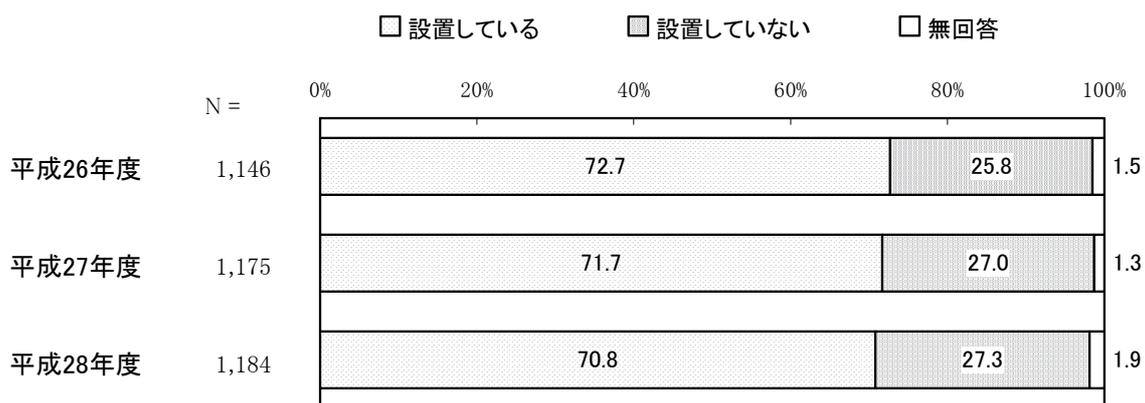
「設置している」の割合が70.8%、「設置していない」の割合が27.3%となっています。

(N = 1,184)



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

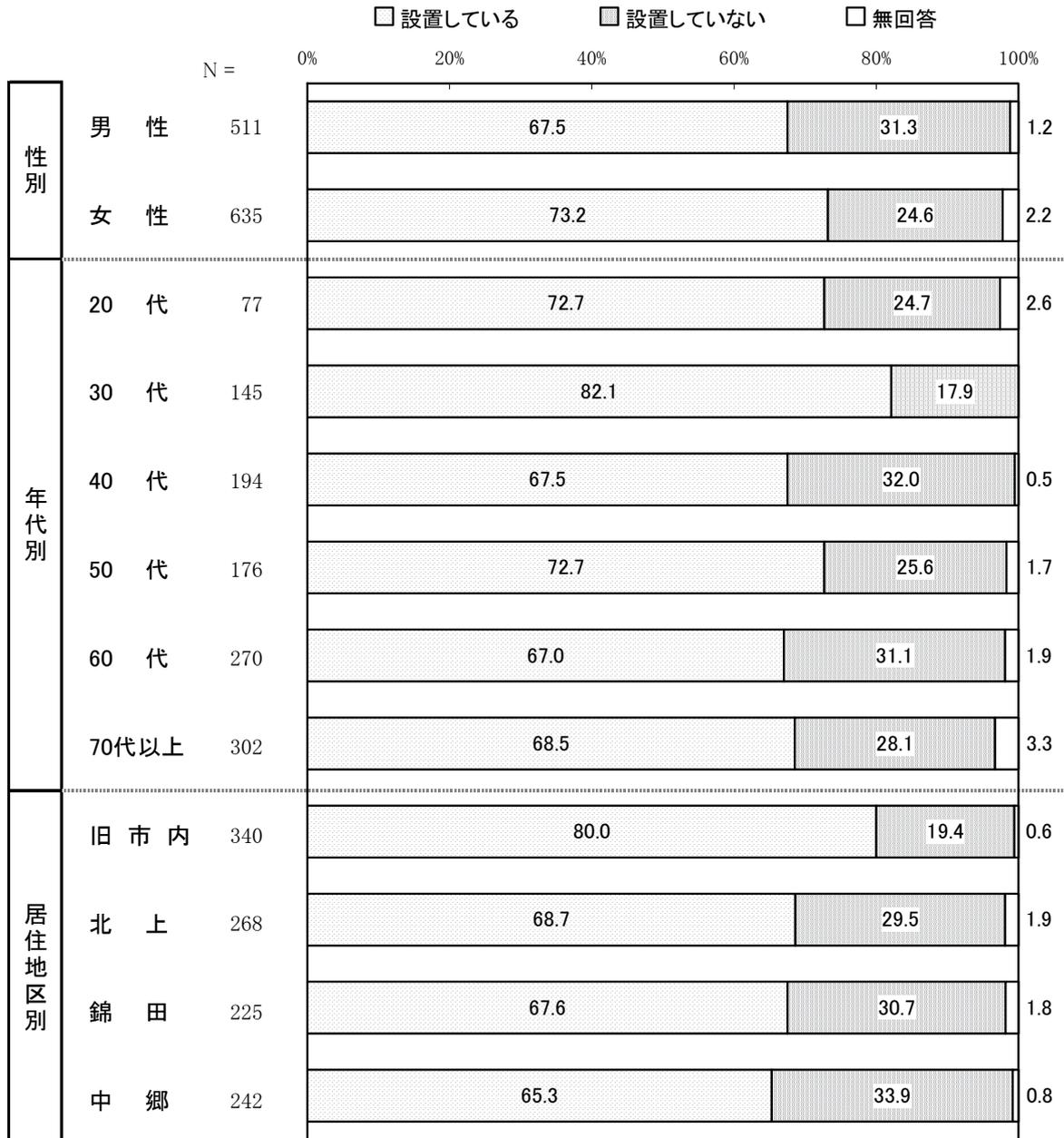


【属性別比較】

性別でみると、「設置している」は、女性（73.2%）が、男性（67.5%）よりも高くなっています。

年代別でみると、「設置している」は、30代（82.1%）が高くなっています。

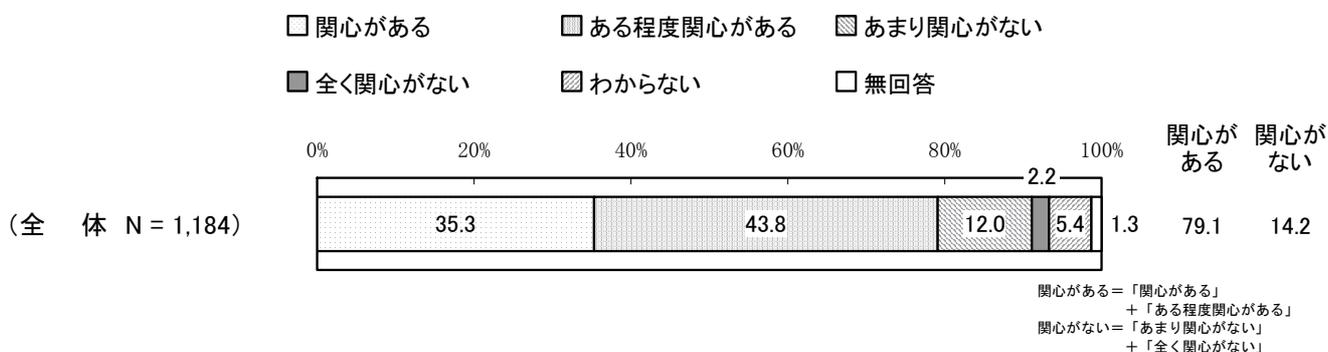
居住地区別でみると、「設置している」は、旧市内（80.0%）で最も高くなっています。一方、「設置していない」は、中郷（33.9%）で高くなっています。



問 1 1 食育に関心がありますか。(〇は一つ)

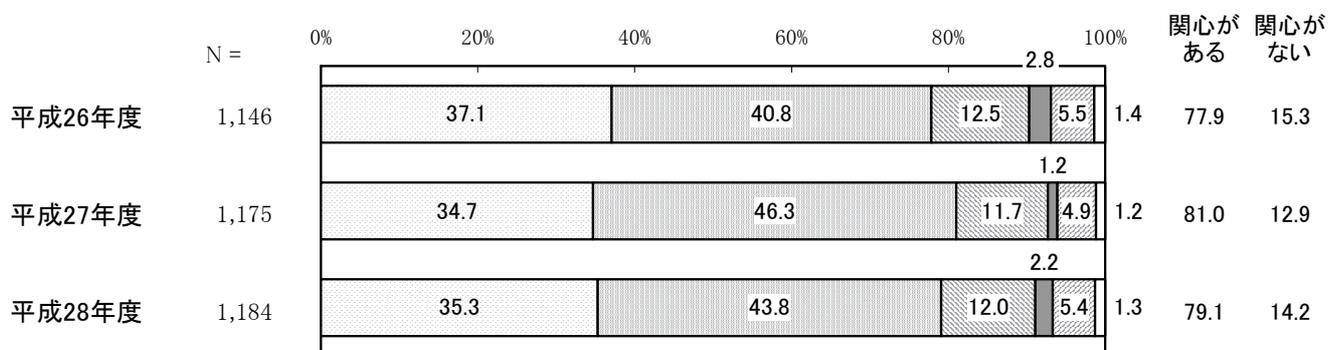
—食育に“関心がある”のは79.1%—

「関心がある」(35.3%)と「ある程度関心がある」(43.8%)を合わせた“関心がある”は79.1%となっています。一方「あまり関心がない」(12.0%)と「全く関心がない」(2.2%)を合わせた“関心がない”は14.2%となっています。



【時系列比較】

平成 26 年度調査、平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“関心がある” (79.1%) の割合が約 8 割を占めています。

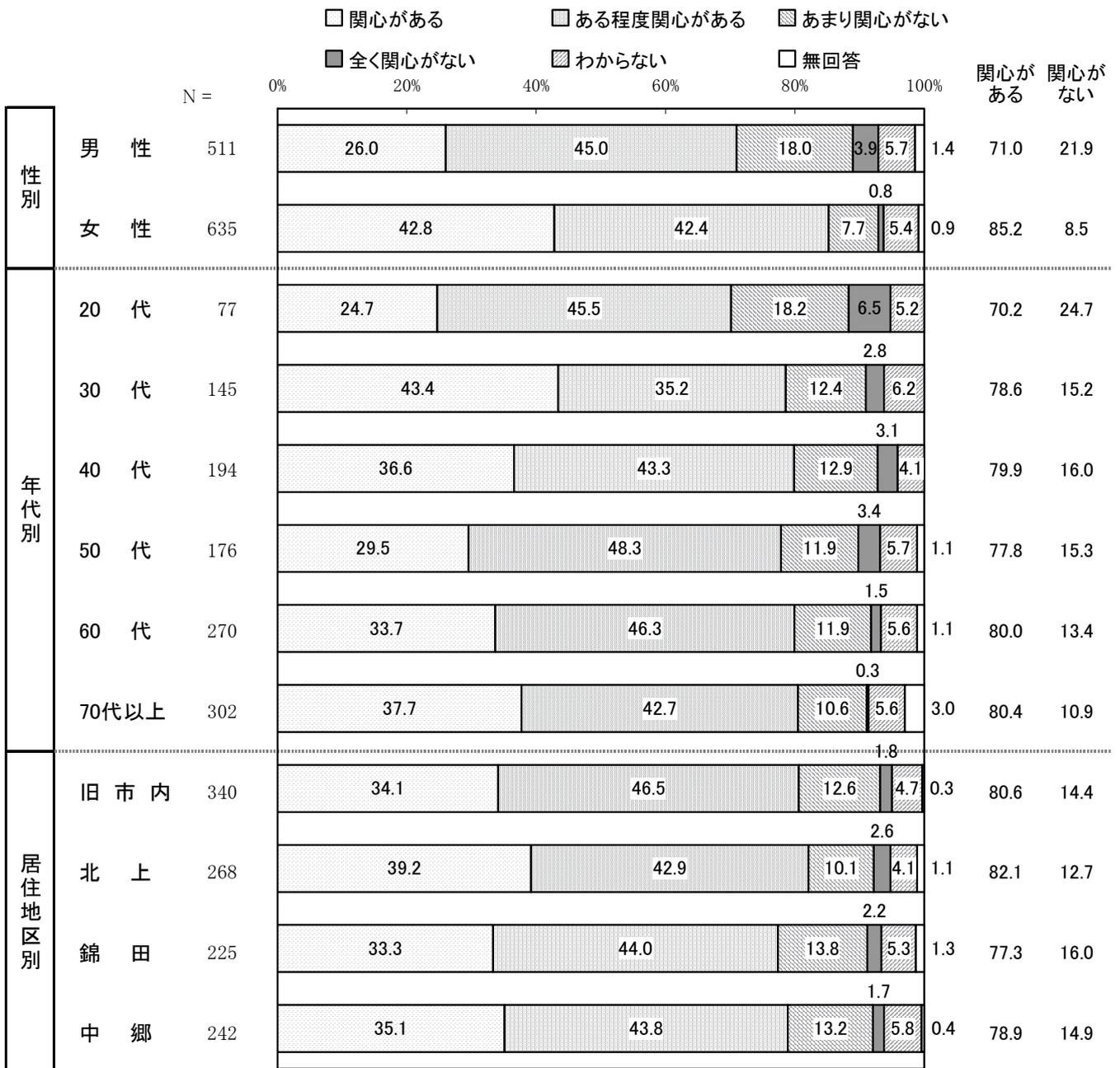


【属性別比較】

性別でみると、食育に“関心がある”は、女性（85.2%）が、男性（71.0%）より高くなっています。「関心がある」でも同様の傾向を示し、女性（42.8%）が、男性（26.0%）より高くなっています。

年代別でみると、食育に“関心がある”は、30代以上では約8割と高くなっている一方、20代（70.2%）は約7割にとどまっています。また、「関心がある」は、30代（43.4%）で約4割と高くなっています。

居住地区別でみると、食育に“関心がある”は、北上（82.1%）が最も高くなっています。

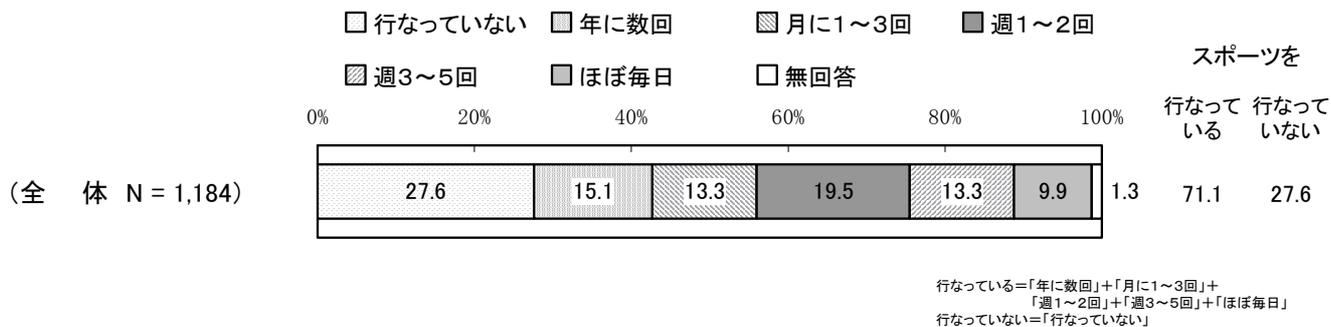


関心がある = 「関心がある」 + 「ある程度関心がある」
 関心がない = 「あまり関心がない」 + 「全く関心がない」

問12 あなたは、この1年に運動・スポーツを平均してどのくらい行いましたか。
 (運動には、ジョギングやウォーキングも含まれます。)(〇は一つ)

—スポーツを“行なっている”人は71.1%—

「年に数回」(15.1%)、「月に1～3回」(13.3%)、「週1～2回」(19.5%)、「週3～5回」(13.3%)、「ほぼ毎日」(9.9%)をあわせた“スポーツを行っている”は71.1%、「行なっていない」の割合が27.6%となっています。

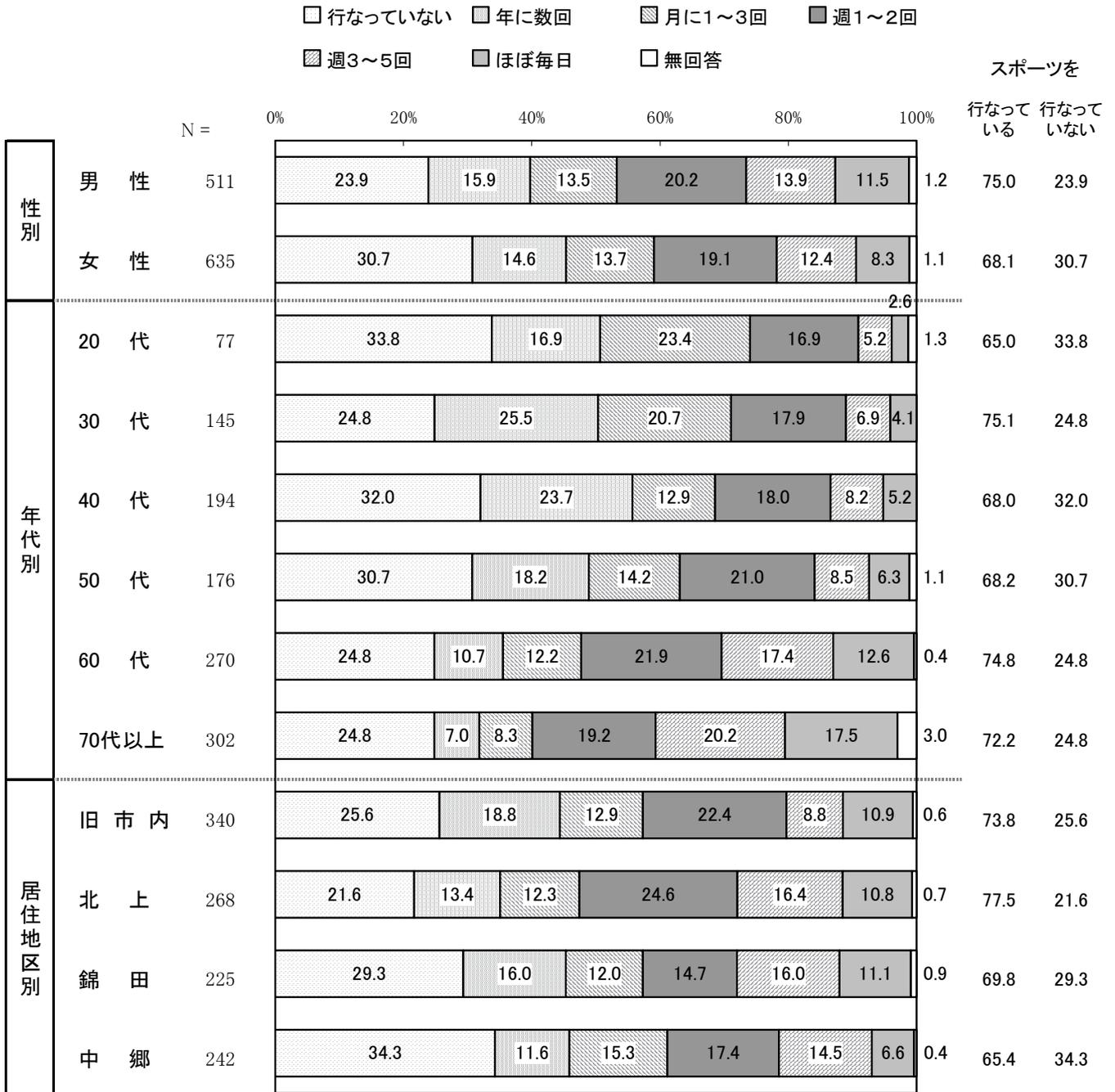


【属性別比較】

性別でみると、スポーツを“行なっている”は、男性（75.0%）が女性（68.1%）より高くなっています。

年代別でみると、スポーツを“行なっている”は30代（75.1%）が最も高く、次いで60代（74.8%）、70代以上（72.2%）となっており、7割を超えています。一方、「行なっていない」は20代（33.8%）、40代（32.0%）、50代（30.7%）が高く、約3割となっています。

居住地区別でみると、スポーツを“行なっている”は北上（77.5%）が最も高くなっています。一方、スポーツを“行なっていない”は中郷（34.3%）が最も高くなっています。

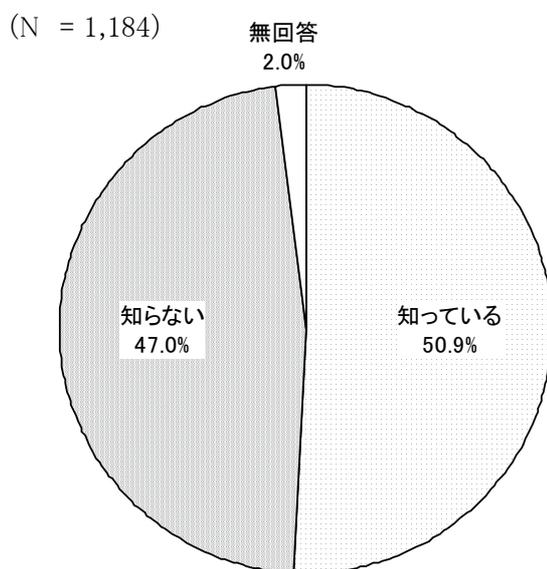


行なっている＝「年に数回」＋「月に1~3回」＋「週1~2回」＋「週3~5回」＋「ほぼ毎日」
 行なっていない＝「行なっていない」

問 1 3 三島市役所に消費生活相談窓口があることを知っていますか。(〇は一つ)

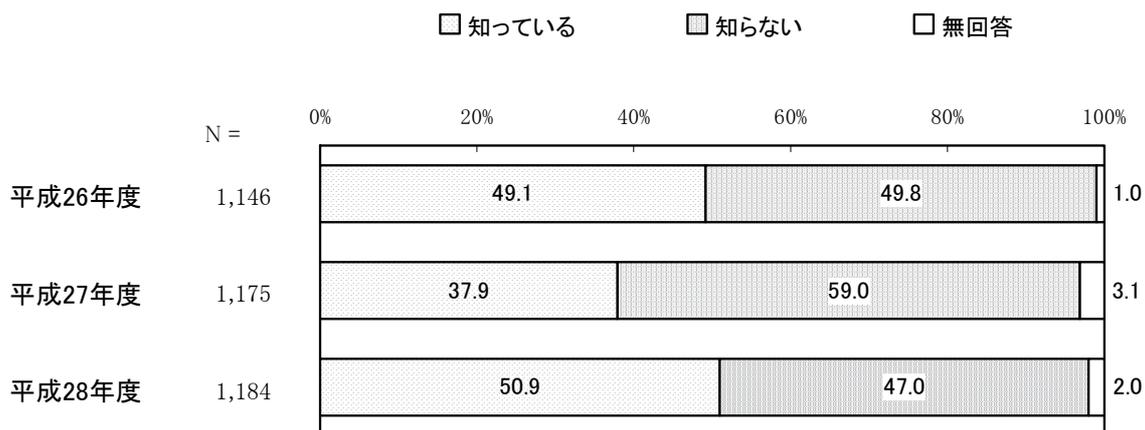
—消費生活相談窓口を「知っている」人は 50.9%—

「知っている」の割合が 50.9%、「知らない」の割合が 47.0%となっています。



【時系列比較】

平成 26 年度調査、平成 27 年度調査と比較すると、消費生活相談窓口の認知度は高くなっており、約 5 割となっています。

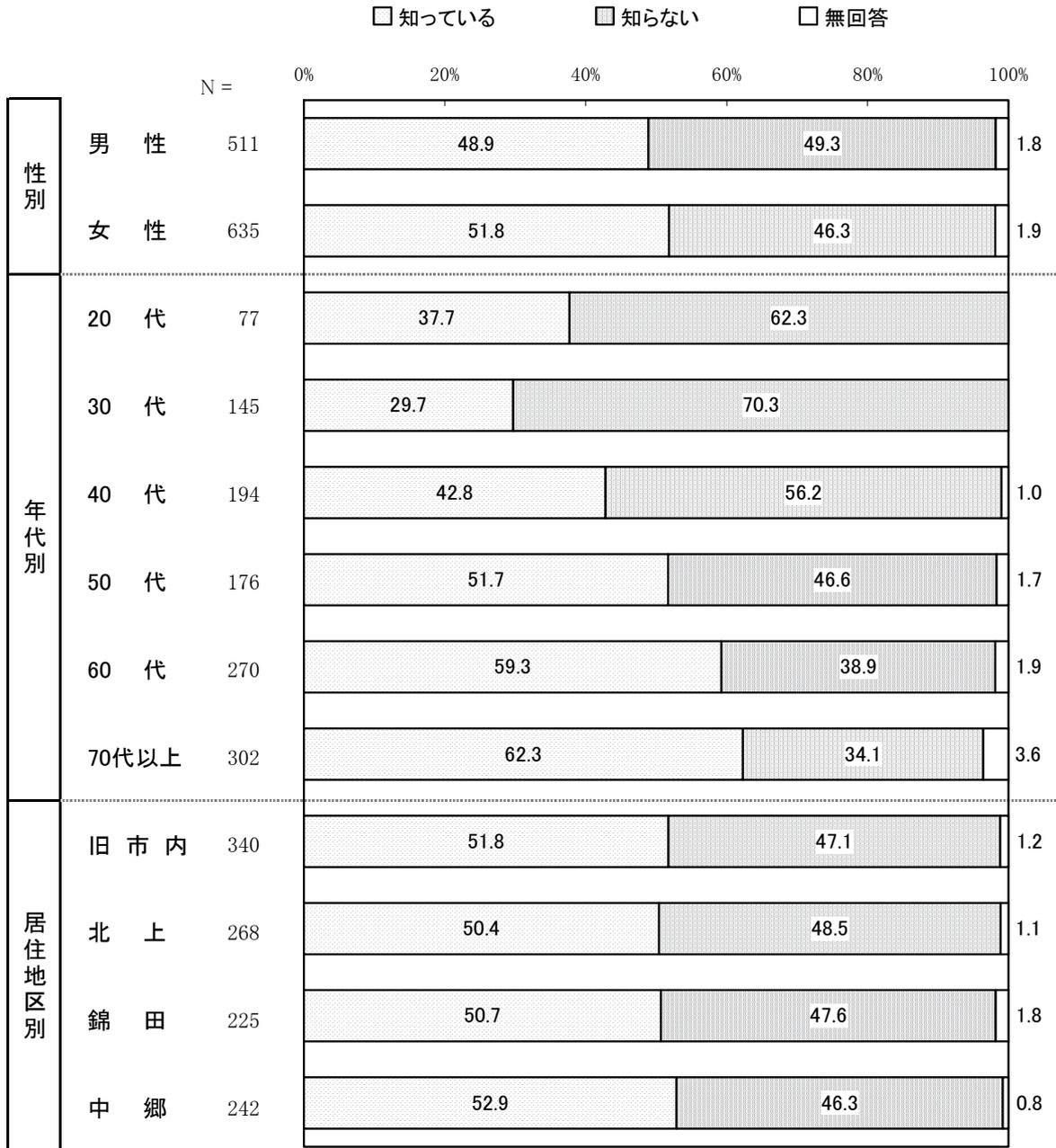


【属性別比較】

性別でみると、「知っている」（男性 48.9%、女性 51.8%）は、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも約5割となっています。

年代別でみると、「知っている」は、70代以上（62.3%）で最も高く、次いで60代（59.3%）となっており、約6割を超えています。一方、30代（29.7%）は、約3割にとどまっています。

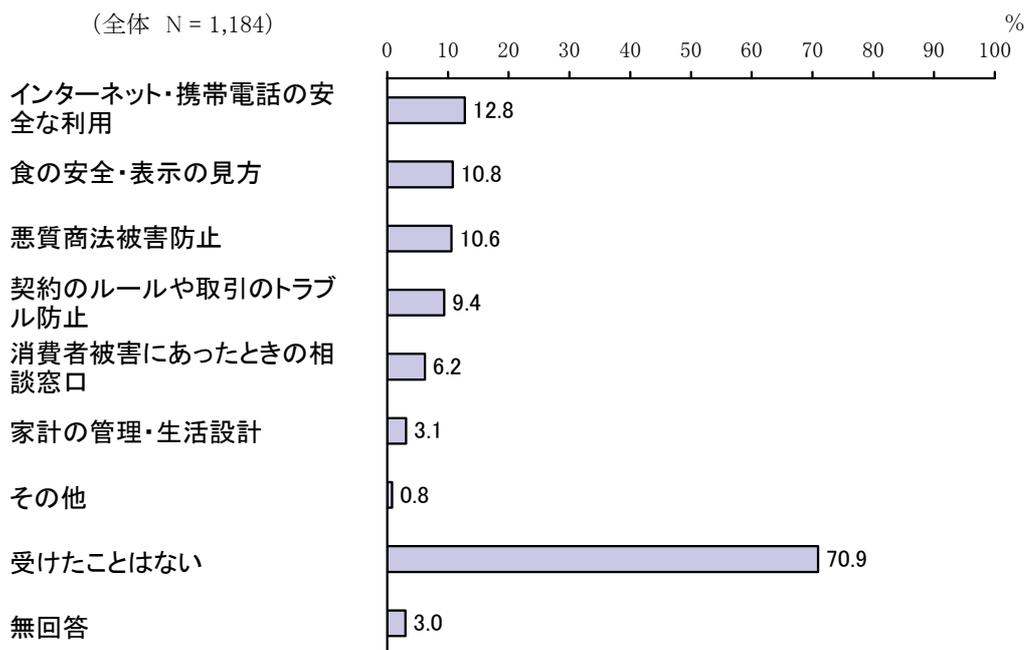
居住地区別でみると、「知っている」は、居住地区による大きな差はみられず、いずれの居住地区でも約5割となっています。



問14 学校の授業や地域や職場などにおいて、次のような消費者教育を受けたことがありますか。(〇はいくつでも)

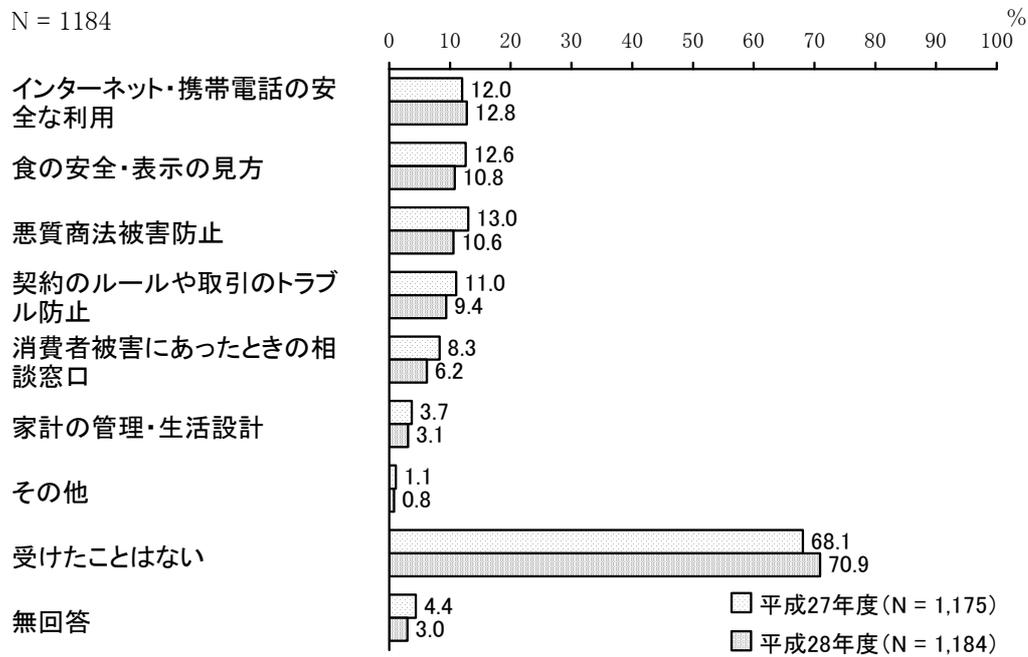
—消費者教育を“受けたことがある”人は26.1%—

「受けたことはない」の割合が70.9%であり、“受けたことがある”なかでは、「インターネット・携帯電話の安全な利用」の割合が最も高く、12.8%、次いで「食の安全・表示の見方」の割合が10.8%となっています。「受けたことはない」(70.9%)と「無回答」(3.0%)を除く消費者教育を“受けたことがある”人は26.1%となっています。



【時系列比較】

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、「受けたことはない」人が約7割となっています。



【属性別比較】

“受けたことがある”内容では、「インターネット・携帯電話の安全な利用」が男性（13.7%）、女性（12.4%）で最も多くなっています。

年代別でみると、“受けたことがある”のは、20代が49.3%で最も高くなっています。また、「インターネット・携帯電話の安全な利用」は20代が32.5%で高く、約3割となっています。

居住地区別でみると、いずれの居住地区でも「受けたことはない」が最も高く、特に中郷（75.2%）で7割台半ばとなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	受けたことがある	契約のルールや取引のト ラブル防止	悪質商法被害防止	消費者被害にあったとき の相談窓口	食の安全・表示の見方	インターネット・携帯電話 の安全な利用	家計の管理・生活設計	その他	受けたことはない	無回答
性別	男性	511	26.4	13.3	11.9	6.5	9.6	13.7	3.1	0.6	70.1	3.5
	女性	635	26.0	6.0	9.9	5.8	11.8	12.4	3.3	0.8	72.0	2.0
年齢別	20代	77	49.3	18.2	23.4	15.6	24.7	32.5	6.5	3.9	49.4	1.3
	30代	145	35.8	15.2	15.2	8.3	18.6	20.0	4.8	—	62.1	2.1
	40代	194	35.6	10.3	5.7	4.1	10.8	25.8	2.6	—	62.9	1.5
	50代	176	24.4	9.7	10.2	4.5	7.4	13.1	4.0	0.6	73.9	1.7
	60代	270	19.3	6.7	8.1	5.2	8.9	6.7	1.1	0.7	80.0	0.7
	70代以上	302	17.2	6.0	10.9	6.0	7.3	2.0	3.3	0.7	75.8	7.0
居住地区別	旧市内	340	27.6	10.9	10.6	4.7	11.5	15.3	3.5	0.6	70.0	2.4
	北上	268	30.6	10.1	12.3	9.3	13.4	13.8	3.0	1.1	69.0	0.4
	錦田	225	24.4	8.4	10.2	5.3	6.7	13.3	1.8	0.9	71.6	4.0
	中郷	242	22.3	9.1	9.5	5.8	11.6	9.9	3.7	0.4	75.2	2.5

1位

2位

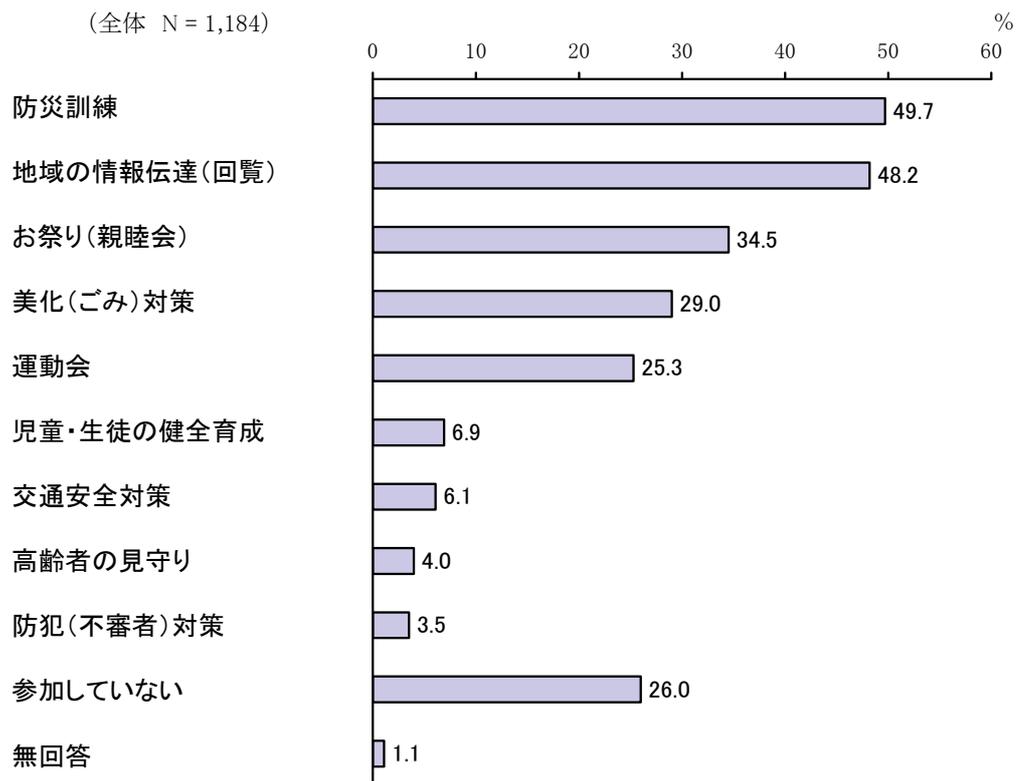
3位

5 『自治会・町内会』について

問15 あなたは自治会・町内会のどのような活動に参加されていますか。
(〇はいくつでも)

—自治会・町内会の活動に“参加している”のは72.9%—

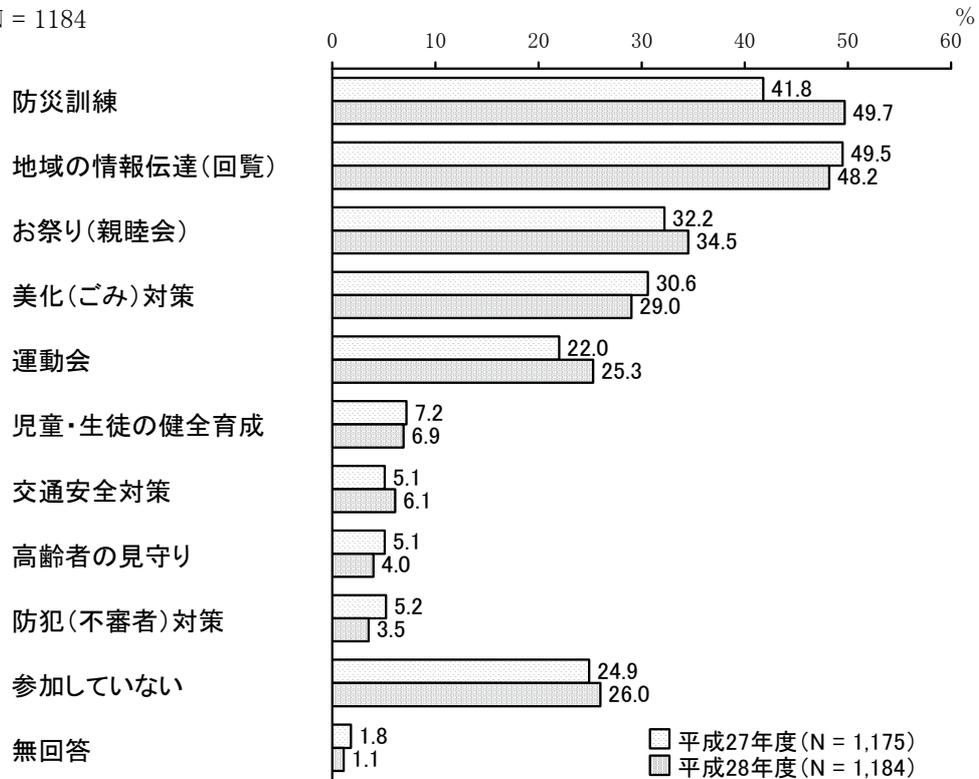
「防災訓練」の割合が49.7%と最も高く、次いで「地域の情報伝達(回覧)」の割合が48.2%、「お祭り(親睦会)」の割合が34.5%となっています。また、「参加していない」(26.0%)と無回答(1.1%)を除いた自治会・町内会の活動に“参加している”は72.9%となっています。



【時系列比較】

平成 27 年度調査と比較すると、「防災訓練」(49.7%)が増加しており、約5割となっています。

N = 1184



【属性別比較】

性別でみると、男性では「防災訓練」(52.1%)、女性では「地域の情報伝達(回覧)」(52.4%)が最も高くなっています。また、男性では「地域の情報伝達(回覧)」(43.6%)が2位であるのに対し、女性は「防災訓練」(47.4%)が2位となっています。

年代別でみると、「参加していない」は20代(50.6%)で最も高く、年齢が低くなるにつれ割合が高くなる傾向がみられます。また、「防災訓練」は60代(57.8%)、70代以上(59.9%)で高く、約6割となっています。

居住地区別でみると、北上地区を除く地区で「防災訓練」が最も高くなっています。また、「美化(ごみ)対策」は、北上(36.9%)が高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数(件)	防災訓練	高齢者の見守り	防犯(不審者)対策	児童・生徒の健全育成	お祭り(親睦会)	運動会	美化(ごみ)対策	交通安全対策	地域の情報伝達(回覧)	参加していない	無回答
性別	男性	511	52.1	4.3	4.7	6.7	38.9	27.6	31.7	8.2	43.6	27.2	1.0
	女性	635	47.4	3.6	2.4	7.6	31.5	24.1	26.5	4.6	52.4	25.0	1.1
年齢別	20代	77	22.1	1.3	—	—	24.7	14.3	14.3	1.3	22.1	50.6	—
	30代	145	26.2	1.4	2.1	7.6	27.6	24.1	25.5	1.4	42.1	39.3	0.7
	40代	194	49.0	3.1	1.5	18.6	41.8	34.0	28.4	7.2	54.6	23.2	—
	50代	176	51.7	4.0	5.1	5.7	33.0	25.6	33.5	5.1	50.6	25.6	1.1
	60代	270	57.8	4.1	2.6	4.1	38.5	24.8	28.9	5.2	56.7	20.0	0.7
	70代以上	302	59.9	5.6	6.0	4.3	32.8	23.8	31.5	10.3	45.4	20.5	2.3
居住地区別	旧市内	340	46.2	5.0	5.6	6.8	30.3	19.1	26.8	4.4	45.3	31.5	0.3
	北上	268	48.9	2.6	2.6	6.3	34.3	22.0	36.9	6.7	53.0	21.3	—
	錦田	225	53.8	4.9	3.1	8.9	34.2	20.9	25.8	5.8	48.4	25.8	1.8
	中郷	242	54.1	3.3	2.1	8.3	43.4	44.6	27.7	9.5	51.2	22.3	0.8

1位

2位

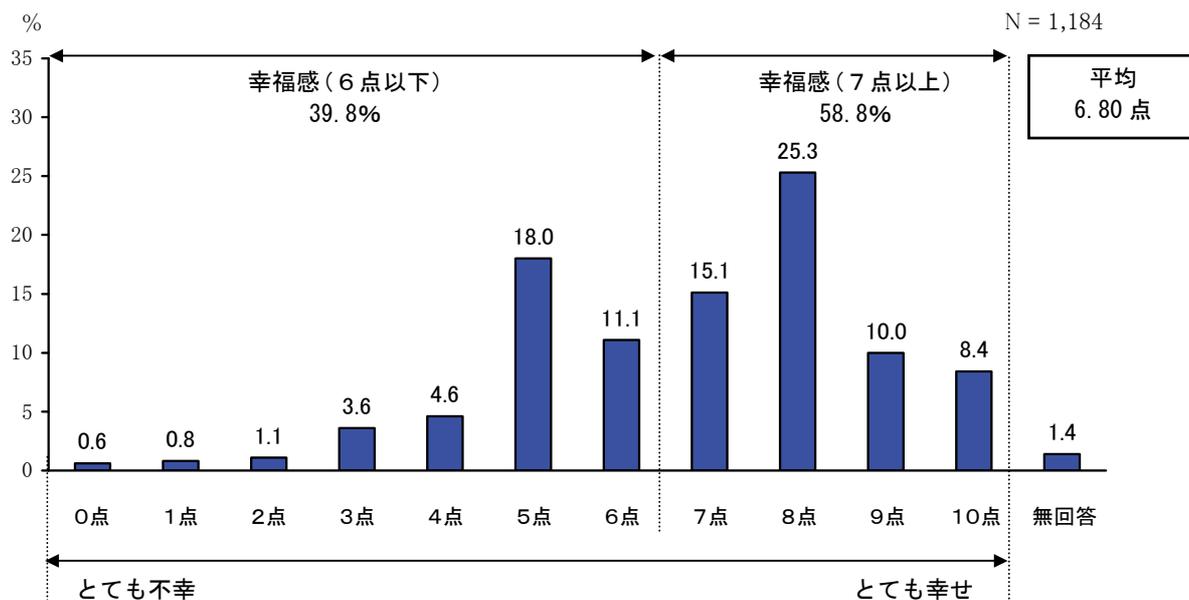
3位

6 『幸福感』について

問16 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。

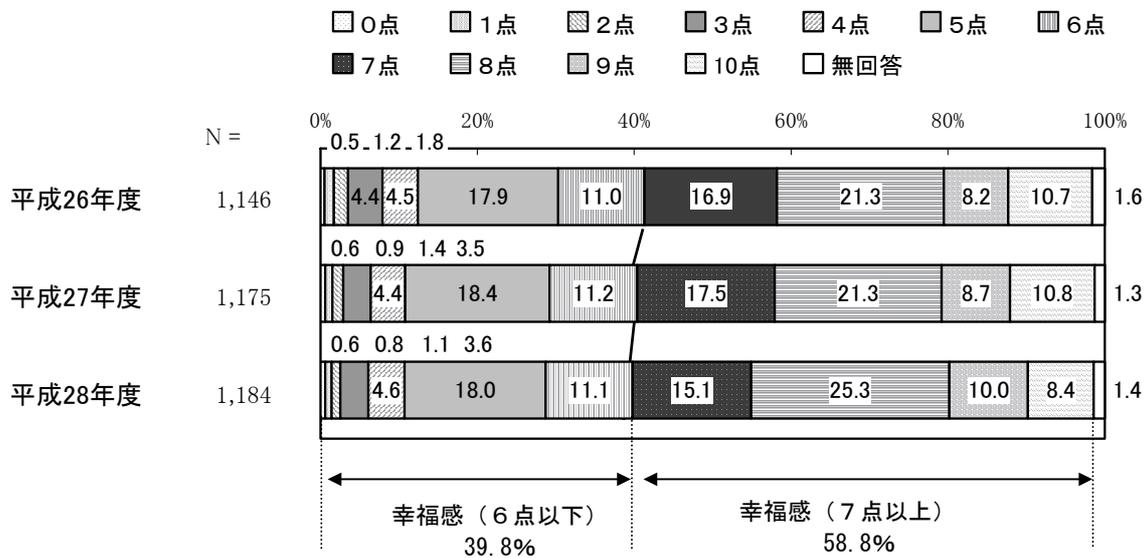
—現在の幸福感の平均は6.80点、平均以上は58.8%—

「8点」の割合が25.3%と最も高く、次いで「5点」の割合が18.0%、「7点」の割合が15.1%となっています。平均は6.80点で、平均以上の“幸福感（7点以上）”（58.8%）は約6割となっています。



【時系列比較】

平成 26 年度調査、平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



単位：%

区分	有効回答数(件)	幸福感		無回答	平均(点)
		6点以下	7点以上		
平成 26 年度	1,146	41.3	57.1	1.6	6.72
平成 27 年度	1,175	40.4	58.3	1.3	6.79
平成 28 年度	1,184	39.8	58.8	1.4	6.80

【属性別比較】

性別でみると、“幸福感（7点以上）”は、女性（63.3%）が、男性（54.4%）より高くなっています。

年代別でみると、“幸福感（7点以上）”は、40代（60.8%）で最も高くなっています。一方、20代（52.0%）で低くなっています。

居住地区別でみると、“幸福感（7点以上）”は、北上（63.8%）で最も高く、中郷（54.6%）で低くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
性別	男性	511	0.6	1.4	1.8	5.3	6.1	18.8	10.4	16.4	24.5	8.4	5.1	1.4
	女性	635	0.6	0.3	0.6	2.2	3.6	17.0	11.0	14.3	26.6	11.5	10.9	1.3
年齢別	20代	77	—	1.3	—	3.9	7.8	22.1	13.0	26.0	18.2	3.9	3.9	—
	30代	145	—	—	2.8	3.4	6.2	22.1	9.7	15.2	24.1	7.6	8.3	0.7
	40代	194	1.0	1.0	1.5	3.6	4.1	12.4	14.4	14.9	22.7	13.4	9.8	1.0
	50代	176	1.1	0.6	1.1	6.8	5.7	13.6	13.1	18.2	26.1	6.8	5.7	1.1
	60代	270	0.7	1.9	0.7	3.0	5.9	17.8	11.1	13.3	24.1	10.0	9.6	1.9
	70代以上	302	0.3	—	0.7	2.3	2.0	20.5	7.6	11.9	31.5	12.9	8.3	2.0
居住地区別	旧市内	340	0.6	0.6	1.5	2.9	3.8	16.8	12.1	16.2	26.5	11.8	7.1	0.3
	北上	268	0.7	0.4	1.1	4.1	4.9	16.0	9.0	13.8	25.0	13.4	11.6	—
	錦田	225	0.9	0.4	1.3	2.2	4.4	20.4	11.6	12.9	28.4	9.3	5.3	2.7
	中郷	242	0.4	0.8	0.8	4.1	5.4	21.1	12.0	16.5	23.6	5.8	8.7	0.8

1位

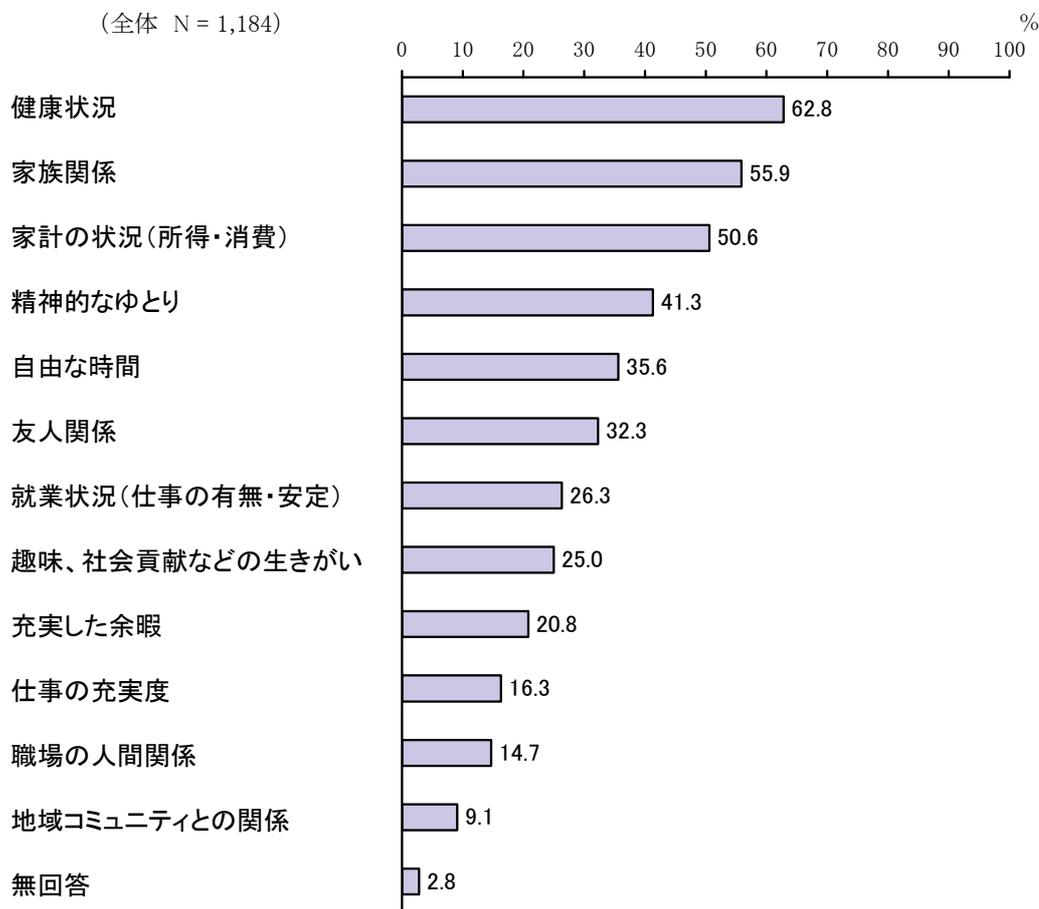
2位

3位

問 1 7 問 1 6 で、幸福感を判断する際に重視した事項は何ですか。(〇はいくつでも)

— 幸福感を判断する際に重視するのは「健康状況」「家族関係」 —

「健康状況」の割合が 62.8%と最も高く、次いで「家族関係」の割合が 55.9%、「家計の状況(所得・消費)」の割合が 50.6%となっています。



【時系列比較】

平成 26 年度調査、平成 27 年度調査と比較すると、「健康状況」「家族関係」「家計の状況(所得・消費)」「精神的なゆとり」「自由な時間」の順位に変化はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	家計の状況(所得・消費)	就業状況(仕事の有無・安定)	健康状況	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり	趣味、社会貢献などの生きがい	家族関係	友人関係	職場の人間関係	地域コミュニティとの関係	無回答
平成 26 年度	1,146	50.7	27.0	60.7	29.7	21.8	15.3	44.2	21.1	58.6	28.1	10.5	7.7	1.7
平成 27 年度	1,175	50.1	21.4	61.0	34.6	20.0	16.5	37.1	23.2	54.0	29.7	11.8	9.5	1.8
平成 28 年度	1,184	50.6	26.3	62.8	35.6	20.8	16.3	41.3	25.0	55.9	32.3	14.7	9.1	2.8

1 位

2 位

3 位

【属性別比較】

性別でみると、「健康状況」（男性 60.9%、女性 63.9%）が最も高くなっています。また、男性・女性とも「家族関係」（男性 51.3%、女性 60.0%）が2位、「家計の状況（所得・消費）」（男性 49.3%、女性 52.3%）が第3位となっています。

年代別でみると、「健康状況」は、40代以上で6割を超え、高くなっています。また、20代は「精神的なゆとり」（51.9%）を重視しています。

居住地区別でみると、すべての居住地区で「健康状況」が最も高くなっています。また、「家計の状況（所得・消費）」は、中郷（57.9%）で高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	家計の状況 (所得・消費)	就業状況 (仕事の有無・安定)	健康状況	自由な時間	充実した余暇	仕事の充実度	精神的なゆとり	趣味、社会貢献などの 生きがい	家族関係	友人関係	職場の人間関係	地域コミュニティとの 関係	無回答
性別	男性	511	49.3	28.4	60.9	34.4	20.5	18.2	33.9	25.6	51.3	27.2	15.1	10.4	2.5
	女性	635	52.3	24.4	63.9	37.0	21.7	15.0	47.7	24.9	60.0	36.9	14.8	8.0	2.7
年齢別	20代	77	48.1	33.8	41.6	39.0	42.9	28.6	51.9	27.3	48.1	40.3	35.1	7.8	—
	30代	145	53.1	37.2	55.2	31.0	17.9	20.7	42.8	24.1	59.3	31.0	17.2	4.8	1.4
	40代	194	57.2	42.8	64.4	27.3	15.5	21.6	42.3	22.2	63.9	31.4	26.3	6.7	1.0
	50代	176	62.5	40.3	63.6	25.6	19.3	22.2	43.2	23.3	55.1	22.7	20.5	9.1	2.3
	60代	270	51.5	19.6	66.7	38.1	17.0	13.7	39.6	25.6	53.0	30.0	11.1	8.9	2.6
	70代以上	302	39.1	5.6	67.5	46.0	23.8	7.3	38.4	27.8	53.6	39.1	1.7	12.9	5.3
居住地区別	旧市内	340	50.0	29.7	62.1	34.4	19.7	17.1	42.4	24.7	55.0	31.2	15.6	9.1	1.8
	北上	268	49.3	21.6	61.6	37.3	22.0	12.7	42.5	29.9	58.6	36.6	13.8	10.8	2.6
	錦田	225	49.8	24.9	64.9	38.2	20.4	17.8	40.4	25.8	52.4	34.2	12.4	11.6	3.1
	中郷	242	57.9	27.7	66.5	33.9	19.8	16.9	40.5	21.9	58.7	28.9	15.3	7.0	1.2

1位

2位

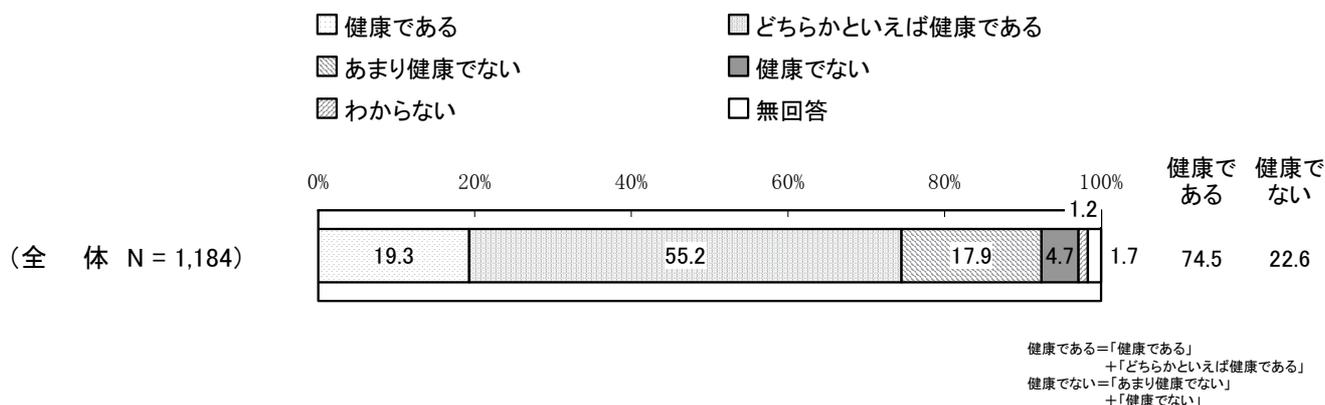
3位

7 『健康づくり』について

問18 あなたは、現在の自分の健康状態をどのように感じていますか。(○は一つ)

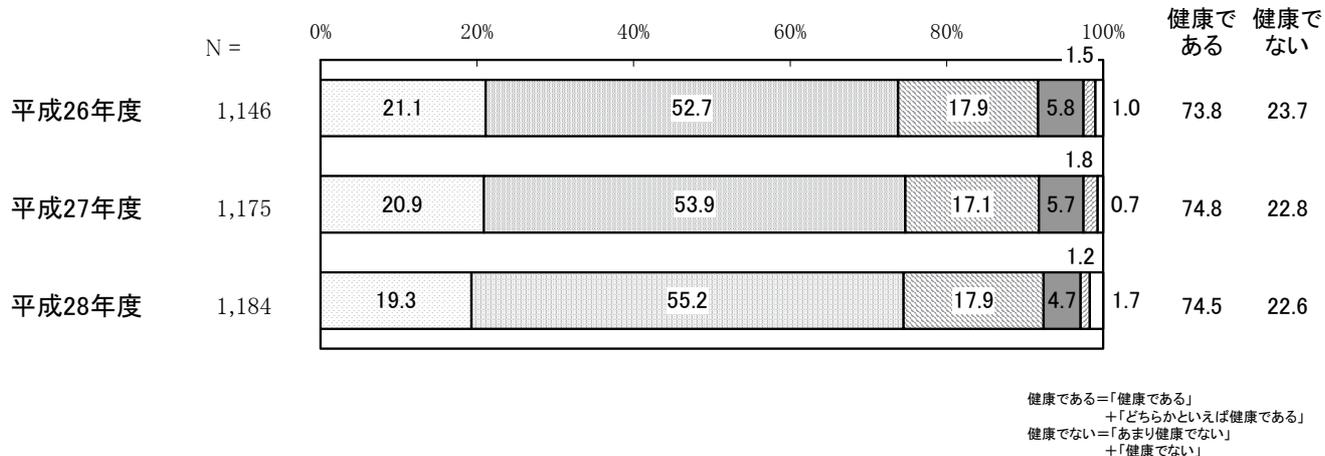
—現在健康であると感じている人は74.5%—

「健康である」(19.3%)と「どちらかといえば健康である」(55.2%)を合わせた“健康である”は74.5%となっています。一方「あまり健康でない」(17.9%)と「健康でない」(4.7%)を合わせた“健康でない”は22.6%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“健康である”は7割を超えています。

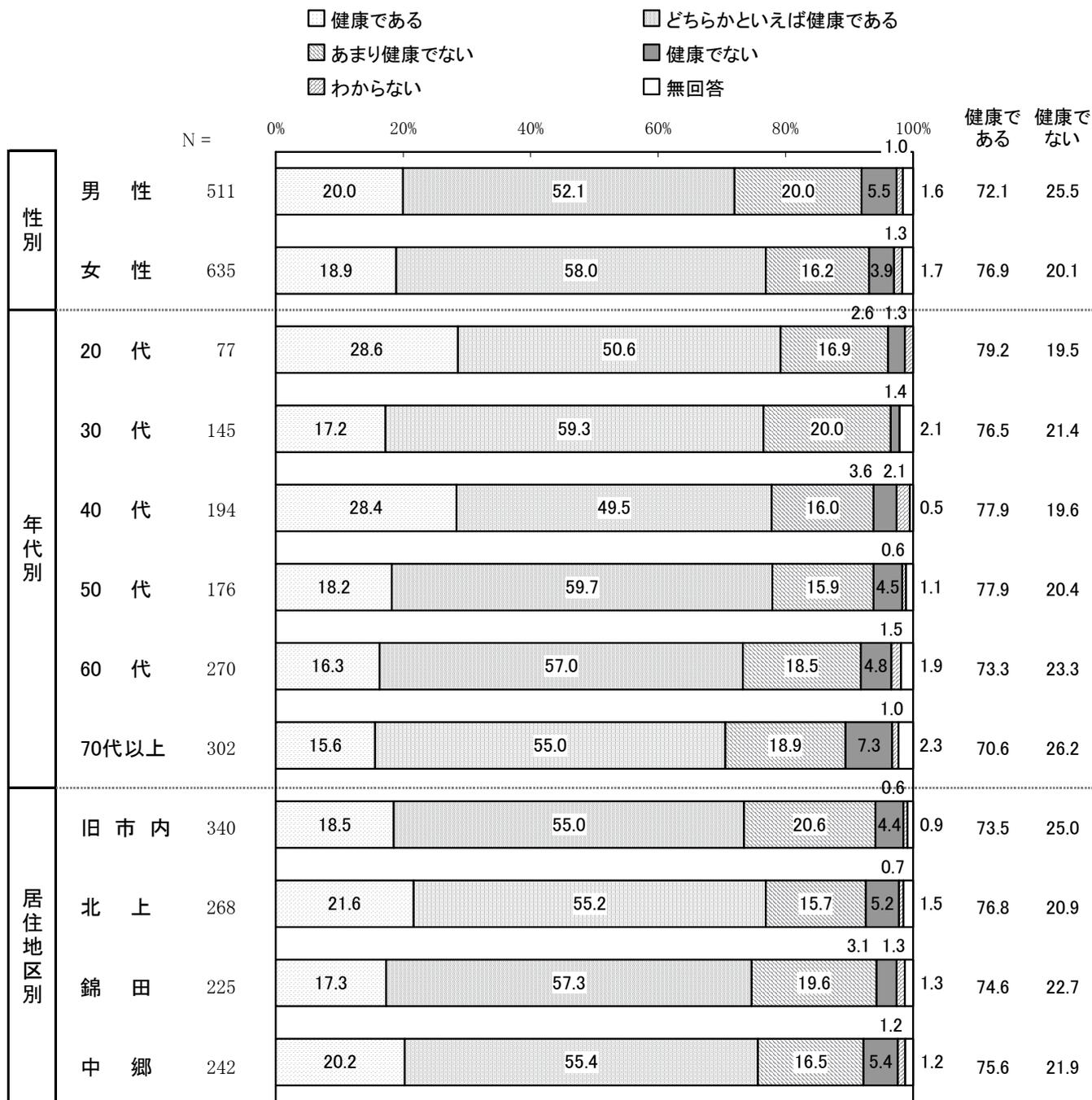


【属性別比較】

性別でみると、「健康である」（男性 72.1%、女性 76.9%）で、性別による大きな差はみられず、男性・女性とも7割を超えています。

年代別でみると、「健康である」は、年代が上がるにつれて低くなる傾向がみられます。「健康である」は70代以上で15.6%となっています。

居住地区別でみると、「健康である」は、北上（76.8%）が最も高く、次いで中郷（75.6%）となっています。一方、「健康でない」は、旧市内（25.0%）で最も高くなっています。

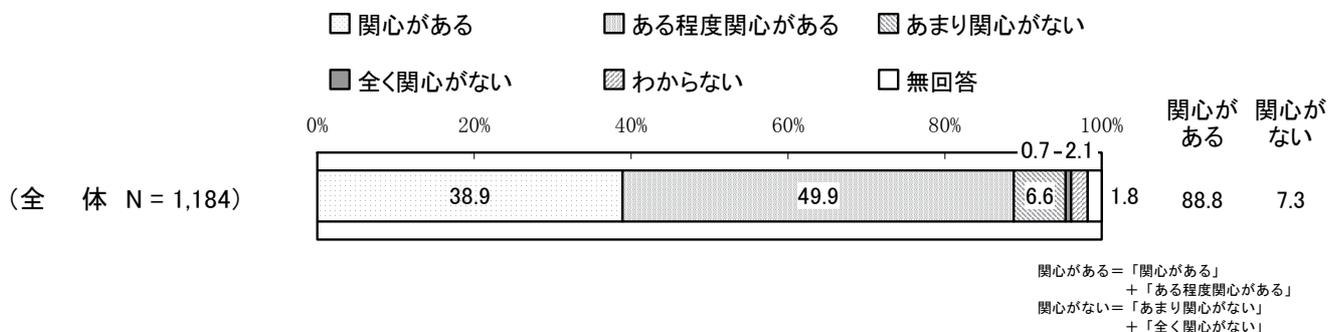


健康である＝「健康である」
 ＋「どちらかといえば健康である」
 健康でない＝「あまり健康でない」
 ＋「健康でない」

問19 あなたは、健康づくりに関心がありますか。(〇は一つ)

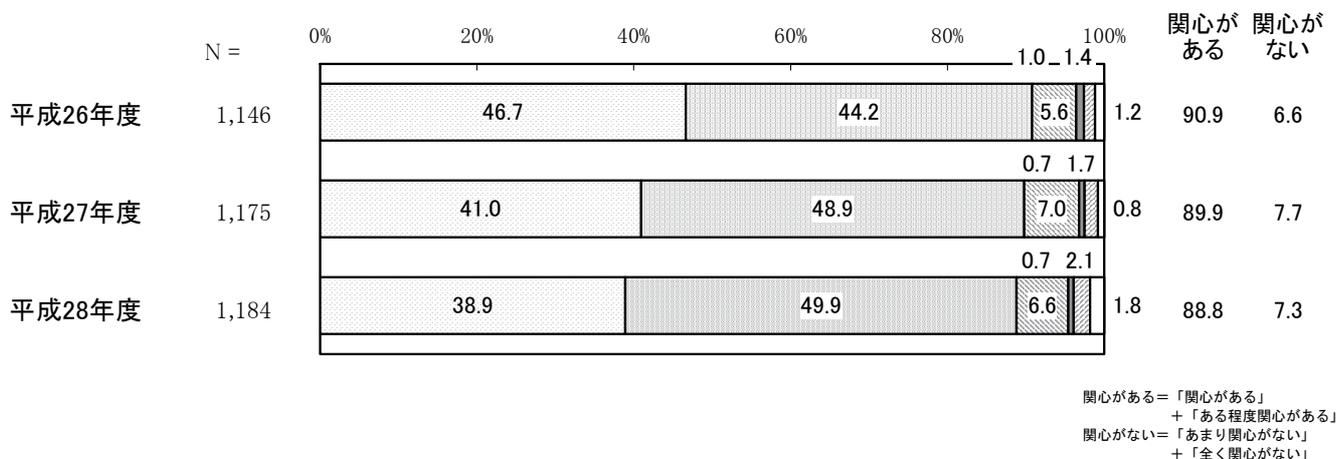
—健康づくりに“関心がある”のは88.8%—

「ある程度関心がある」(49.9%)が最も高く、「関心がある」(38.9%)を合わせた“関心がある”は88.8%となっています。一方「あまり関心がない」(6.6%)と「全く関心がない」(0.7%)を合わせた“関心がない”は7.3%となっています。



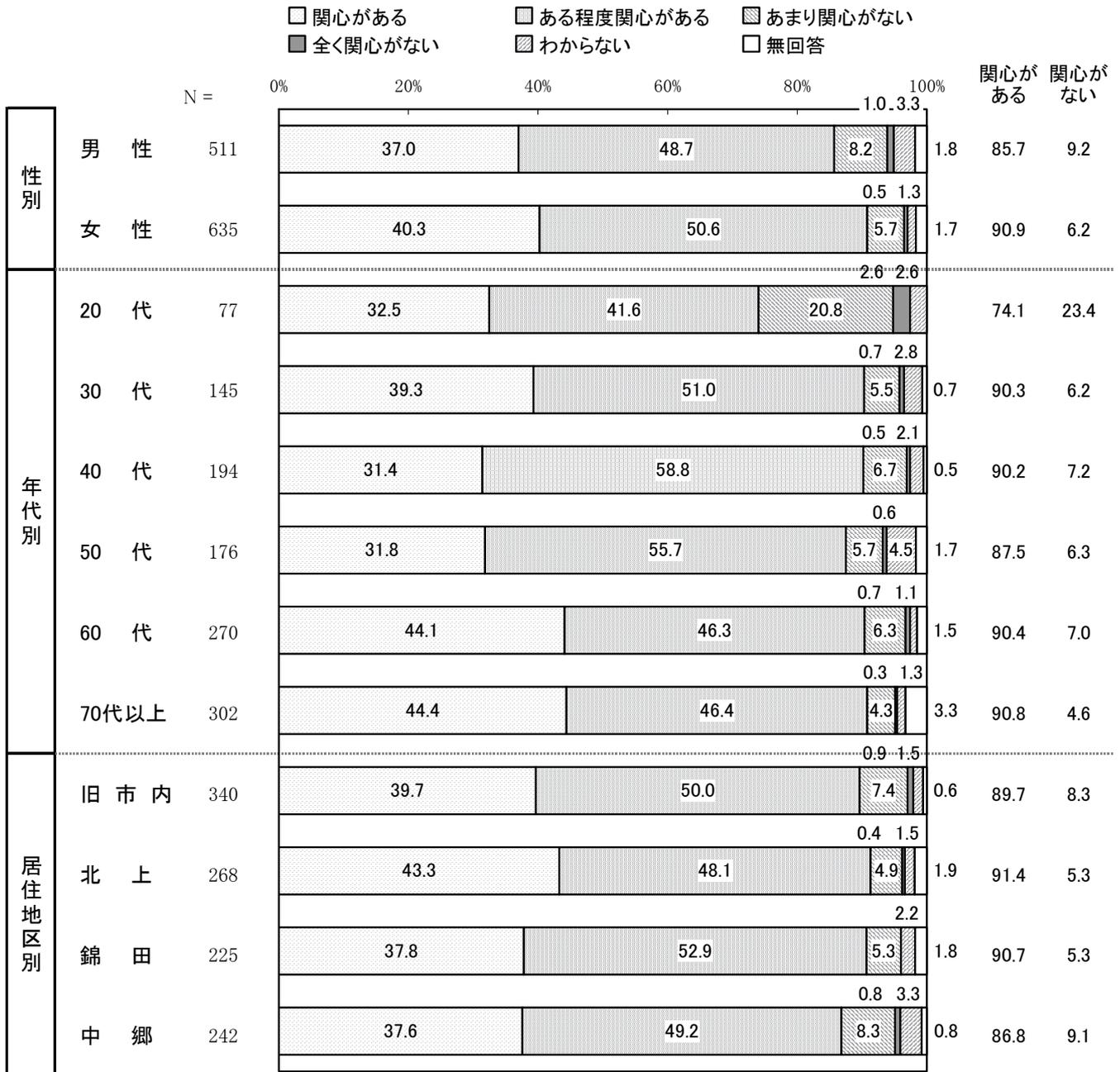
【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、“関心がある”割合は約9割を占めています。



【属性別比較】

性別でみると、“関心がある”は女性（90.9%）が男性（85.7%）よりも高くなっています。
 年代別でみると、「関心がある」は、60代（44.1%）、70代以上（44.4%）が4割台半ばと高くなっています。一方、“関心がない”は20代（23.4%）で高くなっています。
 居住地区別でみると、“関心がある”は、居住地区による大きな差はみられません。



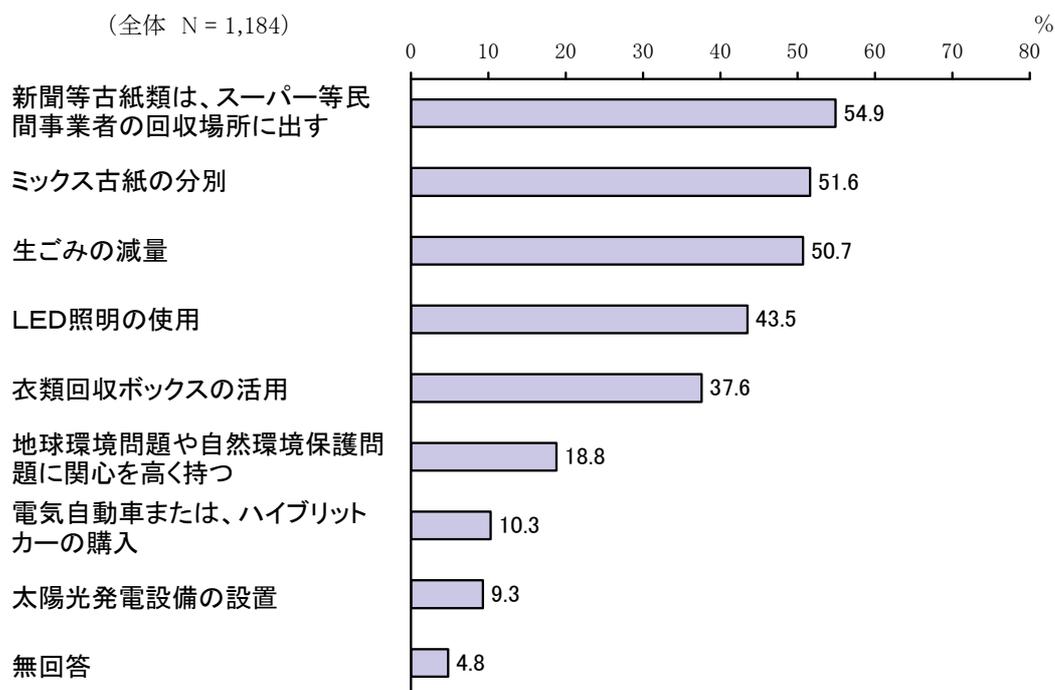
関心がある = 「関心がある」 + 「ある程度関心がある」
 関心がない = 「あまり関心がない」 + 「全く関心がない」

8 環境への取り組みについて

問20 あなたは環境に配慮するためどのような取り組みをしていますか。
(〇はいくつでも)

——「新聞等古紙類は、スーパー等民間事業者の回収場所に出す」が54.9%——

「新聞等古紙類は、スーパー等民間事業者の回収場所に出す」の割合が54.9%と最も高く、次いで「ミックス古紙の分別」の割合が51.6%、「生ごみの減量」の割合が50.7%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、「新聞等古紙類は、スーパー等民間事業者の回収場所に出す」が男性（51.9%）で最も多く、「ミックス古紙の分別」が女性（58.9%）で最も多くなっています。

年代別でみると、「生ごみの減量」が年齢が高くなるにつれ多くなる一方、「太陽光発電設備の設置」が年齢が高くなるにつれ低くなる傾向にあります。また、30代から50代で「新聞等古紙類は、スーパー等民間事業者の回収場所に出す」が最も多く、約6割となっています。

居住地区別でみると、「ミックス古紙の分別」が北上（59.7%）、「新聞等古紙類は、スーパー等民間事業者の回収場所に出す」が中郷（58.7%）で最も高く、約6割となっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	生ごみの減量	衣類回収ボックスの活用	LED照明の使用	電気自動車または、ハイブリットカーの購入	ミックス古紙の分別	新聞等古紙類は、スーパー等民間事業者の回収場所に出す	太陽光発電設備の設置	地球環境問題や自然環境保護問題に関心を高く持つ	無回答
性別	男性	511	44.4	26.2	41.5	12.9	43.1	51.9	9.4	20.9	5.3
	女性	635	55.1	47.1	45.0	8.5	58.9	57.6	9.1	16.9	4.1
年齢別	20代	77	20.8	15.6	37.7	3.9	18.2	33.8	11.7	18.2	9.1
	30代	145	23.4	35.9	49.0	9.0	44.1	58.6	11.7	17.2	4.1
	40代	194	37.6	42.8	46.9	7.7	53.6	60.3	13.9	11.3	2.6
	50代	176	51.7	40.3	41.5	21.6	56.3	60.8	8.0	20.5	5.1
	60代	270	63.0	39.6	47.0	13.3	51.5	52.6	8.5	19.6	3.7
	70代以上	302	68.2	37.4	38.7	5.0	61.3	53.6	6.0	22.2	5.3
居住地区別	旧市内	340	47.6	37.4	44.4	8.8	50.6	53.5	6.5	18.2	3.5
	北上	268	51.1	39.2	47.0	10.8	59.7	55.6	8.2	17.9	3.0
	錦田	225	54.2	38.2	44.4	8.0	49.8	53.8	11.1	17.8	4.4
	中郷	242	53.7	37.6	42.1	13.2	49.6	58.7	10.7	20.2	3.7

1位

2位

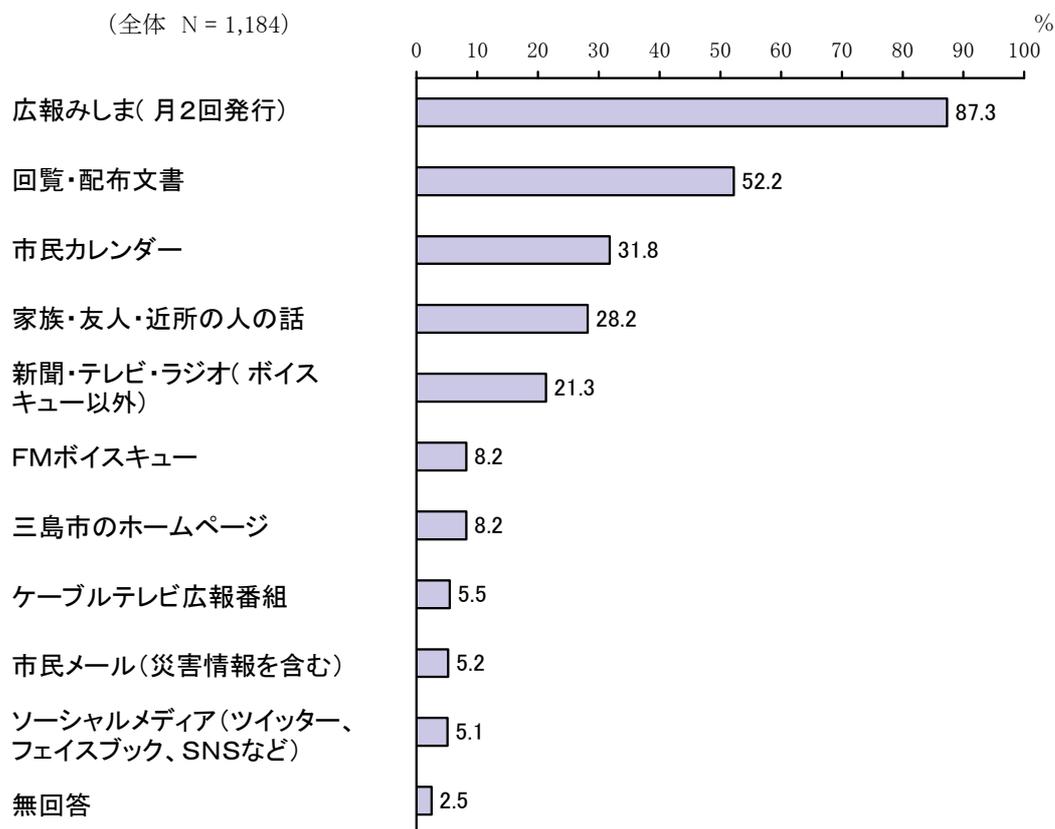
3位

9 三島市広報活動について

問21 市政の動きや行事・イベントなどを何によって知りますか。(〇はいくつでも)

—「広報みしま(月2回発行)」の割合が87.3%—

「広報みしま(月2回発行)」の割合が87.3%と最も高く、次いで「回覧・配布文書」の割合が52.2%、「市民カレンダー」の割合が31.8%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、「広報みしま(月2回発行)」(男性84.1%、女性90.6%)が男性・女性とも最も多くなっていますが、その割合は男性よりも女性が高くなっています。また、「回覧・配布文書」(男性51.7%、女性53.2%)は男性・女性いずれでも2位で、約5割を占めています。

年代別でみると、「広報みしま(月2回発行)」がいずれの年代でも最も多く、「回覧・配布文書」が40代から70代以上で第2位となっており、どちらも年代が高くなるにつれ割合が高くなっています。

居住地区別でみると、「広報みしま(月2回発行)」がいずれの居住地区でも最も多く、また、「回覧・配布文書」がいずれの居住地区でも第2位となっています。また、「市民カレンダー」は旧市内(26.8%)で低くなっています。

単位：%

区分		有効回答数(件)	広報みしま(月2回発行)	市民カレンダー	回覧・配布文書	F Mボイスキュー	ケーブルテレビ広報番組	新聞・テレビ・ラジオ (ボイスキュー以外)	家族・友人・近所の人の話	三島市のホームページ	SNSなど (ツイッター、フェイスブック、 ソーシャルメディア)	市民メール (災害情報を含む)	無回答
性別	男性	511	84.1	31.5	51.7	10.0	5.1	21.1	22.5	10.4	4.5	4.7	3.1
	女性	635	90.6	31.8	53.2	6.9	5.8	21.9	33.7	6.3	5.5	5.7	1.9
年齢別	20代	77	74.0	11.7	23.4	9.1	2.6	9.1	28.6	5.2	18.2	1.3	1.3
	30代	145	82.1	11.7	33.8	3.4	—	11.0	34.5	12.4	11.7	4.8	3.4
	40代	194	85.6	18.0	45.4	13.4	7.7	11.9	32.0	10.8	8.2	5.7	1.0
	50代	176	88.1	31.3	59.7	10.8	10.2	23.9	28.4	10.2	5.7	9.7	1.1
	60代	270	92.2	41.5	59.6	10.4	5.9	24.1	21.5	7.8	0.7	5.9	2.6
	70代以上	302	90.1	47.0	61.3	3.3	4.3	31.8	29.5	4.0	0.3	3.3	3.6
居住地区別	旧市内	340	88.5	26.8	43.5	9.7	6.5	25.0	30.0	9.1	7.9	5.6	1.2
	北上	268	87.7	39.2	53.7	7.5	4.1	19.8	31.7	8.2	4.1	5.2	2.6
	錦田	225	86.2	32.9	56.4	8.9	6.7	22.2	28.9	6.7	4.9	5.8	2.2
	中郷	242	90.1	31.8	59.9	7.9	5.0	20.7	24.0	9.9	4.1	5.4	1.7

1位

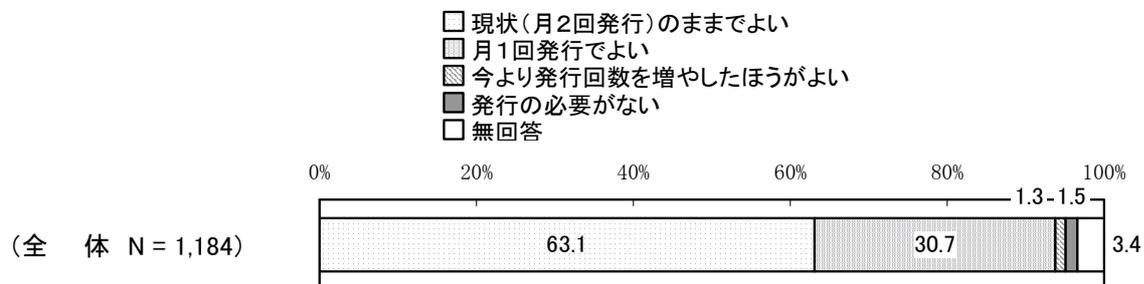
2位

3位

問 2 2 広報みしまの発行について。(〇は一つ)

—「現状(月2回発行)のままでよい」の割合が63.1%—

「現状(月2回発行)のままでよい」の割合が63.1%と最も高く、次いで「月1回発行でよい」の割合が30.7%となっています。

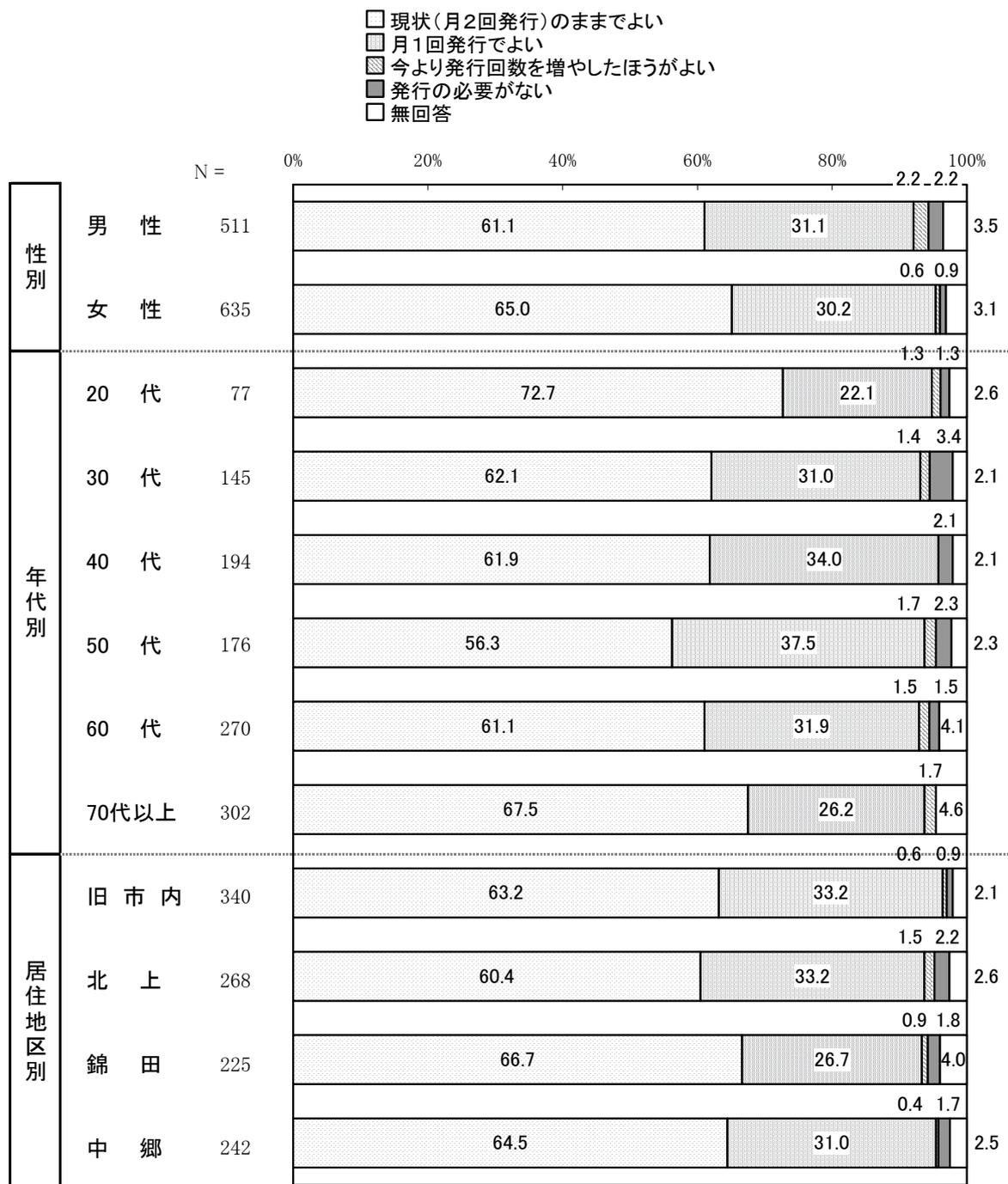


【属性別比較】

性別でみると、男性と女性で大きな差はみられず、「現状（月2回発行）のままでよい」（男性61.1%、女性65.0%）が男性・女性とも6割を超えています。

年代別でみると、「現状（月2回発行）のままでよい」がいずれの年代においても最も多いものの、50代（56.3%）では6割未満と低くなっています。

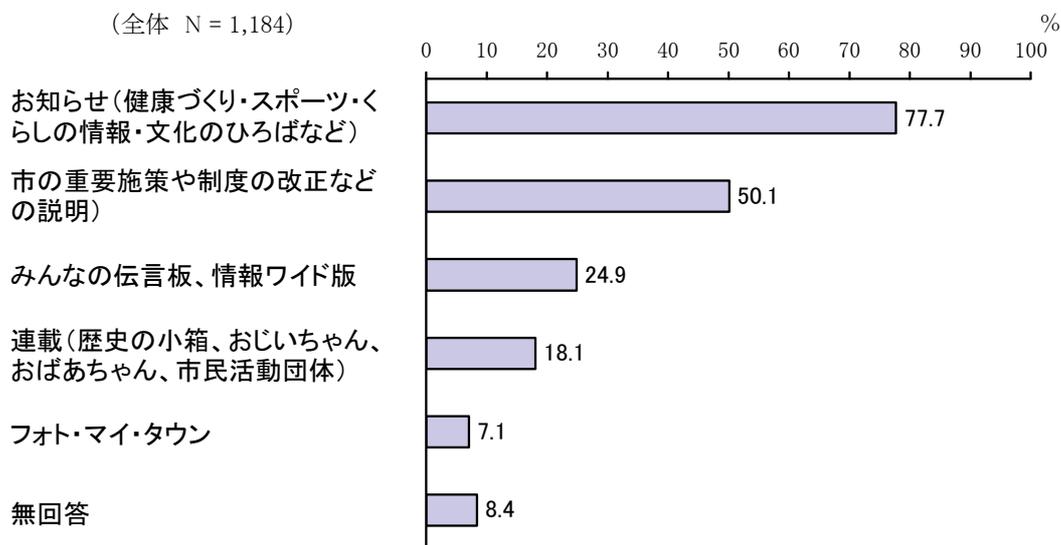
居住地区別でみると、「現状（月2回発行）のままでよい」がいずれの居住地区においても最も多く、また「月1回発行でよい」が第2位となっています。



問23 あなたが、広報みしまでよく見ている情報は何か。(〇はいくつでも)

—「お知らせ(健康づくり・スポーツ・くらしの情報・文化のひろばなど)」の割合が77.7%—

「お知らせ(健康づくり・スポーツ・くらしの情報・文化のひろばなど)」の割合が77.7%と最も高く、次いで「市の重要施策や制度の改正などの説明」の割合が50.1%、「みんなの伝言板、情報ワイド版」の割合が24.9%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、「お知らせ（健康づくり・スポーツ・くらしの情報・文化のひろばなど）」（男性 74.0%、女性 80.8%）が最も多いものの、その割合は男性よりも女性で多くなっています。また、「みんなの伝言板、情報ワイド版」（男性 21.5%、女性 28.0%）、「連載（歴史の小箱、おじいちゃん、おばあちゃん、市民活動団体）」（男性 13.5%、女性 21.4%）は、男性よりも女性で多くなっています。

年代別でみると、「お知らせ（健康づくり・スポーツ・くらしの情報・文化のひろばなど）」がいずれの年代でも最も多く、また「市の重要施策や制度の改正などの説明」がいずれの年代でも第2位となっています。また、「連載（歴史の小箱、おじいちゃん、おばあちゃん、市民活動団体）」が年齢が高くなるにつれ多くなっています。

居住地区別でみると、「お知らせ（健康づくり・スポーツ・くらしの情報・文化のひろばなど）」がいずれの居住地区でも最も多く、また、「市の重要施策や制度の改正などの説明」がいずれの居住地区でも第2位となっています。

単位：%

区分		有効回答数（件）	市の重要施策や制度の改正などの説明	お知らせ（健康づくり・スポーツ・くらしの情報・文化のひろばなど）	みんなの伝言板、情報ワイド版	フォト・マイ・タウン	連載（歴史の小箱、おじいちゃん、おばあちゃん、市民活動団体）	無回答
性別	男性	511	53.4	74.0	21.5	4.9	13.5	9.8
	女性	635	48.3	80.8	28.0	8.7	21.4	6.8
年齢別	20代	77	37.7	67.5	10.4	1.3	10.4	18.2
	30代	145	45.5	73.1	20.7	6.2	13.1	10.3
	40代	194	47.4	77.8	21.6	10.8	14.4	9.3
	50代	176	53.4	82.4	22.2	9.7	17.0	5.7
	60代	270	48.1	84.8	27.0	6.7	18.9	5.9
	70代以上	302	57.9	73.8	32.8	5.3	23.8	7.3
居住地区別	旧市内	340	49.1	78.5	26.5	5.6	16.2	7.4
	北上	268	48.9	79.5	22.4	7.1	18.3	7.8
	錦田	225	52.4	76.4	28.0	8.0	19.1	8.9
	中郷	242	55.0	78.9	24.8	9.5	19.4	6.2

1位

2位

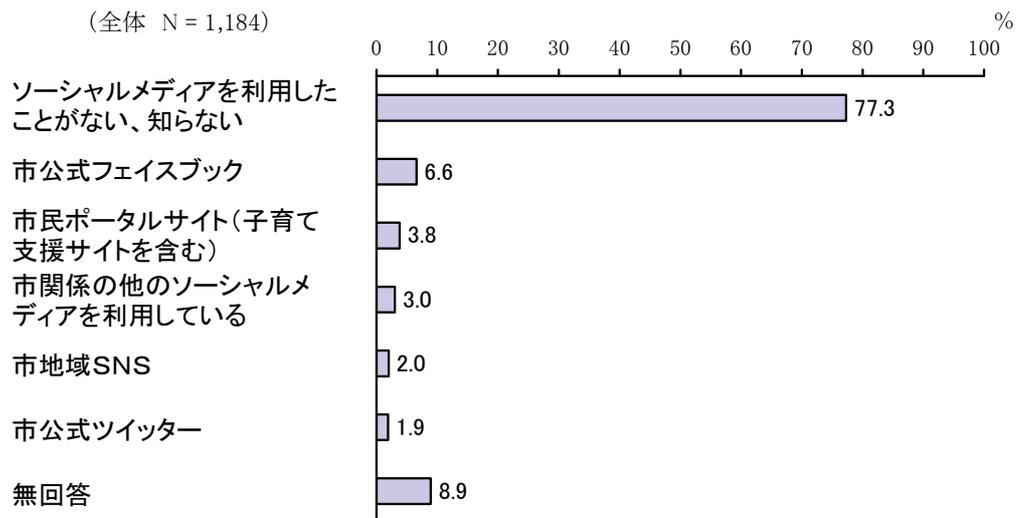
3位

問24 三島市の情報を発信しているインターネットを活用したフェイスブック、ツイッター、SNSなどのソーシャルメディアを利用したことはありますか。
(〇はいくつでも)

— “ソーシャルメディアを利用したことがある” の割合が 13.8%—

「ソーシャルメディアを利用したことがない、知らない」(77.3%)と「無回答」(8.9%)を除く“ソーシャルメディアを利用したことがある”の割合が13.8%となっています。

また、「ソーシャルメディアを利用したことがない、知らない」の割合が77.3%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、「ソーシャルメディアを利用したことがない、知らない」（男性 77.7%、女性 77.8%）が男性・女性ともに最も多く、約8割を占めています。

年代別でみると、「ソーシャルメディアを利用したことがない、知らない」がいずれの年代でも最も多くなっています。また、「市公式フェイスブック」は20代（18.2%）で約2割と高くなっています。

居住地区別でみると、「ソーシャルメディアを利用したことがない、知らない」はいずれの居住地区でも最も多くなっています。また、「市公式フェイスブック」が旧市内（9.4%）で高くなっています。

単位：%

区分		有効回答数 (件)	市公式フェイスブック	市公式ツイッター	市民ポータルサイト (子育て支援サイトを含む)	市地域SNS	市関係の他のソーシャル メディアを利用している	ソーシャルメディアを利用 したことがない、知らない	無回答
性別	男性	511	6.5	2.0	2.9	2.5	3.1	77.7	8.0
	女性	635	6.8	1.7	4.7	1.7	3.1	77.8	8.5
年齢別	20代	77	18.2	9.1	2.6	5.2	11.7	62.3	5.2
	30代	145	13.8	3.4	10.3	2.8	4.1	69.0	3.4
	40代	194	9.3	1.5	6.2	2.6	4.6	76.3	3.1
	50代	176	5.7	2.3	4.0	2.3	1.7	83.0	4.5
	60代	270	4.1	0.4	2.2	1.5	1.9	84.4	7.4
	70代以上	302	1.0	0.7	1.0	1.0	1.3	77.5	18.2
居住地区別	旧市内	340	9.4	2.6	3.5	2.1	3.2	76.2	7.6
	北上	268	4.5	1.5	4.9	1.9	6.0	81.0	5.6
	錦田	225	5.8	1.3	5.3	1.8	1.8	75.1	10.7
	中郷	242	6.6	1.2	2.5	2.5	1.7	80.2	7.9

1位

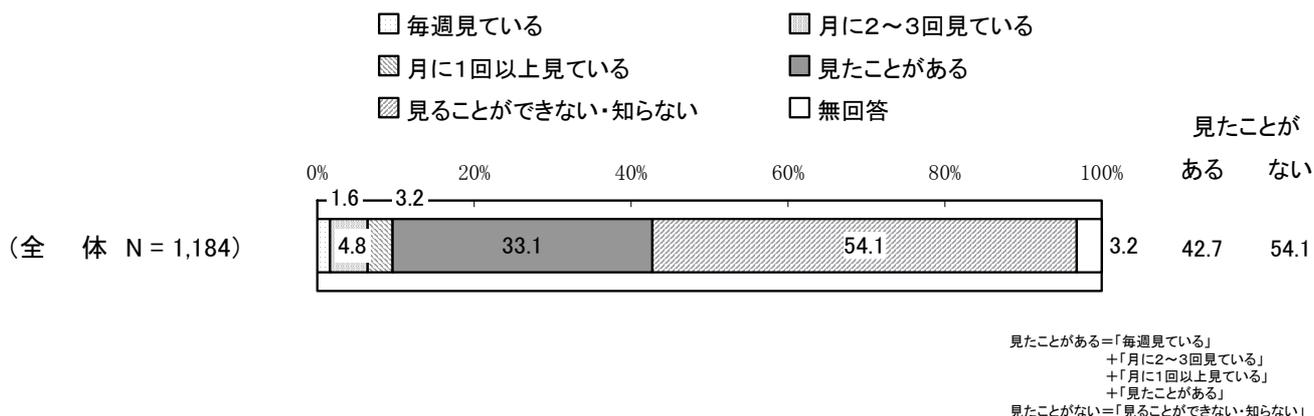
2位

3位

問25 三島市ではケーブルテレビの12chで、「ニュースみしま」、「みしま広報室」の2つの広報番組を放送しています。あなたの視聴状況はどれぐらいの頻度ですか。(〇は一つ)

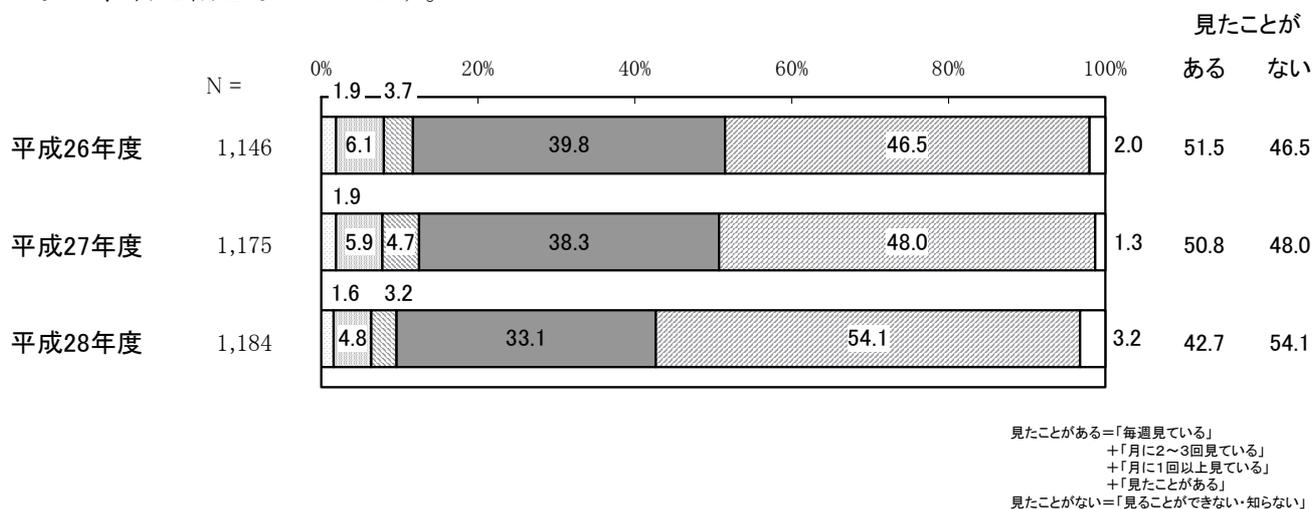
—三島市広報番組を“見たことがある”のは42.7%—

「見ることができない・知らない」の割合が54.1%と最も高く、次いで「見たことがある」の割合が33.1%となっています。「毎週見ている」(1.6%)、「月に2～3回」(4.8%)、「月に1回以上」(3.2%)、「見たことがある」(33.1%)を合わせた“見たことがある”割合は42.7%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、“見たことがある” (42.7%) 人の割合が減少し、約4割となっています。

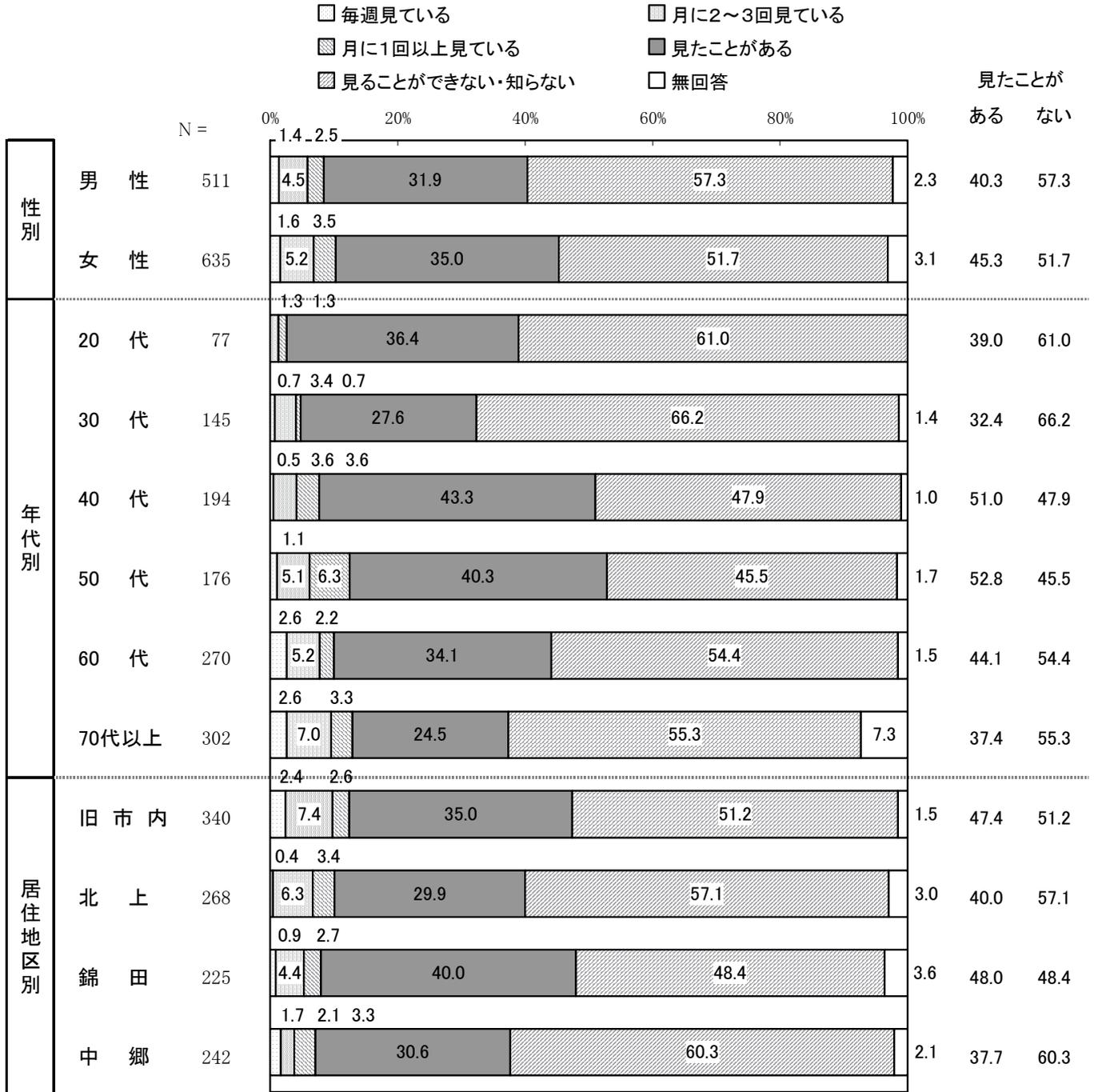


【属性別比較】

性別でみると、“見たことがある”は、女性（45.3%）が男性（40.3%）よりも高くなっています。

年代別でみると、“見たことがある”は、40代（51.0%）、50代（52.8%）で5割を超えています。「見るができない・知らない」は20代（61.0%）、30代（66.2%）で約7割となっています。

居住地区別でみると、“見たことがある”は旧市内（47.4%）、錦田（48.0%）で約5割となっています。

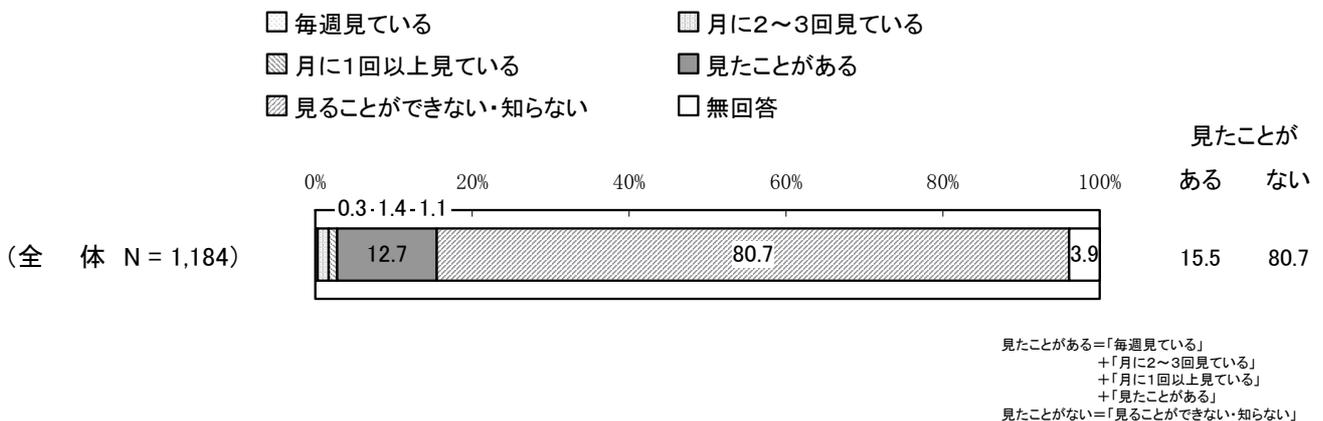


見たことがある＝「毎週見ている」
 ＋「月に2～3回見ている」
 ＋「月に1回以上見ている」
 ＋「見たことがある」
 見たことがない＝「見るができない・知らない」

問26 放送した広報番組をインターネットの動画サイト「YouTube」の三島市チャンネルに掲載し内容を毎週更新しています。あなたは視聴していますか。(○は一つ)

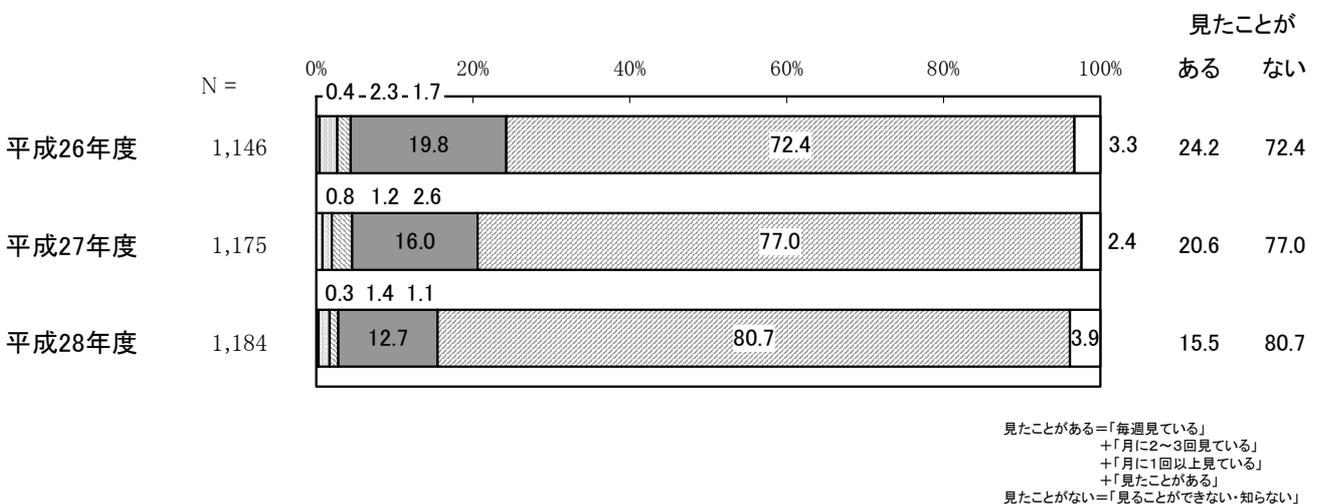
—「YouTube」の三島市チャンネルを“見たことがある”のは15.5%—

「見るができない・知らない」の割合は80.7%でした。「毎週見ている」(0.3%)、「月に2～3回見ている」(1.4%)、「月に1回以上見ている」(1.1%)、「見たことがある」(12.7%)を合わせた“見たことがある”割合は15.5%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、“見たことがない”(80.7%)の割合が上昇傾向にあり、約8割となっています。

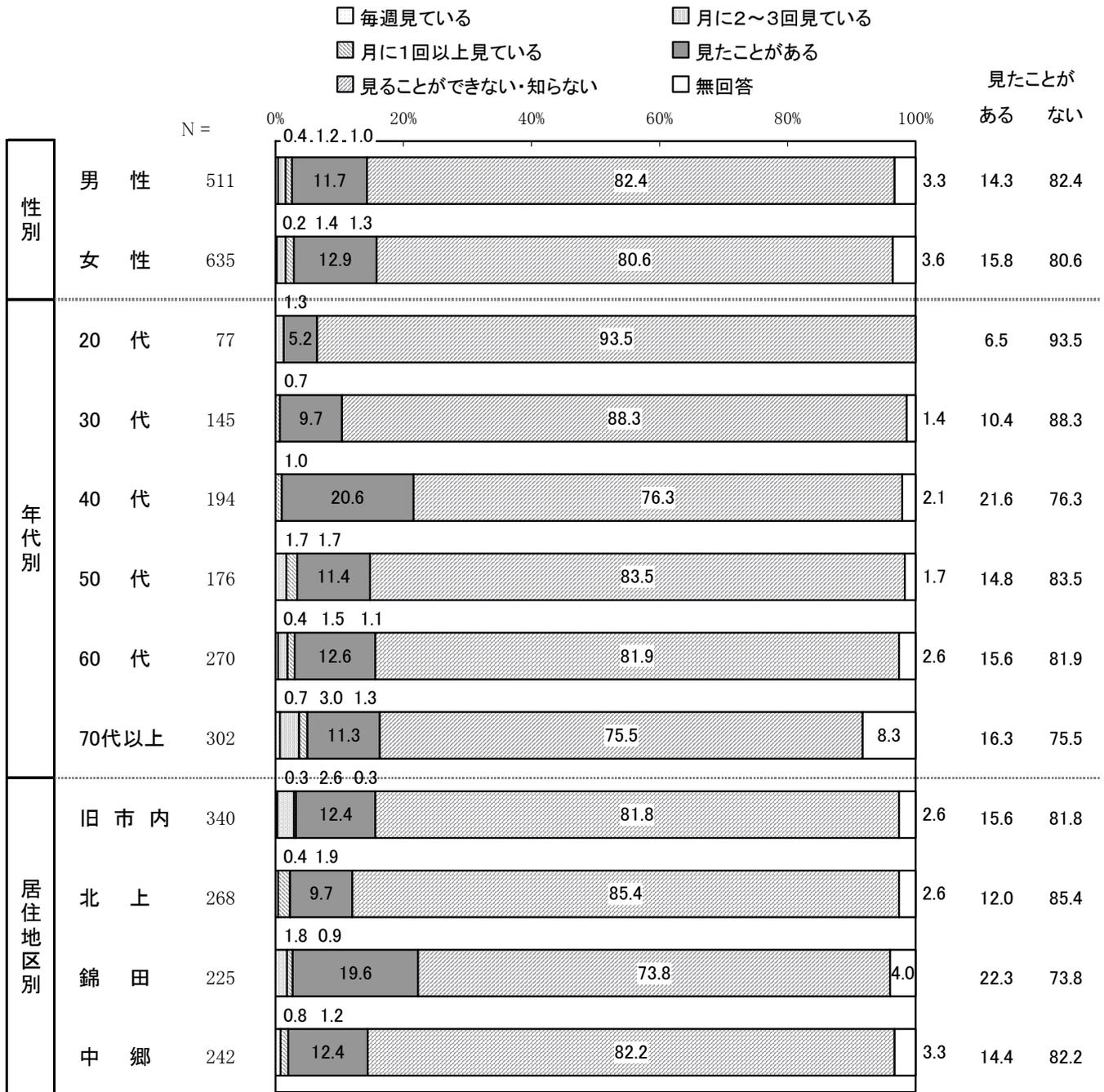


【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、「見るができない・知らない」は年齢が低くなるにつれ多くなる傾向があり、20代（93.5%）で9割を超えています。

居住地区別でみると、“見たことがある”割合は、錦田（22.3%）で最も高く、約2割となっています。

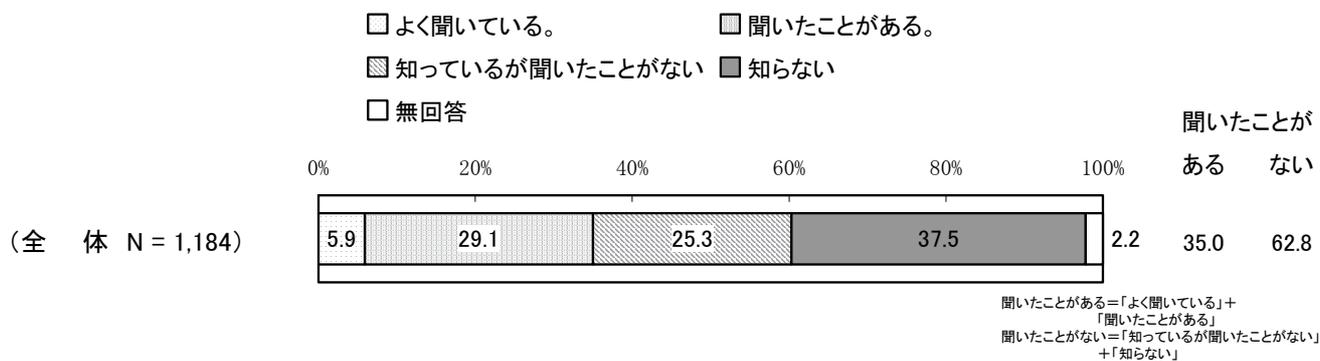


見たことがある＝「毎週見ている」
 ＋「月に2～3回見ている」
 ＋「月に1回以上見ている」
 ＋「見たことがある」
 見たことがない＝「見るができない・知らない」

問27 FMボイスキュー(コミュニティーFM)で三島市からの広報番組や緊急情報を放送しています。あなたはこの放送を聞いていますか。(〇は一つ)

—FMボイスキュー(コミュニティーFM)を“聞いたことがある”人が35.0%—

「知らない」の割合が37.5%と最も高く、次いで「聞いたことがある。」の割合が29.1%、「知っているが聞いたことがない」の割合が25.3%となっています。“聞いたことがある”人の割合は35.0%となっています。

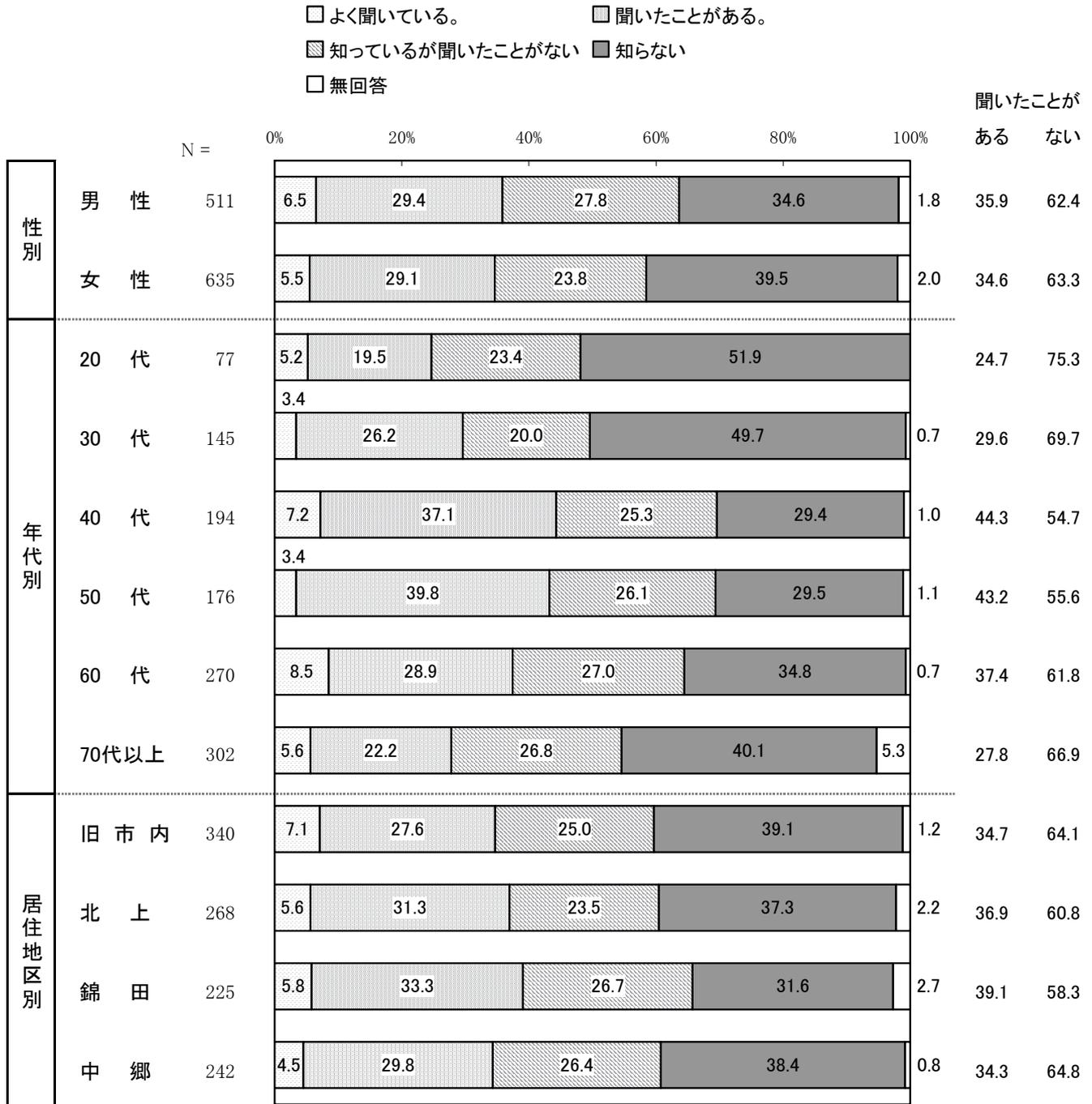


【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、「知らない」は20代(51.9%)、30代(49.7%)で高く、約5割を占めています。

居住地区別でみると、「聞いたことがある」は、北上(36.9%)、錦田(39.1%)で約4割となっています。



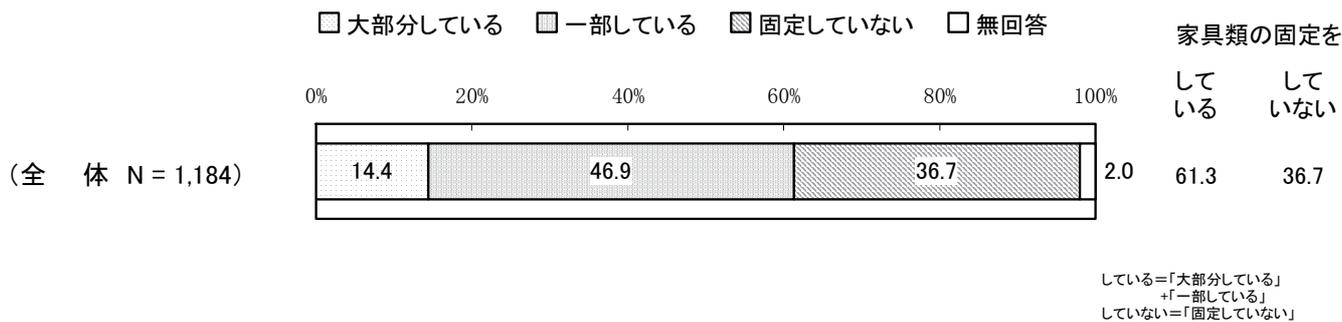
聞いたことがある = 「よく聞いている」 + 「聞いたことがある」
 聞いたことがない = 「知っているが聞いたことがない」 + 「知らない」

10 災害対策について

問28 あなたは地震に備えて家具類の固定をしていますか。(〇は一つ)

—家具の固定状況を“している”人は61.3%—

「一部している」の割合が46.9%と最も高く、次いで「固定していない」の割合が36.7%、「大部分している」の割合が14.4%となっています。「一部している」(46.9%)と「大部分している」(14.4%)を合わせた“している”割合は61.3%となります。



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

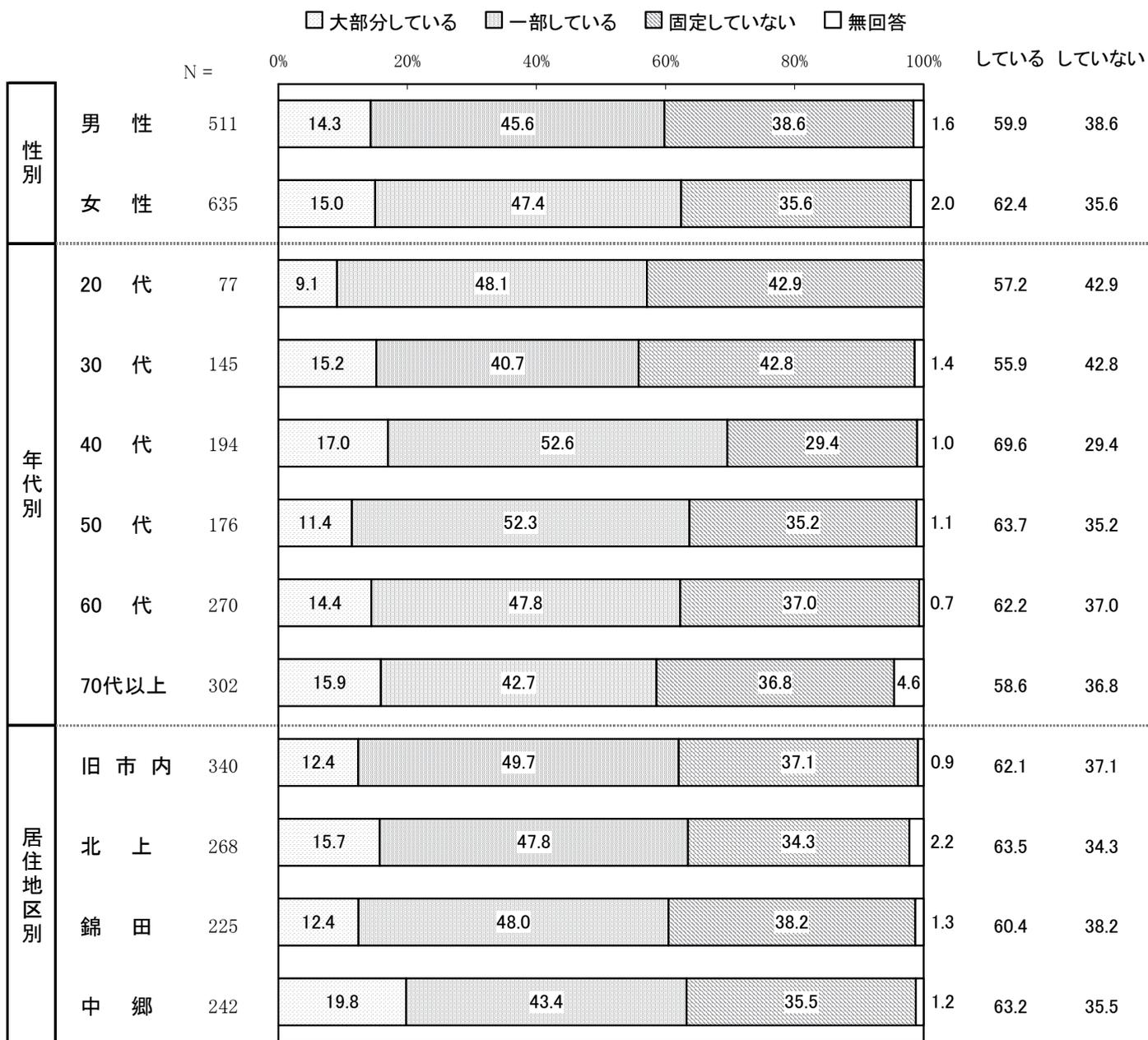


【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、“している”は、40代（69.6%）が約7割と最も高く、「固定していない」は20代（42.9%）、30代（42.8%）で4割台と高くなっています。

居住地区別でみると、「固定していない」は、居住地区による大きな差異はみられません。

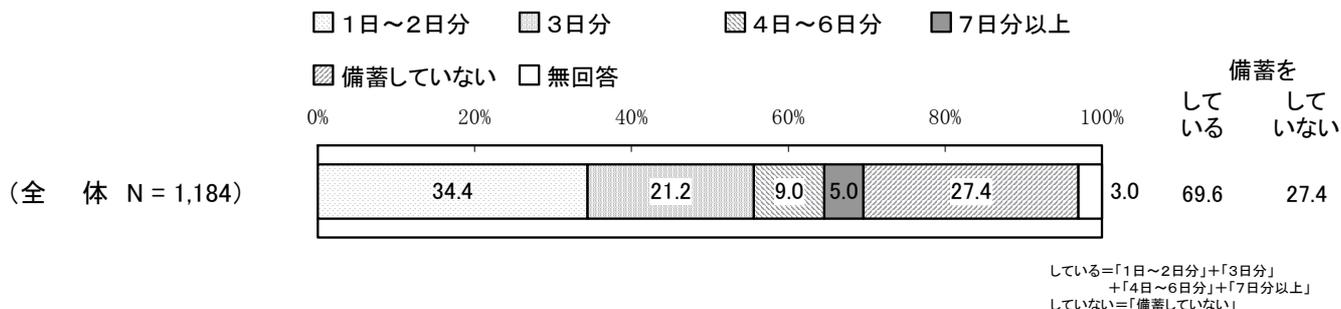


している＝「大部分している」
 ＋「一部している」
 していない＝「固定していない」

問29 あなたは災害時に何日分の飲料水の備蓄をしていますか。ひとり1日あたり3リットルで計算し、お答えください。(〇は一つ)

—飲料水の備蓄を“している”割合は69.6%—

「1日～2日分」の割合が34.4%と最も高く、次いで「備蓄していない」の割合が27.4%、「3日分」の割合が21.2%となっています。1日分以上の飲料水を備蓄している割合は69.6%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、備蓄を“している”割合は約7割となっています。

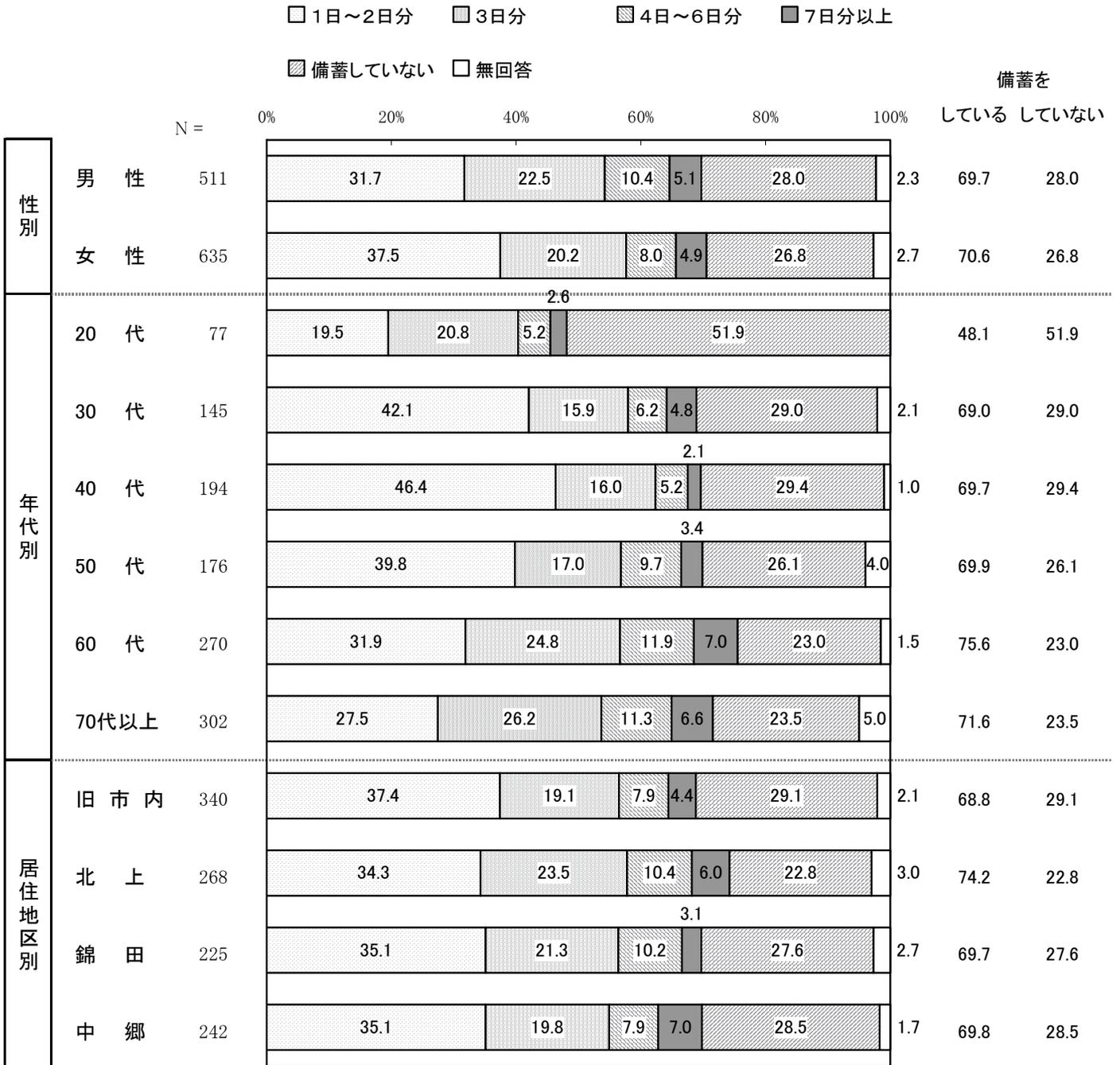


【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、備蓄を“していない”割合は20代（51.9%）が最も高くなっています。

居住地区別でみると、備蓄を“している”割合は北上（74.2%）で最も高くなっています。

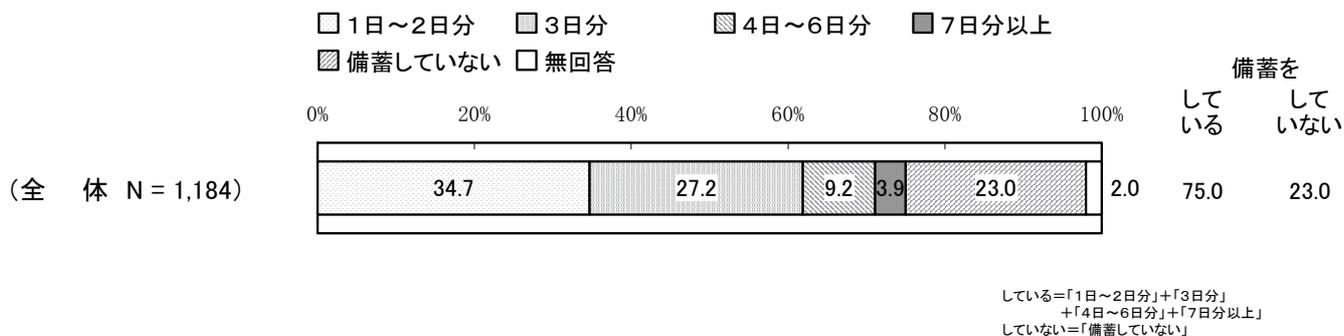


している＝「1日～2日分」＋「3日分」
 ＋「4日～6日分」＋「7日分以上」
 していない＝「備蓄していない」

問30 あなたは災害時に何日分の食料（レトルト食品、ラーメン、缶詰などを含む。）の備蓄をしていますか。（〇は一つ）

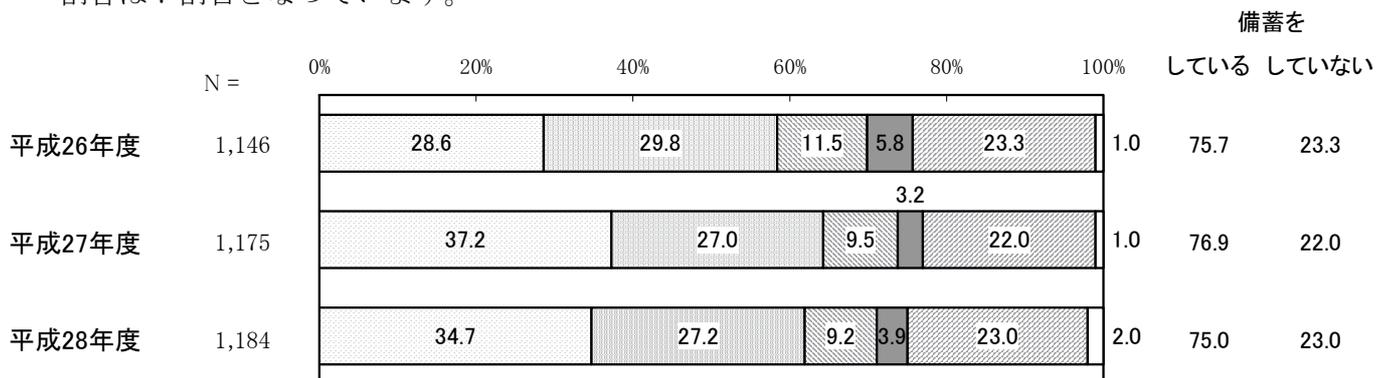
—食料の備蓄を“している”割合は75.0%—

「1日～2日分」の割合が34.7%と最も高く、次いで「3日分」の割合が27.2%、「備蓄していない」の割合が23.0%となっています。1日分以上の食料を備蓄している割合は75.0%となっています。



【時系列比較】

平成26年度調査、平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられず、備蓄を“している”割合は7割台となっています。

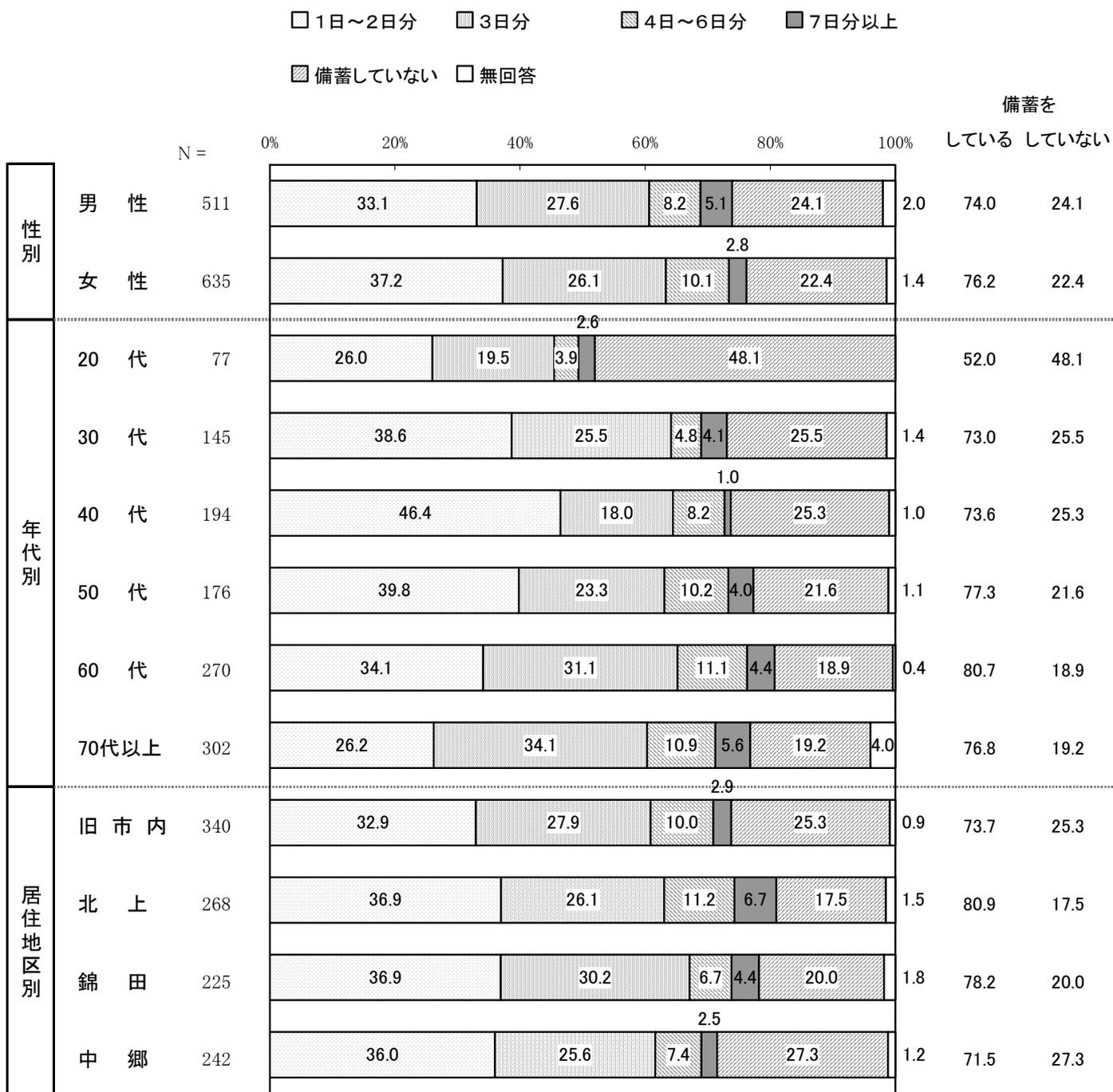


【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、備蓄を“していない”割合は20代（48.1%）で最も高く約5割を占めています。

居住地区別でみると、備蓄を“している”割合は北上（80.9%）、錦田（78.2%）で約8割を占めています。



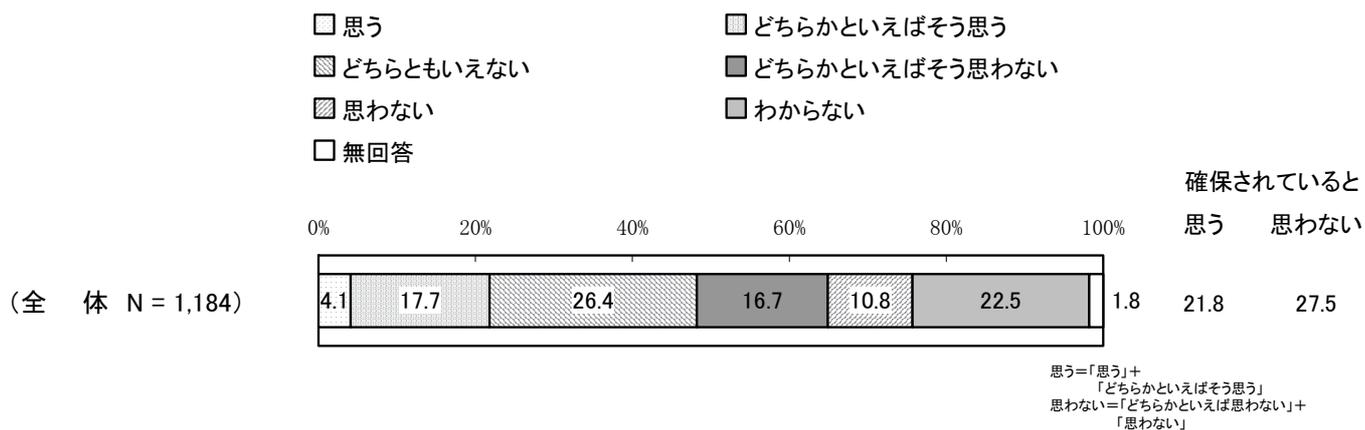
している＝「1日～2日分」＋「3日分」
 ＋「4日～6日分」＋「7日分以上」
 していない＝「備蓄していない」

11 男女共同参画について

問3 1 男女が性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮する機会が確保されていると思いますか。(○は一つ)

—男女ともに個性と能力を発揮する機会が確保されていると思う人は21.8%—

「思う」(4.1%)と「どちらかというと思う」(17.7%)をあわせた“確保されていると思う”の割合は21.8%、「どちらかといえばそう思わない」(16.7%)と「思わない」(10.8%)をあわせた“確保されていない”の割合は27.5%となっています。

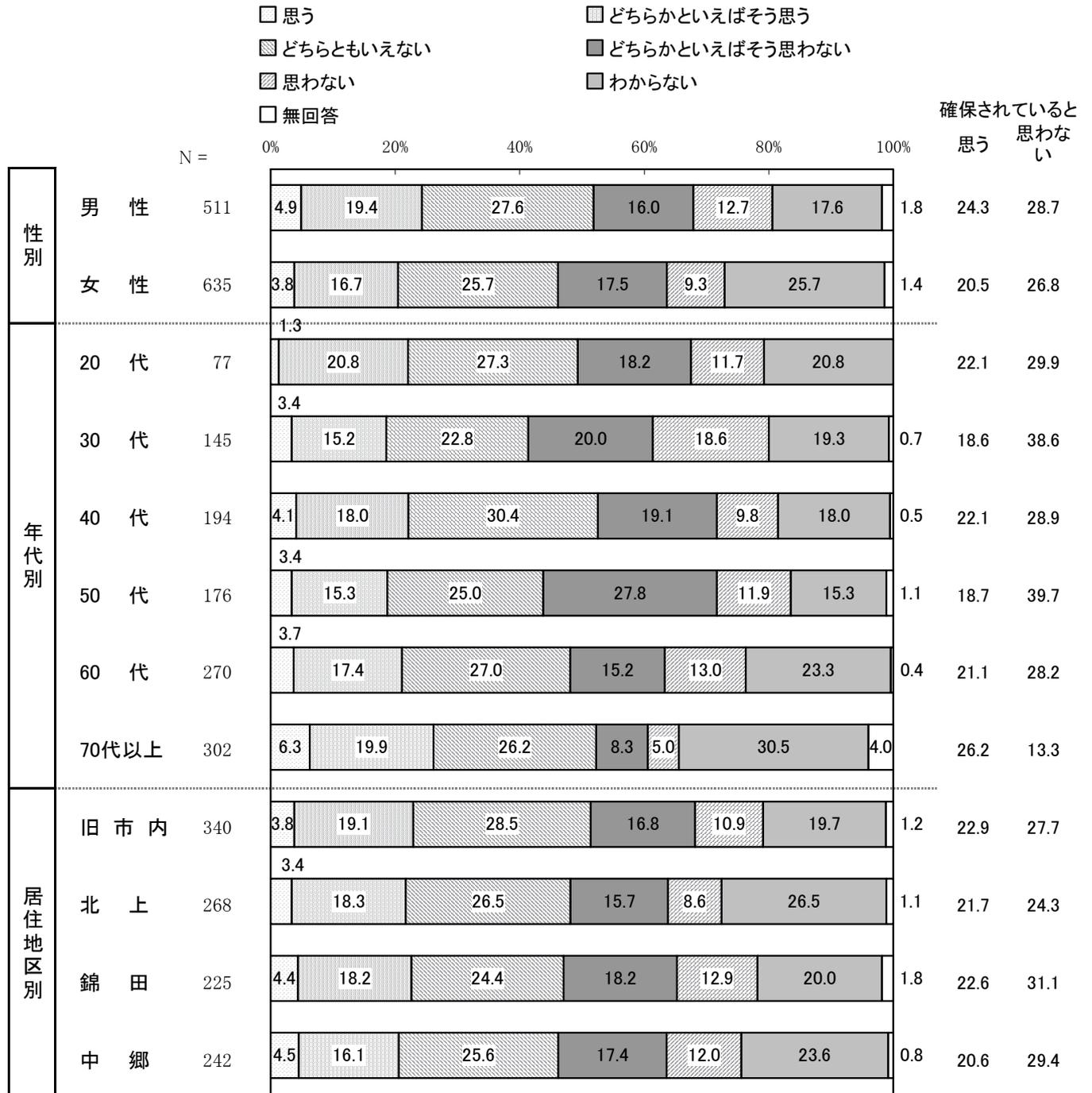


【属性別比較】

性別でみると、「わからない」を除くと性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、“確保されていると思わない”の割合は、30代（38.6%）で最も高く、約4割となっています。

居住地区別でみると、居住地区による大きな差はみられません。



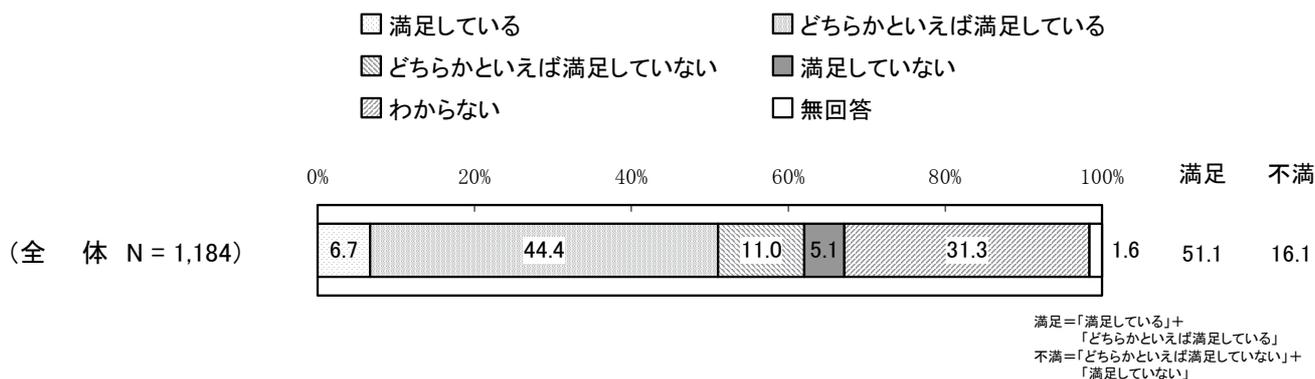
思う＝「思う」＋
「どちらかといえばそう思う」
思わない＝「どちらかといえば思わない」＋
「思わない」

12 三島市の文化的環境について

問32 あなたは、三島市の文化的環境(鑑賞機会、創作・参加機会、文化財や伝統的街並みの保存・整備など)に満足していますか。(〇は一つ)

—文化的環境に“満足している”は51.1%—

「満足している」(6.7%)と「どちらかといえば満足している」(44.4%)をあわせた“満足している”人の割合は51.1%、「どちらかといえば満足していない」(11.0%)と「満足していない」(5.1%)をあわせた“満足していない”の割合は16.1%となっています。

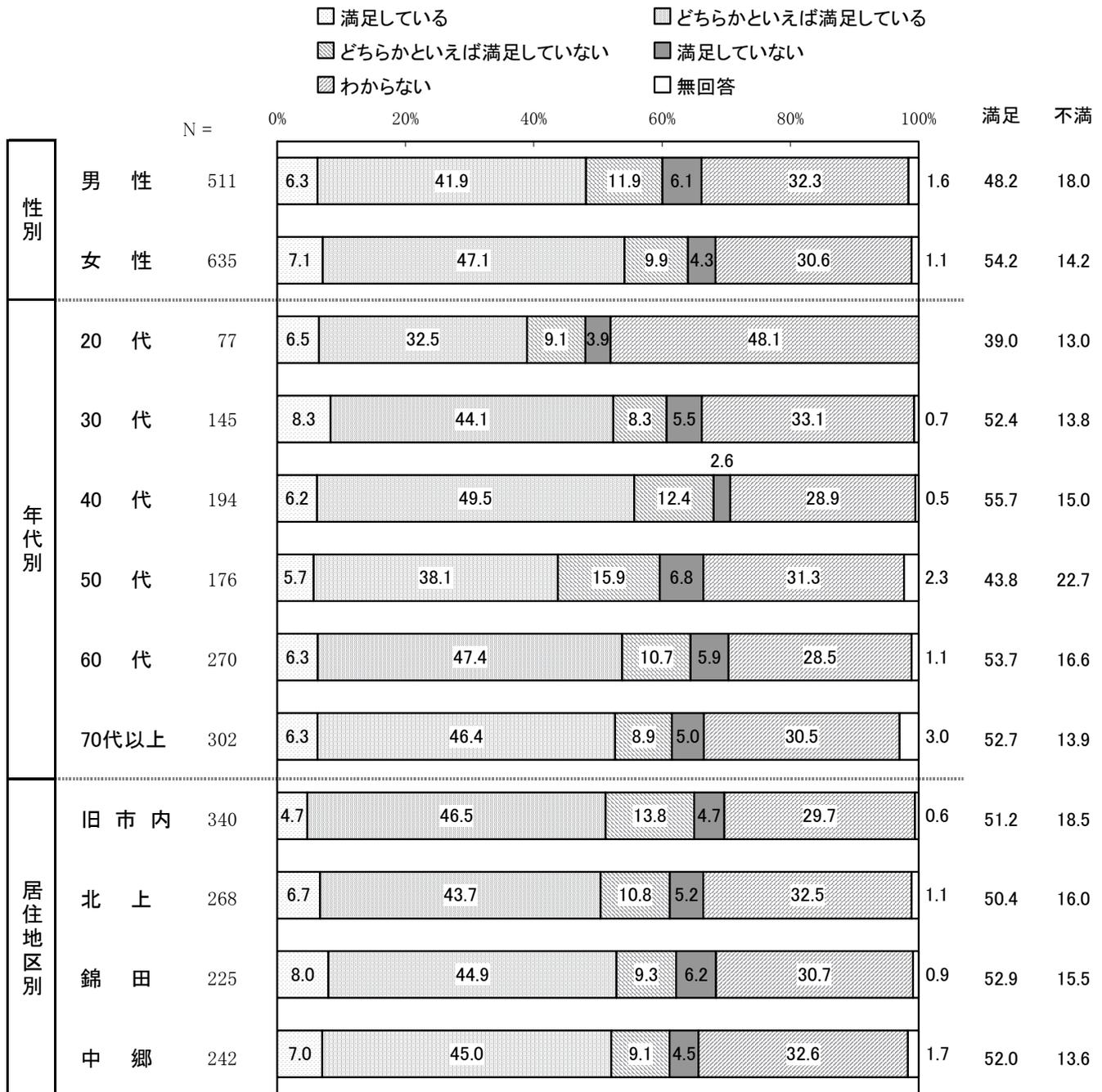


【属性別比較】

性別でみると、“満足”（男性 48.2%、女性 54.2%）は、女性が男性よりも高く、5割台半ばとなっています。

年代別でみると、“満足”は20代（39.0%）で4割未満と低くなっています。

居住地区別でみると、居住地区による大きな差はみられません。



満足＝「満足している」＋
「どちらかといえば満足している」
不満＝「どちらかといえば満足していない」＋
「満足していない」

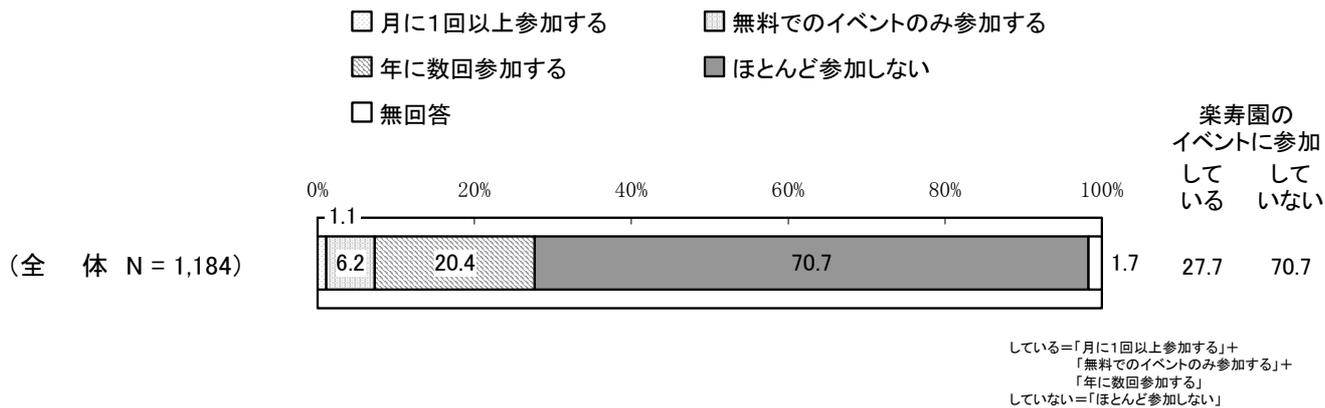
13 市立公園楽寿園について

問33 あなたは楽寿園で開催しているイベントに参加していますか？

—イベントに“参加している”は27.7%—

「ほとんど参加しない」の割合が70.7%と最も高く、次いで「年に数回参加する」の割合が20.4%となっています。

「月に1回以上参加する」(1.1%)、「無料でのイベントのみ参加する」(6.2%)、「年に数回参加する」(20.4%)をあわせたイベントに“参加している”の割合は27.7%となっています。

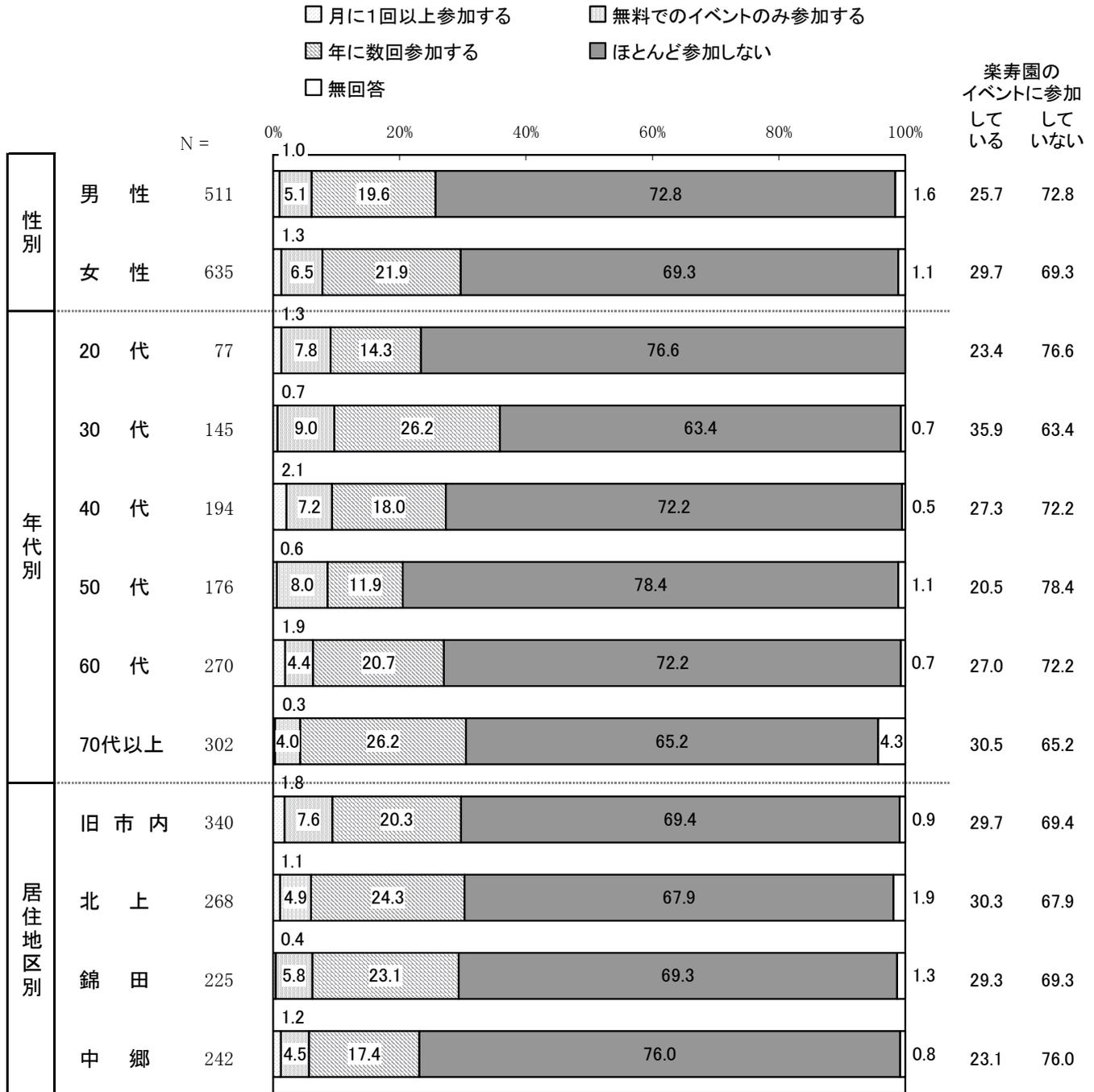


【属性別比較】

性別でみると、性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、イベントに“参加している”の割合は、30代（35.9%）で3割台半ばと高くなっています。

居住地区別でみると、イベントに“参加していない”の割合は、中郷（76.0%）で高く、約8割を占めています。

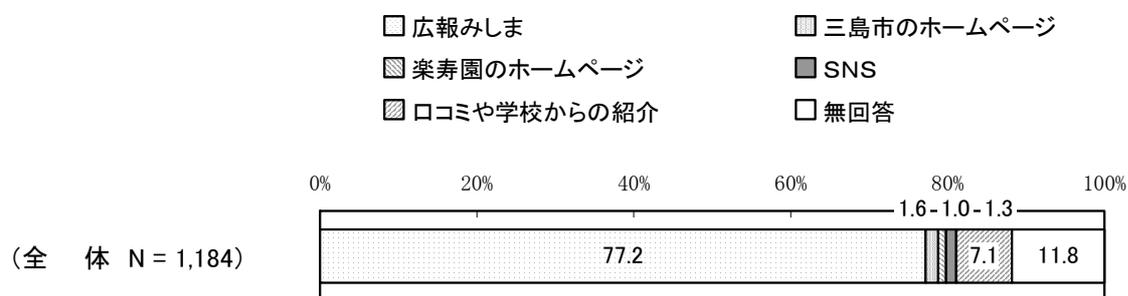


している＝「月に1回以上参加する」＋
「無料でイベントのみ参加する」＋
「年に数回参加する」
していない＝「ほとんど参加しない」

問34 あなたは楽寿園のイベント情報はどこから得ていますか？（○は一つ）

—「広報みしま」が77.2%—

「広報みしま」の割合が77.2%と最も高くなっています。

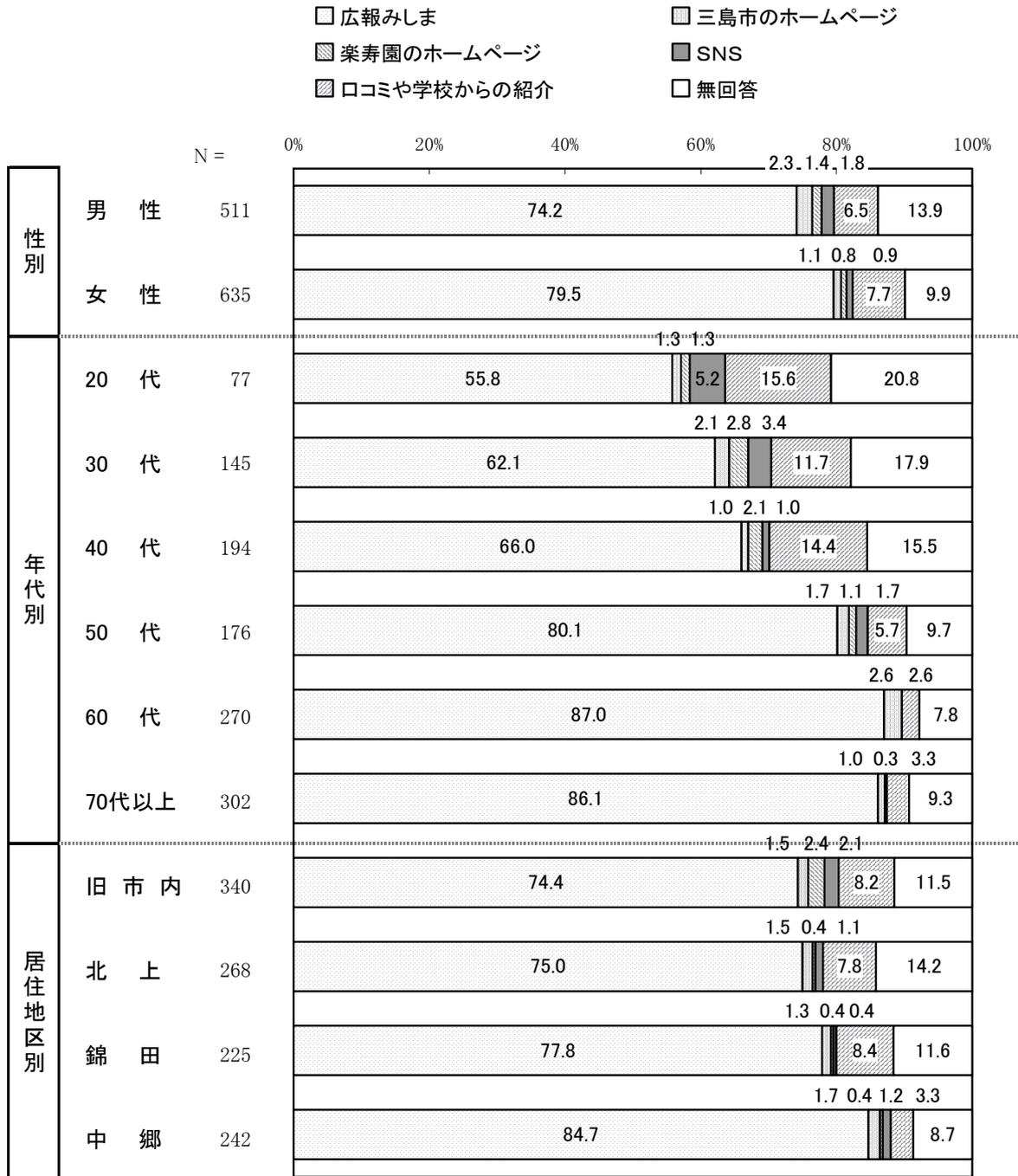


【属性別比較】

性別でみると、「広報みしま」の割合は、女性（79.5%）で男性（74.2%）よりも高く、約8割を占めています。

年代別でみると、「広報みしま」は年齢が高くなるにつれ割合が高くなる傾向がみられ、60代以上で約9割を占めています。

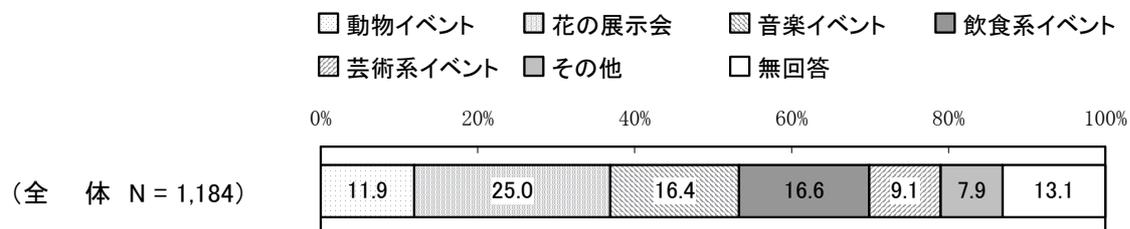
居住地区別でみると、「広報みしま」は中郷（84.7%）で最も高く、8割台半ばとなっています。



問35 あなたが楽寿園で開催してほしいイベントはなんですか？（○は一つ）

—「花の展示会」が25.0%—

「花の展示会」の割合が25.0%と最も高く、次いで「飲食系イベント」の割合が16.6%、「音楽イベント」の割合が16.4%となっています。

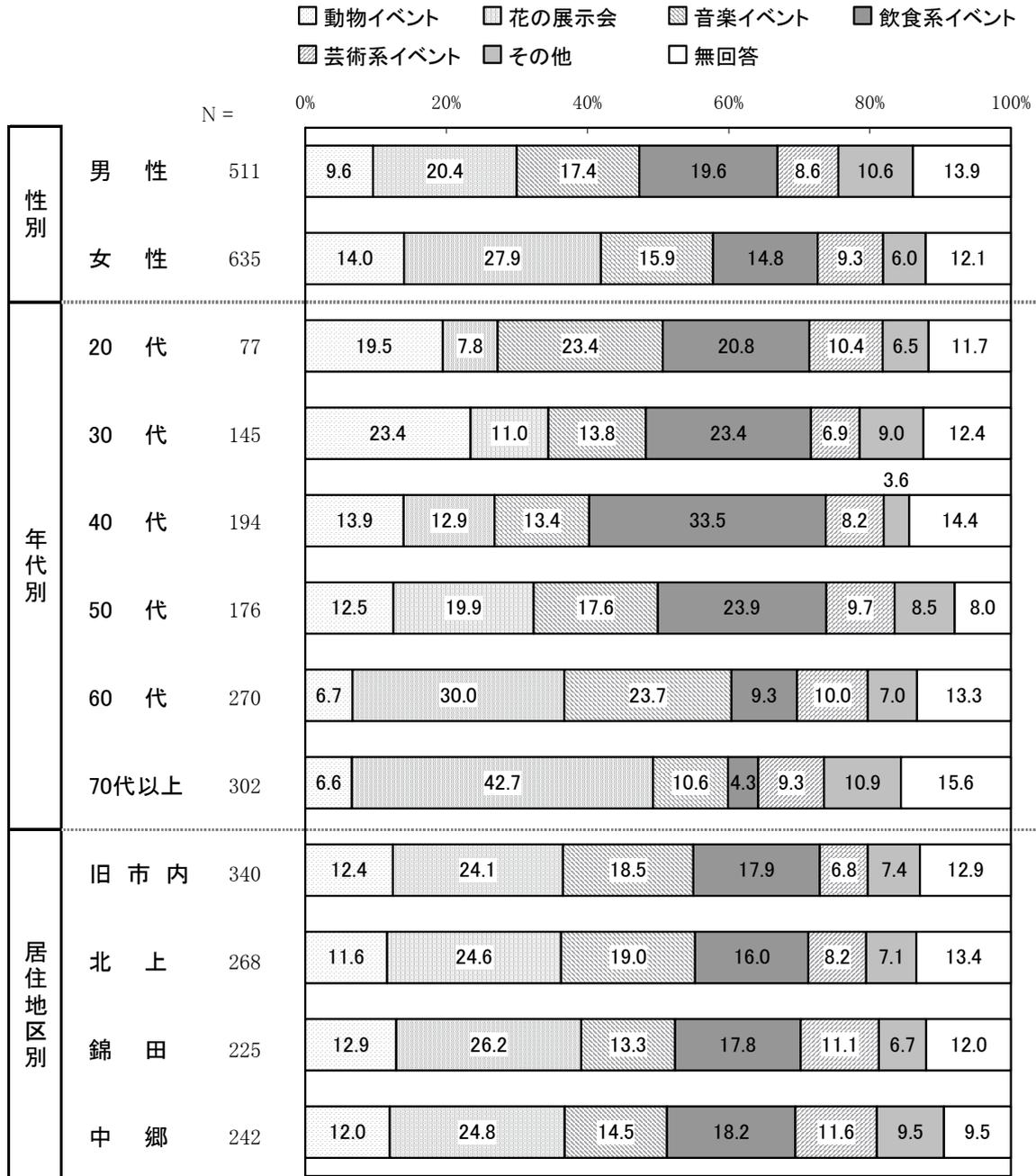


【属性別比較】

性別でみると、「花の展示会」（男性 20.4%、女性 27.9%）の割合は、女性が男性よりも高くなっています。

年代別でみると、「花の展示会」の割合は年齢が高くなるにつれ高くなっています。また、「動物イベント」は30代（23.4%）で、「飲食系イベント」は40代（33.5%）で高くなっています。

居住地区別でみると、「音楽イベント」は旧市内（18.5%）、北上（19.0%）で約2割を占めています。



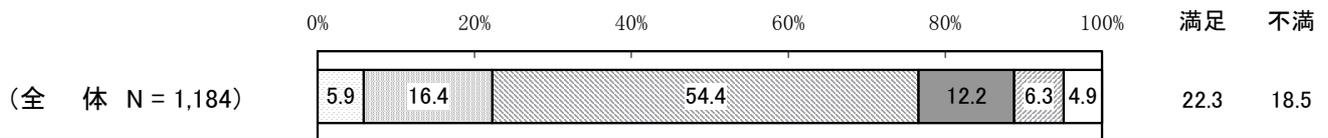
14 三島市の公共スポーツ施設について

問36 あなたは、現在の三島市の公共スポーツ施設に満足していますか。(○は一つ)

—スポーツ施設に“満足している”は22.3%—

「満足している」(5.9%)と「やや満足している」(16.4%)をあわせた“満足している”の割合は22.3%、「どちらともいえない」の割合は54.4%、「やや不満がある」(12.2%)と「不満がある」(6.3%)をあわせた“不満がある”の割合は18.5%となっています。

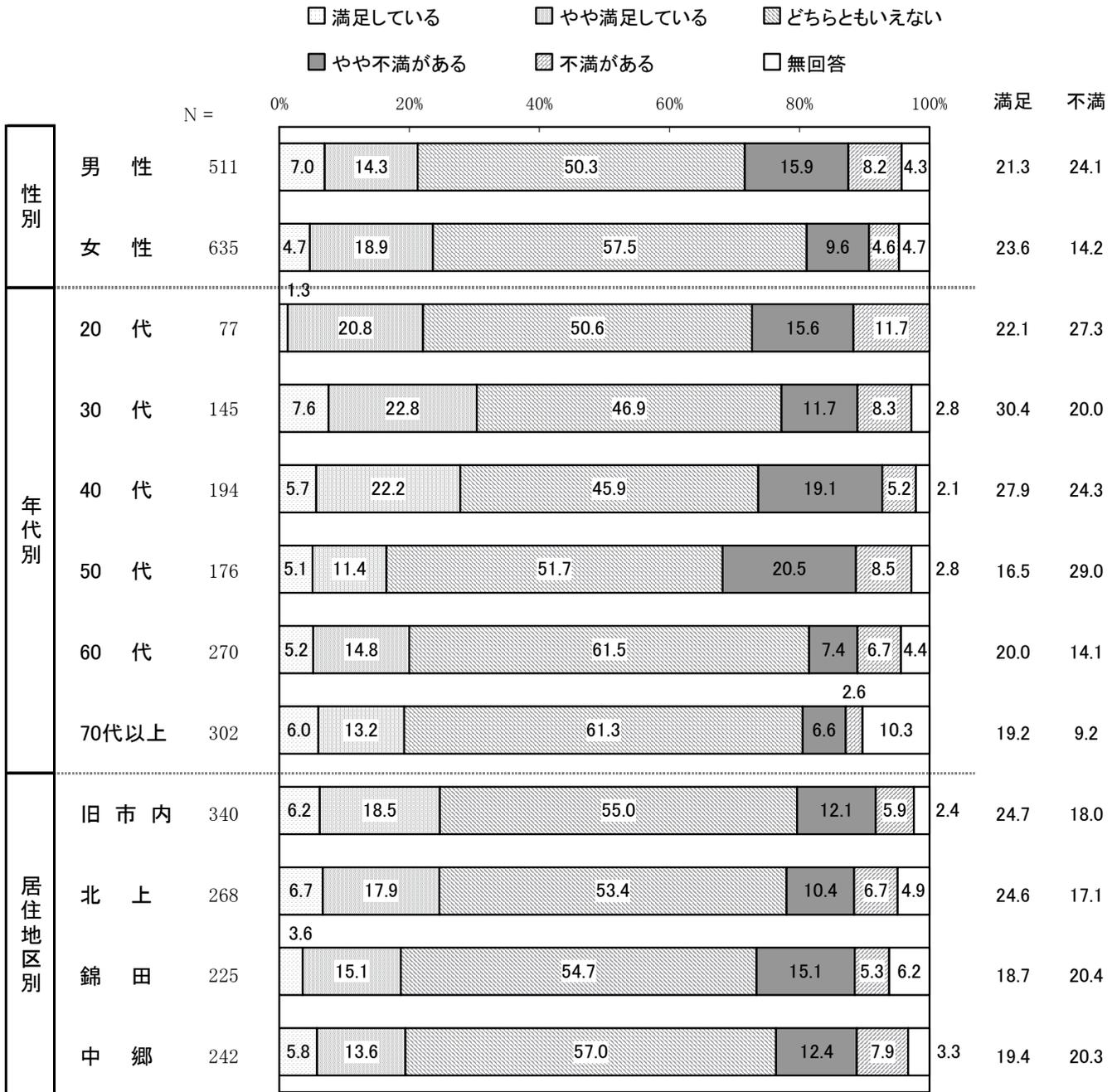
満足している やや満足している どちらともいえない
 やや不満がある 不満がある 無回答



満足=「満足している」+
 「やや満足している」
 不満=「やや不満がある」+
 「不満がある」

【属性別比較】

性別でみると、“不満”（男性 24.1%、女性 14.2%）は、男性が女性よりも高くなっています。
 年代別でみると、“満足”は30代（30.4%）、40代（27.9%）で高く、約3割となっています。
 居住地区別でみると、“満足”の割合は旧市内（24.7%）、北上（24.6%）で高く、2割台半ばとなっています。



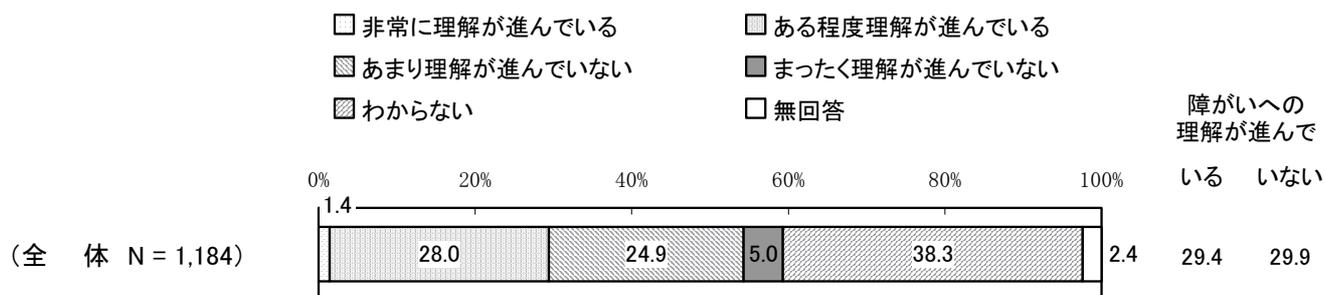
満足＝「満足している」＋
 「やや満足している」
 不満＝「やや不満がある」＋
 「不満がある」

15 障がいのある人への理解について

問37 市民の間に障がいのある人に対する理解が進んでいると感じますか。(○は一つ)

—障がいのある人に対する“理解が進んでいる”は29.4%—

「非常に理解が進んでいる」(1.4%)と「ある程度理解が進んでいる」(28.0%)をあわせた“理解が進んでいる”の割合は29.4%、「あまり理解が進んでいない」(24.9%)と「まったく理解が進んでいない」(5.0%)をあわせた“理解が進んでいない”の割合は29.9%となっています。



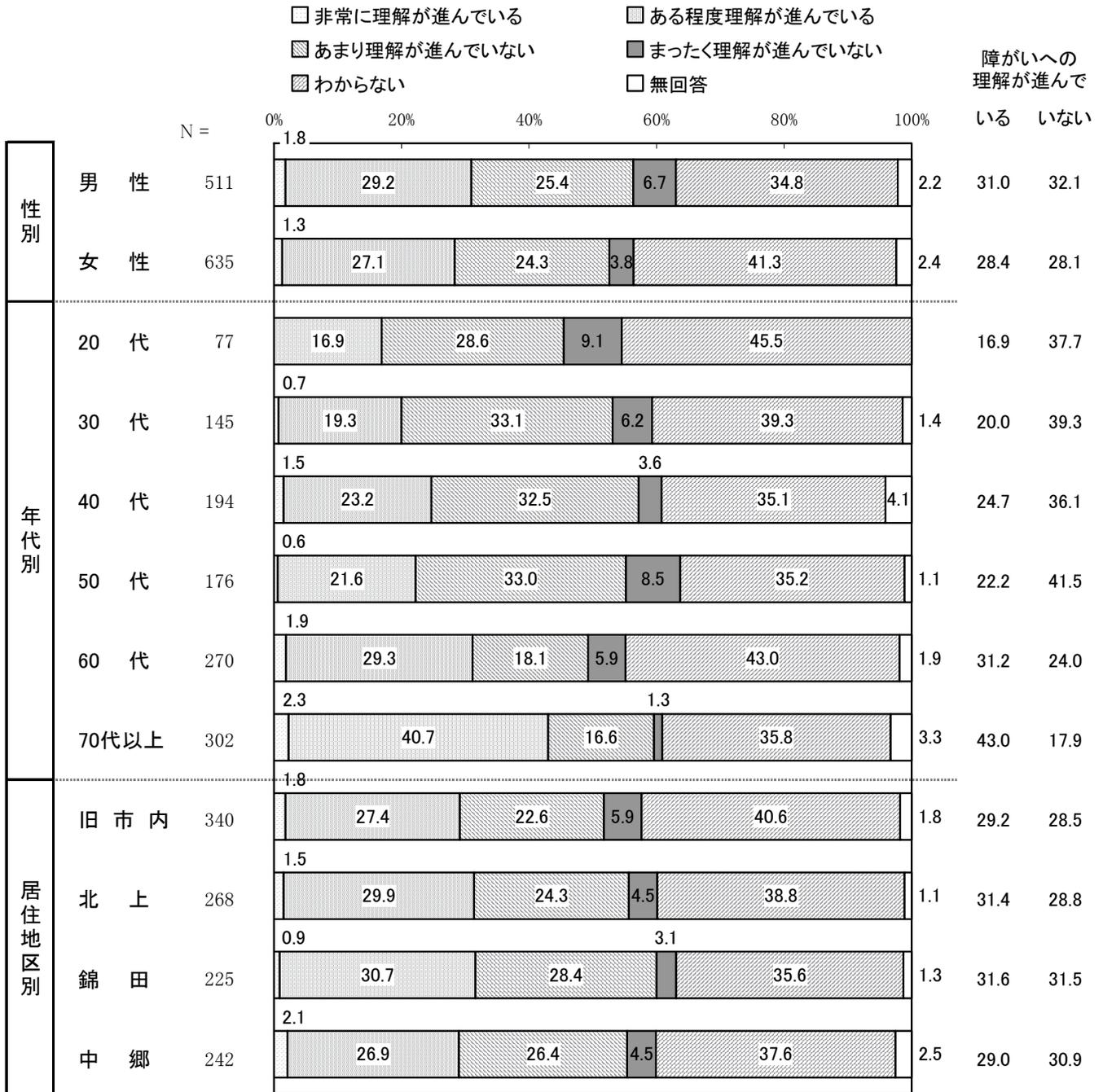
進んでいる = 「非常に理解が進んでいる」 + 「ある程度理解が進んでいる」
 進んでいない = 「あまり理解が進んでいない」 + 「まったく理解が進んでいない」

【属性別比較】

性別でみると、「わからない」を除くと性別による大きな差はみられません。

年代別でみると、“理解が進んでいる”の割合は70代以上（43.0%）で最も高く、約4割となっています。

居住地区別でみると、居住地区による大きな差はみられません。

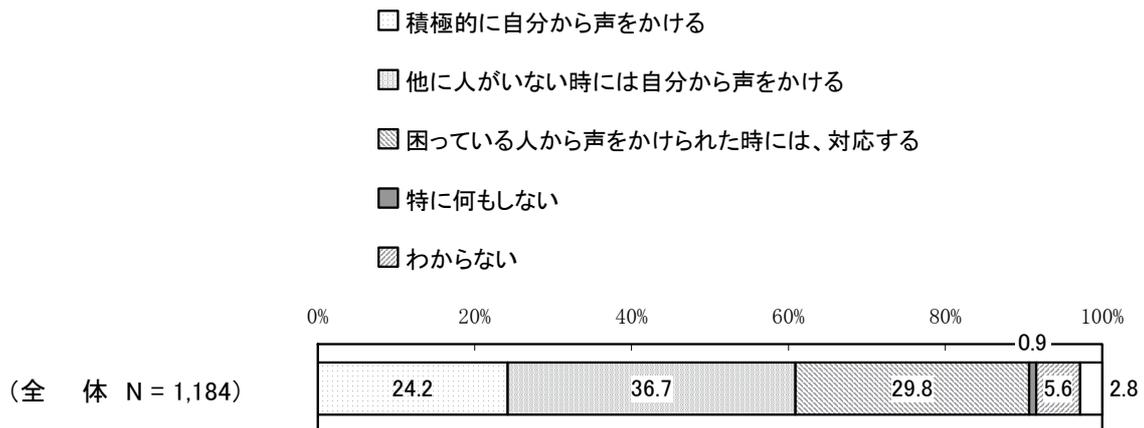


進んでいる＝「非常に理解が進んでいる」＋
「ある程度理解が進んでいる」
進んでいない＝「あまり理解が進んでいない」＋
「まったく理解が進んでいない」

問38 障がいのある人、高齢者等が、街中で困っている様子を見かけた時、どのような対応をしますか。(対応をしたいと思いますか) (〇は一つ)

—「積極的に自分から声をかける」は36.7%—

「他に人がいない時には自分から声をかける」の割合が36.7%と最も高く、次いで「困っている人から声をかけられた時には、対応する」の割合が29.8%、「積極的に自分から声をかける」の割合が24.2%となっています。



【属性別比較】

性別でみると、「積極的に自分から声をかける」は、女性（29.0%）が男性（18.6%）よりも高く、約3割を占めています。

年代別でみると、「困っている人から声をかけられた時には、対応する」の割合は20代（40.3%）で最も高く、約4割となっています。

居住地区別でみると、「積極的に自分から声をかける」は北上（31.7%）で最も高く、約3割を占めています。また、「困っている人から声をかけられた時には、対応する」の割合は錦田（36.9%）で最も高く、3割台半ばとなっています。

